

can-am®



2015 ROADSTER オペレーターズガイド

安全性、車両
およびメンテナンス情報

SPYDER® F3™

警告

Spyder Roadster がどのように異なるのかを学んでください。
このオペレーターズガイドを読み、安全に関するDVDをご覧ください。
トレーニングコース (利用可能な場合) を修了し、練習を行い、制御方法に熟練してください。
地域の法律を調べてください。地域によって免許の要件が異なります。
このガイドをフロントストレージコンパートメントに保管してください。

2 1 9 0 0 1 5 3 5 _ J A

初版取扱説明書の翻訳





カナダでは、当製品はBombardier Recreational Products Inc.
によって販売されています。
米国の製品代理店は、BRP US Inc.です。

以下の商標は、Bombardier Recreational Products Inc.
またはその関連会社に帰属します：

Rotax®

Spyder®

XPS™

Can-Am®

F3™

前書き

Deutsch	Dieses Handbuch ist möglicherweise in Ihrer Landessprache verfügbar. Bitte wenden Sie sich an Ihren Händler oder besuchen Sie: www.operatorsguide.brp.com .
English	This guide may be available in your language. Check with your dealer or go to: www.operatorsguide.brp.com .
Español	Es posible que este manual esté disponible en su idioma. Consulte a su distribuidor o visite: www.operatorsguide.brp.com .
Français	Ce guide peut être disponible dans votre langue. Vérifier avec votre concessionnaire ou aller à: www.operatorsguide.brp.com .
日本語	このガイドは、言語によって翻訳版が用意されています。ディーラーに問い合わせるか、次のアドレスでご確認ください： www.operatorsguide.brp.com .
Nederlands	Deze handleiding kan beschikbaar zijn in uw taal. Vraag het aan uw dealer of ga naar: www.operatorsguide.brp.com .
Norsk	Denne boken kan finnes tilgjengelig på ditt eget språk. Kontakt din forhandler eller gå til: www.operatorsguide.brp.com .
Português	Este manual pode estar disponível em seu idioma. Fale com sua concessionária ou visite o site: www.operatorsguide.brp.com .
Suomi	Käyttöohjekirja voi olla saatavissa omalla kielelläsi. Tarkista jälleenmyyjältä tai käy osoitteessa: www.operatorsguide.brp.com
Svenska	Denna bok kan finnas tillgänglig på ditt språk. Kontakta din återförsäljare eller gå till: www.operatorsguide.brp.com .

Can-Am® Roadster のご購入、ありがとうございます。本製品は Bombardier Recreational Products Inc. (BRP) の保証および、お客様が必要とされる部品、サービスやアクセサリーをご提供している認定ディーラーのネットワークによって支えられています。

ディーラーはお客様の満足を提供いたします。ディーラーは、お客様が本製品を所有される以前から、初期セットアップやロードスターの点検を実行するためのトレーニングを受けております。

納入時に、お客様には保証範囲をお知らせし、新しい車両がご満足いただけるものであることを保証するために納入前チェックリスト (PREDELIVERY CHECK LIST) にお客様からご署名を頂いております。

乗車前に確認すべきこと

運転手、同乗者および傍観者の安全を確保するために、Spyder Roadster をお乗りになる前に次のセクションをお読みください。

- 一般的な注意
- 車両情報
- 安全上の取扱説明書
- 走行前の点検。

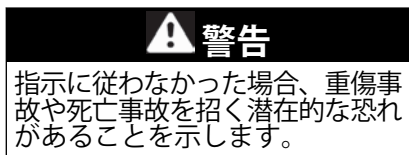
経験豊かなモーターサイクル運転者は SPYDER ROADSTER のユニークな特長のサブセクションに特に注目してください。

安全メッセージ

本ガイドに記載されている安全に関するメッセージの種類、特長および本ガイドでどのように使用さ

れているかは以下で説明されています。

安全喚起記号△は、人が負傷する恐れがあることを示します。



注意 指示に従わなかった場合、中度または軽度の負傷を招く恐れがあることを示します。

注記: 指示に従わなかった場合は、車両の構成部品やその他に重大な損傷を招く恐れがあることを示します。

この『オペレーターズガイド』について

本オペレーターズガイドは右車線走行である米国で作成されました。本書の説明は、お住まいになられている地域の管轄および法律に従いながら参照してください。

本オペレーターズガイドに記載されている「モーターサイクル」の単語は通常、二輪モーターサイクルを意味します。

この『オペレーターズガイド』は、MS6（マニュアルトランスミッション）およびSE6（セミオートマチックトランスミッション）の Spyder Roadster モデル両用です。テキストのすべては、「SM6 モデル」または「SE6 モデル」と指定されている項目を除き、両方に適用されます。

この『オペレーターズガイド』は、メンテナンス、道路側での修理、および他の人に指示を行う事態に備えてフロントストレージコンパートメントまたは座席の下に保管してください。

『オペレーターズガイド』の追加コピーの参照または印刷を希望される場合は、次のウェブサイト

www.operatorsguide.brp.com にアクセスしてください。

本書に記載されている情報は、発行時点で正しいものです。ただし、BRPは、それ以前に製造された製品に同様の改善を施す義務を負うことなく、製品を継続的に改善する方針を維持します。その後の変更により、製造された製品と本ガイドにおける説明および/または仕様との間に差異が生じる場合もあります。BRPは何らの義務を負うことなく、製品の仕様、設計、機能、型式、装置などについても変更し、あるいは製造を終了する権利を留保します。

車両を売却する時点で、この『オペレーターズガイド』および安全に関するDVDを必ず買い手に車両と共に受け渡す必要があります。

「その他の情報源」を参照してください

本オペレーターズガイドの他にも、車両の安全性カードをお読みになり、安全に関するDVDをご覧ください。

もし可能であれば、Spyder Roadsterの特別トレーニングコースを受けてください。今後提供されるトレーニングコースのスケジュールに関しては、www.can-am.brp.com をご参照ください。Spyder Roadsterの特別トレーニングコースを受けられない場合は、モーターサイクルのトレーニングコースでは似たようなスキル、運転中のリスク回避の情報など、Spyder Roadsterに適用する情報を学ぶため、代替コースとして打って付けです。

謝辞

BRPは、Motorcycle Safety Foundation (MSF)が本オペレーターズガイドにMSFの道路上のモーターサイクルの安全性に関する資料をに使わせていただいたことに謝辞を述べます。

MSFはあらゆるモーターサイクルメーカーから支持されている、国際的に認知された非営利財団です。モーターサイクルの安全性に関するコミュニティにトレーニング、工具およびパートナーシップを提供されています。詳細はwww.msf-usa.orgまで。

**このページは
意図的に空白になっています**

目次

前書き	1
乗車前に確認すべきこと	1
安全メッセージ	1
この『オペレーターズガイド』について	2
「その他の情報源」を参照してください	2
謝辞	2
一般的な注意	9
一酸化炭素中毒の回避	9
ガソリンによる火事や他の危険の回避	9
高温部分による火傷の回避	9
アクセサリーと改造	9

車両についての情報

基本コントロール	12
1) ハンドル	13
2) スロットル	13
3) クラッチレバー (SM6 モデル)	14
4) ギアシフトレバー (SM6 モデル)	14
5) ギアシフト・セレクター (SE6 モデル)	15
6) ブレーキペダル	15
7) パーキングブレーキスイッチ	16
二次コントロール	17
1) イグニッション・スイッチ	17
2) エンジンのスタートボタン	18
3) エンジンのストップ・スイッチ	18
4) ハザード警告スイッチ	18
5) クルーズコントロール・スイッチ (F3-S モデルのみ)	18
6) ヘッドライトスイッチ	21
7) ウィンカーボタン	21
8) クラクション・ボタン	21
9) RECC (ROADSTERのелеكتروニック・コマンド・センター)	21
10) リバースボタン	22
多機能ゲージクラスター	23
説明書	23
始動および停止	25
デジタル表示情報	25
表示設定	26
装備	27
顧客アクセサリ回路	27
調整可能ハンドルバーおよびドライバーフットペグ	27
ミラー	28
ハンドルバーのロック	28
フロントストレージコンパートメント	28
車載工具	29
オペレーターズガイド	29
シート	29
ボディパネル	30
基本手順	34
エンジンの始動および停止	34
リバースでの運転	36
慣らし運転中の運転	36

燃料.....	37
サスペンションの調整.....	38
安全上の取扱説明書	
SPYDER ROADSTERのユニークな特長.....	40
安定性.....	40
道路状態に対する反応.....	40
ブレーキペダル.....	40
パーキングブレーキ.....	40
ステアリング.....	40
幅.....	41
リバース（後退）.....	41
運転免許書および現地の法律.....	41
駆動支援技術.....	42
車両安定システム（VSS）.....	42
ダイナミックパワーステアリング（DPS）.....	43
道路上のリスクの把握.....	44
車両の種類.....	44
ドライバーの技術および判断力.....	44
ドライバーの状態.....	44
車両の状態.....	45
道路状況および天候.....	45
装備（ライディング・ギア）.....	46
ヘルメット.....	46
その他の装備.....	47
必要とされる運転技術および実践演習.....	49
練習場の選択.....	49
運転の準備.....	50
運転の姿勢.....	50
練習エクササイズ（SM6モデル）.....	50
練習エクササイズ（SE6モデル）.....	59
高度運転技術の取得.....	66
道路上の注意事項.....	67
練習の下準備.....	67
安全運転.....	67
視認性を高める.....	68
車線の位置.....	69
一般的な運転状況.....	70
道路状況および危険性.....	72
道路上での緊急事態.....	74
タイヤの故障.....	74
同乗者または積荷を乗せた運転.....	75
重量制限.....	75
超過重量で運転する場合.....	75
同乗者を乗せた運転.....	75
荷物を乗せる場所.....	76
牽引不可.....	76
知識セルフテスト.....	77
質問.....	77
解答.....	79
車両の安全情報.....	81

下げ札.....	81
安全カード.....	82
安全ラベル.....	83
走行前の点検	
走行前のチェックリスト.....	88
メンテナンス	
メンテナンスのスケジュール.....	90
初期点検.....	93
メンテナンスの手順.....	94
車輪およびタイヤ.....	94
駆動ベルト.....	96
エンジンオイル.....	98
エンジンオイルフィルター.....	101
エアフィルター.....	101
エンジン・クーラント.....	103
ブレーキ.....	104
バッテリー.....	105
クラッチ液 (SM6モデル).....	106
ヘッドライト.....	107
車両のお手入れ.....	110
車両クリーニング.....	110
車両の保護.....	110
保管、シーズン前の準備.....	111
保管.....	111
シーズン前の準備.....	111
道路側での修理	
診断ガイドライン.....	114
第一ギアに入れることができない (SM6モデル).....	114
ニュートラルに入れられない (SE6モデル).....	114
変速できない (SE6モデル).....	114
エンジンが始動しない.....	114
多機能ゲージのメッセージ.....	116
以下の状況に対する解決策.....	119
失われたキー.....	119
タイヤのパンク.....	119
上がったバッテリー.....	119
ヒューズおよびライトの交換方法.....	121
ヒューズ.....	121
ライト.....	123
車両の移送.....	133
技術情報	
車両の識別.....	136
車両識別番号.....	136
エンジン識別番号.....	136
適合ラベル.....	136

D.E.S.S. キー.....	137
仕様.....	138

保証

BRP限定保証2015 Can-Am® SPYDER® ROADSTER.....	148
---	-----

顧客情報

プライバシー情報.....	156
住所と所有権の変更.....	157

傷の危険性を高め、車両の使用が違法となる場合があります。

通常のもーターサイクルとは異なり、Spyder Roadsterには車両通常構成のための較正がされている車両安定システム (VSS) が搭載されています。VSSは、重量配分、ホイールベース、タイヤ、サスペンション、ブレーキまたはステアリングを変更するなど、車両を改造した場合、適切に機能しなくなることがあります。

車両で使用できるアクセサリーについては、認定Can-Am Spyder Roadsterディーラーにご相談ください。

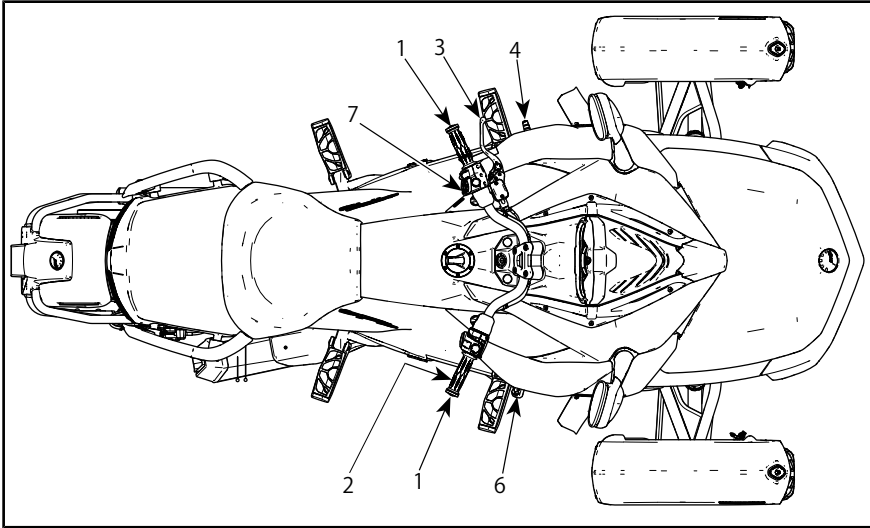
車両についての情報

基本コントロール

すべてのコントロールの位置と操作方法を知り、それらをスムーズおよびコーディネートよく利用するために練習することが必要です。

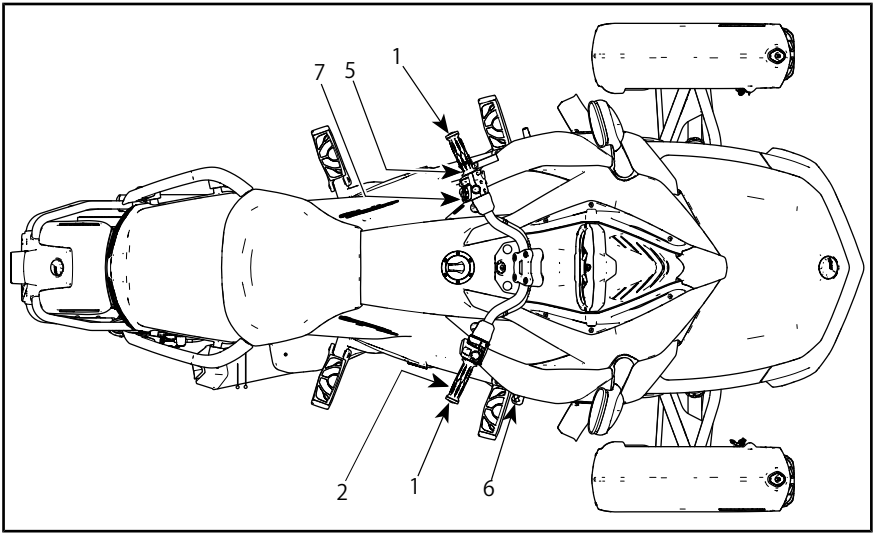
ハンドルバーとドライバーフットペグは、運転者にあわせるため調節可能です。しかし、車両を運転する人がすべてのコントロールに適切に届くようにすることが重要です。例えば、バックペダルアクティベーションは簡単に操作でき、稼動し、機能アクティベーションすべてが可能でなければなりません。

車両の安全を維持するため、調整は認定 Can-Am ディーラーで行ってください。



SM6モデル

1	ハンドル
2	スロットル
3	クラッチレバー
4	ギアシフトレバー
6	ブレーキペダル
7	パーキングブレーキスイッチ



SE6モデル

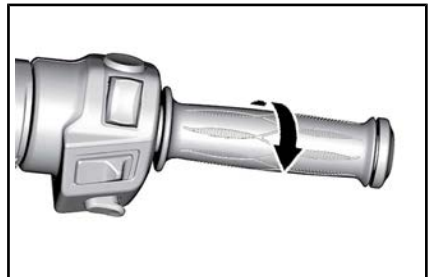
1	ハンドル
2	スロットル
5	ギアシフト・セレクター
6	ブレーキペダル
7	パーキングブレーキスイッチ

1)ハンドル

両手でハンドルを握ります。行きたい方向にハンドルを切ります。

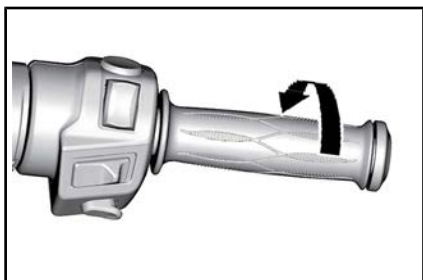
2)スロットル

右ハンドルがスロットルであり、エンジン速度を制御します。エンジン速度を上げるには、図のようにスロットルを回します（手首を下げる）。



スピードを上げる

エンジン速度を下げるには、図のようにスロットルを回します（手首を上げる）。



スピードを下げる

スロットルはばねで留められており、グリップを放すとアイドルリング状態に戻るはずですが。

注: この車両にはETC (Electronic Throttle Control、「電子スロットル制御」)が搭載されています。スロットルボディのスロットルプレートは電子的に制御されており、スロットルのツイストグリップの位置に関係なく必要に応じて開いたり (VSSにより車両が加速することはありません。エンジンブレーキや突然のシフトダウンにより後輪がスリップするのを防ぎます)、閉じたりすることが可能です。加速した時には時々、VSS (車両安定システム)は車両の安定性を維持するためにエンジンの加速を制御します。次に、車両が安定化された後、スロットルの位置が維持されている場合、要求に応じてエンジンのRPMは上がります。これは「遅延」加速として実行されます。

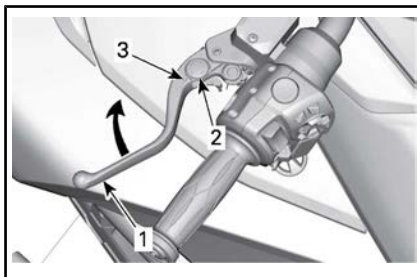
3)クラッチレバー (SM6モデル)

クラッチレバーは左ハンドグリップの前にあります。クラッチはエンジンから後輪までの動力の伝達を制御します。レバーを絞って動力を遮断したり、緩和します。

クラッチレバーの位置調整

クラッチレバーおよびハンドグリップ間の距離はポジション1 (最大距離) からポジション4 (最小距離) まで調整できます。

1. アジャスターダイヤルをリリースするためにはクラッチレバーを前に押し出します。その位置を維持します。
2. ダイヤル番号をレバー上の点に整列させるようにアジャスターダイヤルを回します。
3. クラッチレバーを放します。



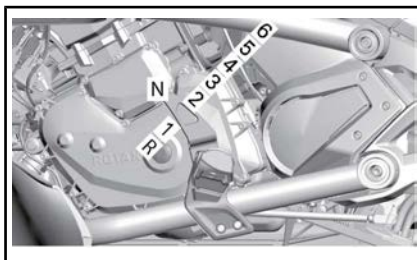
代表的な例 - クラッチレバーの調整

1. クラッチレバー
2. アジャスターダイヤル
3. 点

4)ギアシフトレバー (SM6モデル)

ギアシフトレバーは左フットレストの前にあります。

ギアの順序は
リバース-1-ニュートラル-2-3-4-5-6です。



代表的な例

一つのギアから次のギアに順移するには、完全に持ち上げ

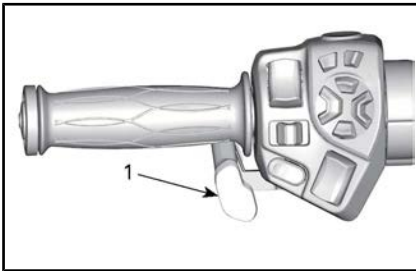
るまたは押し下げます。レバーをリリースするとレバーは中央位置に戻り、次のシフトアップまたはダウンに備えて自らの機構をリセットします。ニュートラル(N)に入れるには、は第一ギアから半分持ち上げる、または第二ギアから半分押し下げます。

注:ニュートラルから第一ギアに入れるには、ブレーキを踏んで第一ギアにシフトします。

リバースに入れるための詳細については、**基本的な手順サブセクションのリバース操作**をご参照ください。

5) ギアシフト・セレクター (SE6 モデル)

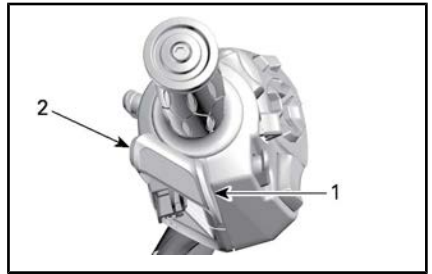
ギアシフト・セレクターは左ハンドグリップの下にあります。



代表的な例

1. ギアシフト・セレクター

シフトアップするにはセレクターを前に押します。シフトダウンするにはセレクターを自分に目掛けて引きます。



代表的な例

1. シフトアップ
2. シフトダウン

これによりギアからギアへと順序よくシフトさせます。シフト後にセレクターを放します。

ギアを数段階シフトさせるには、セレクターを数回使用します。

第一ギアまたはリバースからニュートラルにシフトするには、ギアセレクターを短く押すまたは引きます。より長いアクティベーションでは、ニュートラルを通り越してしまいます。

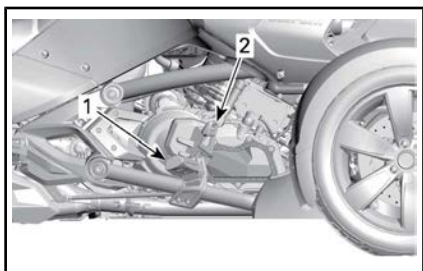
ギアシフト・セレクターをリリースすると、次のシフトアップまたはダウンに備えて自らの機構がリセットされます。

減速中にシフトダウンせず、エンジンRPMがしきい値以下になってしまった場合、ギアボックスは自動的に次の利用可能なギアにシフトダウンします。

ギアボックスがギアに入ってる状態でエンジンが起動された場合、自動的にニュートラルにシフトします。

6) ブレーキペダル

ブレーキペダルは右フットレストの前にあります。操作するには下に押し下げます。このペダルは三つの車輪すべてにブレーキをかけます。



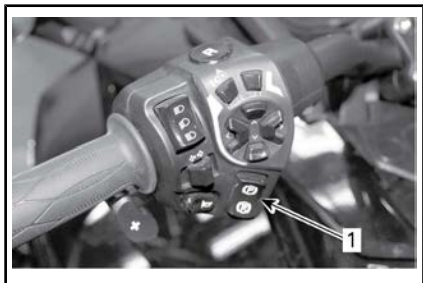
1. ブレーキペダル
2. フットレスト

注: 走行中に足がブレーキペダルにもたれないようにしてください。さもないと、エンジンマネジメントシステムはブレーキシステムを守るためにLIMPHOMEモードを起動させます。

7) パーキングブレーキスイッチ

パーキングブレーキスイッチは左側ハンドルバーにあります。これは電動パーキングブレーキを起動または解除させます。

パーキングブレーキをかけずにエンジンを停止した場合、ビープ音が20秒間鳴ります。



1. パーキングブレーキスイッチ

注: パーキングブレーキを起動または解除させるには、イグニッションキーがONになっている必要があります。

注: パーキングブレーキを起動させるには、バッテリー電圧が最低でも10.5Vである必要があります。電

圧が10.5V以下である場合、パーキングブレーキのインジケータランプがONになります。

車両が停止した状態で、パーキングブレーキをかけるにはスイッチを押します。ブレーキ・インジケータ・ランプが点滅します。

注: 車両が10 km/h以上の速度で走行している際は、パーキングブレーキは作動できません。

パーキングブレーキが完全に起動していることを確認します。クラッチをにぎり(SM6モデルにおいて)車両を左右に揺ります。

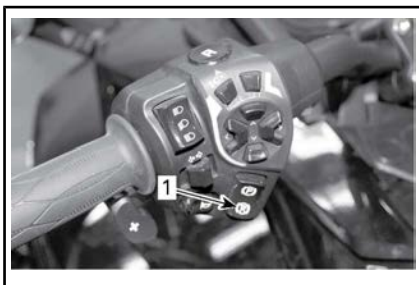


代表的な例

1. パーキングブレーキONスイッチ

パーキングブレーキを解除するには、スイッチを押して放して、ブレーキ・インジケータ・ランプがOFFになったことを確認します。

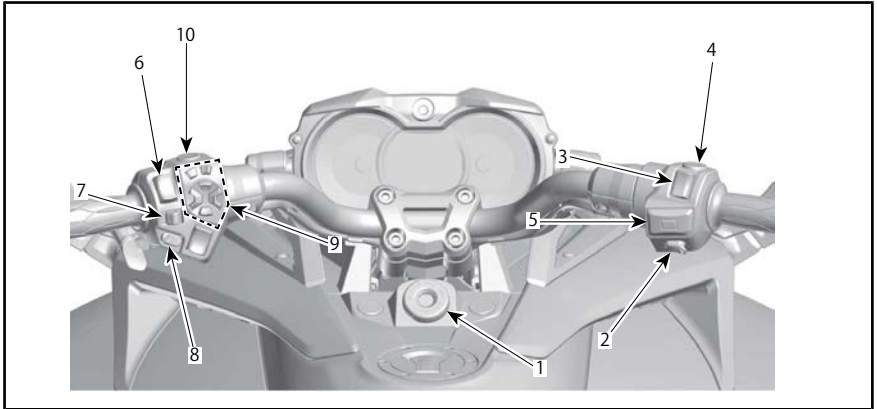
注: トルクがかかっていて、パーキングブレーキが解除されていない場合は、ビープ音が鳴ります。



代表的な例

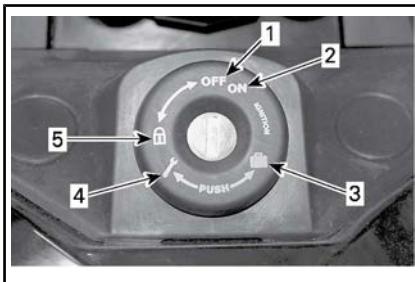
1. パーキングブレーキOFFスイッチ

二次コントロール



1	イグニッションスイッチ	6	ヘッドライト・スイッチ
2	エンジンのスタートボタン	7	ウィンカーボタン
3	エンジンストップスイッチ	8	クラクション・ボタン
4	ハザード警告スイッチ	9	RECC (ロードスターエレクトロニック・コマンド・センター)
5	クルーズコントロールスイッチ (搭載モデル)	10	リバースボタン

1)イグニッション・スイッチ



イグニッションスイッチ

1. OFF
2. ON
3. フロントストレージコンパートメントの開口部
4. 同乗者シート開口部
5. ステアリングロックの位置

イグニッション・スイッチはハンドルの中央にあります。次の要素をコントロールします。

- エンジン点火

- 次の部品にアクセスするための座席開口機構。
 - ・ オペレーターズガイド
 - ・ 車載工具
- 次の部品にアクセスするためのフロント・ストレージ・コンパートメントの開口機構。
 - ・ ヒューズ
 - ・ バッテリーターミナル。
- ステアリングロックの機構

注記: キーを簡単に回せない場合、無理やり回さないでください。引き抜いて再挿入します。

警告

イグニッション・スイッチをOFFにすると、エンジンおよびVSSおよびDPSを含むすべての電気システムをシャットオフさせます。これを車両が動いている最中にすると、コントロールを失って激突する可能性があります。

注:車両にはキーが2個ついてきます。各Spyderキーにはエンジンを起動させるために、予めプログラムされ、ラジオ周波数により固定化システムが読み取る、特別のコンピューターチップが含まれています。Spyderキーに電池はいりません。キーを分解しないでください。固定化システムがキーを読み取れなかった場合、エンジンは始動しません。固定化システムがキーを読み取れなくなる状況については、**診断ガイドライン**を参照してください。Can-Am Roadsterの認定ディーラーからキーをもう一つ作ってもらうには**必ず**スペアキーが必要なので、スペアキーを安全な場所に保管してください。

イグニッション機能

OFF

キーはこの位置で挿入または引き抜くことができます。

OFFに回すと車両の電気システムはOFFになります。

エンジンはイグニッション・スイッチをOFFに回すことでシャットダウンできます。

ON

キーをこの位置に回すと、車両の電気システムが起動されます。

ゲージが起動されるはずです。

車両のライトがONになります。

これでエンジンを起動することができます。

2)エンジンのスタートボタン

エンジンのスタート・ボタンは右ハンドグリップの側にあります。これを押し続けてエンジンを起動させます。

3)エンジンのストップ・スイッチ

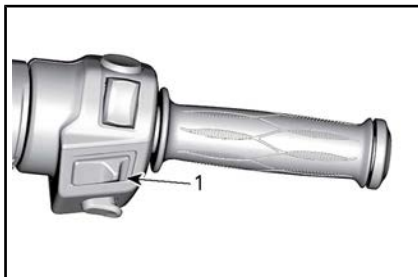
エンジンのストップ・スイッチは右ハンドグリップの側にあります。2つの位置があり、エンジンを始動させる前に、走行ポジションに設定する必要があります。ハンドルから手を放さずにエンジンをいつでも停止させることができます。

4)ハザード警告スイッチ

ハザード警告スイッチは右ハンドグリップの側にあります。ボタンを押してハザード警告ライトをONにさせます。

5)クルーズコントロール・スイッチ (F3-Sモデルのみ)

クルーズ・コントロール・スイッチは右ハンドグリップの側にあります。



1. クルーズコントロールスイッチ

スイッチは多機能スイッチです。これはクルーズ・コントロールの機能を起動、セットおよび停止させます。

セットされている場合、クルーズ・コントロールは車両の走行中に一定のスピードを保つことを可能にします。必要に応じてエンジン速度を上げ下げします。

注:車両のトルクは風、下り坂または上り坂などの道路状況に応じて多少異なる場合があります。

クルーズ・コントロールは交通が少ない高速道路など、長時間のドライブの使用のためにデザインされています。街中、曲がりくねった道、悪天候またはスロットルを制御する必要のあるいかなる状況でクルーズ・コントロールを起動させたまま絶対に車両を運転しないでください。

クルーズコントロールの制限

クルーズ・コントロールは自動操縦ではなく、車両を自動的に運転しません。

クルーズ・コントロールは道路上の出来事は把握できず、自動的にブレーキをかけたり操縦したりしません。

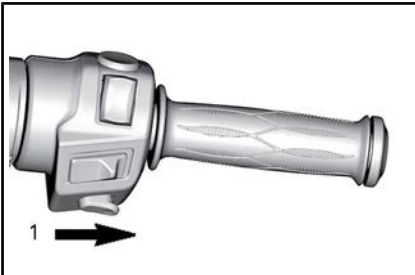
警告

クルーズ・コントロールの不適切な使用により、車両のコントロールを失ってしまいかねません。

クルーズ・コントロールの設定の仕方

クルーズ・コントロールを使用するには、車両速度は約40 km/h以上である必要があります。

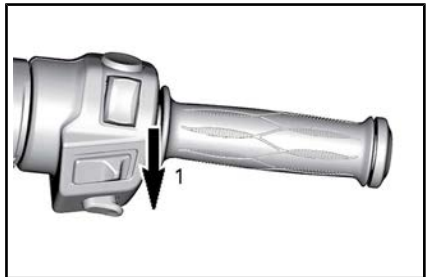
クルーズ・コントロールをONにさせるには、クルーズ・コントロール・ボタンを右にスライドさせます。



1. ボタンを右にスライドさせる

注:多機能ゲージにクルーズコントロールのアイコンが表示されます。

維持したい速度まで車両を加速させ、その速度をセットするにはクルーズ・ボタンを下に押します。



1. セットさせるにはボタンを下に押し下す

注:多機能ゲージにクルーズコントロール [SET(設定)] のインジケータが表示されます。

これでスロットルを戻すことができます。

警告

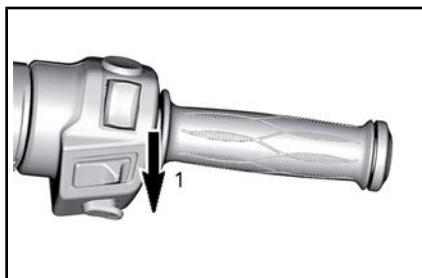
走行中は必ず両手でハンドルを握ります。さもないと、車両のコントロールを失いかねません。

注:セットされた速度より早く走行したい場合、スロットル・グリップを使ってエンジン速度を加速させることもできます。スロットルをリリースすると、クルーズ・コントロールはセットされた速度に戻ります。

クルーズ・コントロールがセットされたら、UPまたはDOWNボタンを押して速度設定を上げ下げできます。ボタンを押すごとに速度設定を1.6 km/hずつ変化させます。ボタンを押し続けると、リリースされるまで、または運転限界に到達するまで速度設定が変更されません。



以前に設定したクルーズ・コントロール
1. 速度設定を上げるにはUPボタンを押します



以前に設定したクルーズ・コントロール
1. 速度設定を下げるにはDOWNボタンを押します

クルーズ・コントロールの解除方法

クルーズ・コントロール操作を完全に停止させるには、クルーズ・コントロール・ボタンを左にスライドさせます。



1. ボタンをOFFにスライドさせる

注:多機能ゲージのクルーズコントロール [SET(設定)] のインジケーターが非表示になります。

クルーズ・コントロールのキャンセル方法

以下のいかなる出来事が起こった場合、クルーズコントロールはキャンセルされ、スロットルをまたコントロールすることができます。もしお望みであれば、クルーズコントロールを続行させることもできます。

- ブレーキペダルが踏まれた場合。
- クラッチレバーを握ったり、またはクラッチ滑りが発生した場合 (SM6モデル)。
- ギアが変更された場合 (SE6モデル)。
- いかなる車両安定システムの介入。

注:クルーズ・コントロールをキャンセルする場合、スロットル・レバーをお望みの位置まで起動させ、移行をスムーズにさせることもできます。

クルーズ・コントロールの再開方法

クルーズコントロールがキャンセルされ、クルーズコントロール・スイッチがまだONの位置に入っている場合、クルーズコントロール・ボタンを上を押すことでクルーズコントロールの操作を再開させることができます。クルーズコントロールは以前にセットされた速度まで復元します。



以前にキャンセルしたクルーズ・コントロール

1. 再開させるにはUPボタンを押します

注:多機能ゲージにクルーズコントロール [SET(設定)] のインジケータが表示されます。

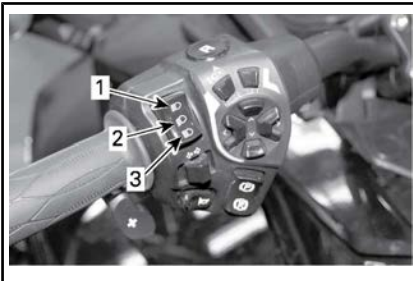
6) ヘッドライトスイッチ



スイッチは左ハンドグリップの近くにあり、ハイまたはロービームのヘッドライトの選択に使用します。ヘッドライトはエンジンの800RPM に達すると自動的に点灯します。

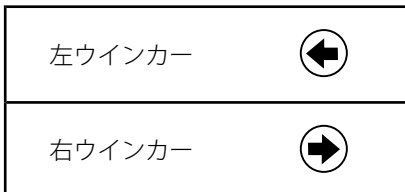
ハイビームを選択するには、スイッチをフロント位置まで押しします。ロービームを選択するには、スイッチをバック位置まで押しします。

ハイビームをフラッシュさせるには、スイッチを押し下げてからリリースします。ハイビームはスイッチを押し続けている限りONになり続けます。



1. ハイビーム
2. ロービーム
3. ハイビームのフラッシュ

7) ウィンカーボタン



ウィンカーボタンは左ハンドグリップの側にあります。ウィンカーは通常のカーブを曲がった後は自動的にOFFになりますが、浅い曲がりや車線変更の後には手動でOFFにする必要がある場合があります。

ウィンカーをOFFにするには、ボタンを中に押し入れます。

車両の走行中は、ウィンカーは30秒後に自動的にOFFになります。

8) クラクション・ボタン

クラクション・ボタンは左ハンドグリップの側にあります。

9) RECC (Roadsterのエレクトロニック・コマンド・センター)

RECCは左ハンドグリップの側にあります。

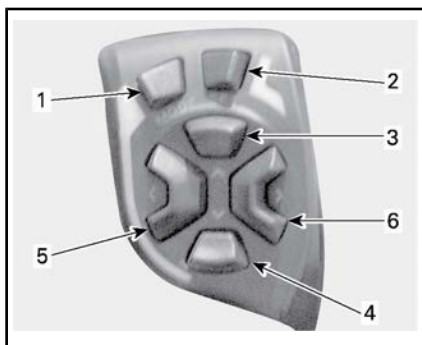


1. RECC

RECCは多機能スイッチです。

RECCは多機能ゲージのいくつかの機能のコントロールを可能にします。

注: RECCへの入力、車両電子モジュールが車両の主な機能に優先順位を付けている最中は、短い間ストップをかけられる場合があります。これは異常ではありません。



RECCボタン

1. [ECO/モード] ボタン
2. [セット]ボタン(SET)
3. [上]ボタン
4. [下]ボタン
5. [LEFT] ボタン
6. [RIGHT] ボタン

警告

運転中にRECCを使用すると、走行中に運転手の注意をそらしかねません。ボタンは常に注意して使用し、道路に常に目を向けてください。

1) [ECO/モード] ボタン

このボタンを2秒以上押すことで、ECOモードを有効/無効にできます。

ECOモードのインジケータランプがONになります。

2) [SET(設定)] ボタン

素早く押し続けてリリースする：メインデジタル表示をナビゲートします。

ボタンを押し続ける：メニュー表示にユニット設定を入力します。

3) [UP] ボタン

このボタンを使って値を上げます。

4) [DOWN] ボタン

このボタンを使って値を下げます。

押し続けると値がリセットされません。

5) [LEFT] ボタン

スクリーン上の矢印を左に移動させる：

スクリーンをナビゲート

二次メニューまたは設定を選択

6) [RIGHT] ボタン

スクリーン上の矢印を左に移動させる：

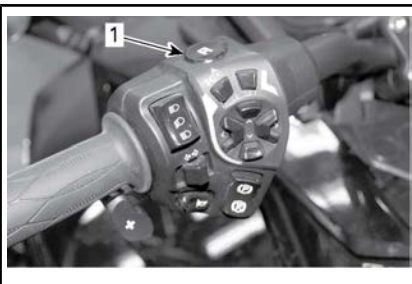
スクリーンをナビゲート

二次メニューまたは設定を選択

10)リバースボタン



リバースボタンは左ハンドグリップの側にあります。



1. リバースボタン

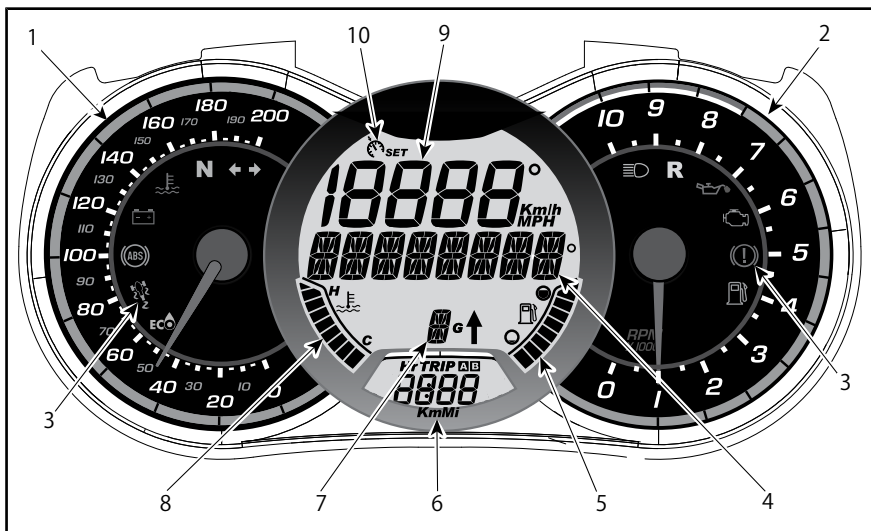
リバースにシフトするためにリバースボタンを押し続けます。詳細については、基本的な手順サブセクションのリバース操作をご参照ください。

車両バックアップライトは車両がリバースに入ってる時にONになります。

多機能ゲージクラスター

多機能ゲージクラスターにはゲージ（スピードメーター、タコメーター、エンジン温度、燃料レベル）、インジケータランプおよびユーザー操作可能なデジタル表示が搭載されています。

説明書



1)アナログ式スピードメーター

車両速度をキロまたはマイル/時間を測定します。測定単位を変更するには、メートル法と英国式単位の設定を参照してください。

2)アナログ式タコメーター (RPM)

毎分エンジン回転数 (RPM)を測定します。メーター上の数字を1000倍した値が実際の回転数です。

3)インジケータランプ

インジケータ・ランプは様々な状況または問題を表します(道路側での修理に記載の多機能ゲージのメッセージセクションを参照)。

インジケータランプ (通常動作)			
インジケータランプ		メインデジタル表示	説明書
すべてのインジケータランプ	ON	なし	イグニッションスイッチがONになっていて、エンジンが起動されていない状態ですべてのインジケータランプが起動されます。
	点滅	パーキングブレーキ	パーキングブレーキがかかっている。
	点滅 (フラッシュ) + ビープ音	なし	SE6モデル: イグニッションスイッチがOFFであり、パーキングブレーキが発動されていない。停車する際は必ずパーキングブレーキをかけてください。
	ON	なし	NEUTRALポジションに入ったギアボックス。
	点滅	なし	リバースポジションに入ったギアボックス。
	ON	なし	HIGHビームポジションのヘッドライト。
	点滅	なし	VSS介入が発生します。
	点滅	なし	ウインカーまたはハザード警告灯が点滅している。
	ON	なし	ECOモードが有効です。

4) メインデジタル表示

運転手に有用なリアルタイムの情報を表示します。

表示機能の情報については、デジタル表示に関する情報を参照してください。

5) 燃料レベル表示

棒状のゲージによって、燃料タンク内の残量を常時表示します。

6) 二次デジタル表示

運転手に有用なリアルタイムの情報を表示します。表示機能の情報については、デジタル表示に関する情報を参照してください。

7) ギアボックスポジション

選択されたギアボックスのポジションを表示します。

8) エンジン温度

エンジン・クーラント温度を常に示すバーゲージ。

9) デジタルスピードメーター

アナログ式スピードメーターに加えて、車両速度はこの表示によっても示されます。

速度はキロ (Km/h) またはマイル/時間 (MPH) で表示することができます。測定単位を変更するには、メートル法と英国式単位の設定を参照してください。

10) クルーズコントロール・スイッチ

クルーズコントロールの起動と設定を表示します。


始動および停止

イグニッションスイッチが5分以上OFFになっている状態でスイッチをONにすると、メインデジタル表示は次のメッセージを表示します。

- 作動前に左側サービスパネル下の安全カードを読み、モードボタンを押してください。

注: エンジンを始動するにはこのメッセージに承認します。

デジタル表示情報

 警告
運転中に表示を調整しないでください。バランスを崩す可能性があります。

メイン表示の機能

RECCのSETボタンを押すことで、様々な機能がスクロール表示されます。

機能は以下の順序で表示されます	表示される情報
外気温	XX ° C (摂氏) XX ° F (華氏)
タコメーター(毎分エンジン回転数)	XXXX RPM

二次表示機能

RECCの左または右矢印のボタンを押すと、異なった機能をスクロールできます。

機能は以下の順序で表示されます	表示される情報
時計	XX:XX (24:00時間基準) XX:XX A または P (12:00 AM/PM時間基準)
積算距離計オドメーター	XXXXX.X Km または mi
走行距離—オドメーターA (走行A)	XXXXX.X Km または mi
走行距離—オドメーターB (走行B)	XXXXX.X Km または mi
走行時間用クロノメーター (HrTRIP)	XXXXX.X
エンジン時間クロノメーター (Hr)	XXXXX.X
日付 (月 - 日)	XX-XX 月および日

走行機能をリセットする場合、[DOWN] ボタンを3秒間押し続けます。

表示設定

メートル法と英国式単位の設定

1. RECCのSETボタンを3秒間押し続けます。
2. 下方向矢印を押してKMを選択し、上方向矢印を押してMIを選択します。

時計の設定

1. 時計表示を選択するには [LEFT] または [RIGHT] 矢印ボタンを押します。
2. [DOWN] 矢印ボタンを3秒間押し続けます。
3. 下矢印を押して12:00 AM PMを選択、または上矢印を押して24:00の時間基準を選択します。
4. 12:00 AM PMの時間基準を選択すると、AM PMの表示が上部LCDに表示されます。下矢印を押してA (AM) またはP (PM)を選択します。
5. 右矢印を押して上部LCDに Hr (時間単位) を表示させます。時刻が下部LCDに点滅します。適切な時刻値を設定するには、上または下矢印を押します。
6. 右矢印を押して上部LCDに Min (分単位) を表示させます。時刻の分の数値が下部LCDに点滅します。適切な時刻の分値を設定するには、上または下矢印を押します。

注: [UP] または [DOWN] 矢印を1回押すたびにユニット値が1ずつ変わります。表示されている数字が0の時に [DOWN] 矢印を押すと、その機能に適用される値の最も高い値からリストが開始されます。

7. 完了した後、右矢印を押してメニューを終了します。

注: 左矢印を使っていつでも前の選択肢に戻ることができます。

言語の設定

ゲージ表示の言語は変更することができます。言語の可用性についてはCan-Amの認定ロードスターディーラーまでお問い合わせ頂き、ゲージをお好みに合わせて設定してください。

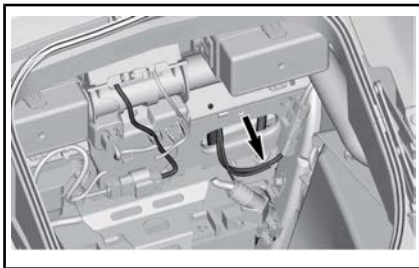
装備

顧客アクセサリ回路

この車両には、アクセサリを取り付けるための電源線およびアース線があります。

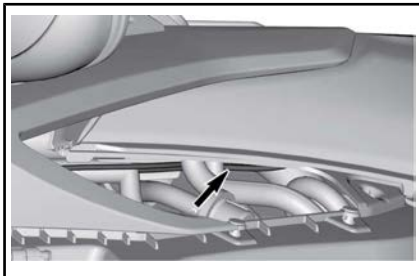
指示されている場所のハーネスを開けてください。

1. フロントストレージコンパートメントの後ろ。



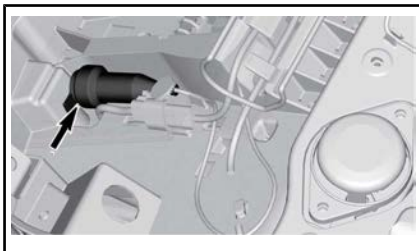
DC12 - 前側顧客アクセサリ回路 - ストレージコンパートメントの後ろ

2. 横サービスカバーの後ろ。



DC34 - 中側顧客アクセサリ回路 - 左横サービスパネルの後ろ

3. 同乗者シートの下。



DC56 - 後ろ側顧客アクセサリ回路 - 同乗者シートの下

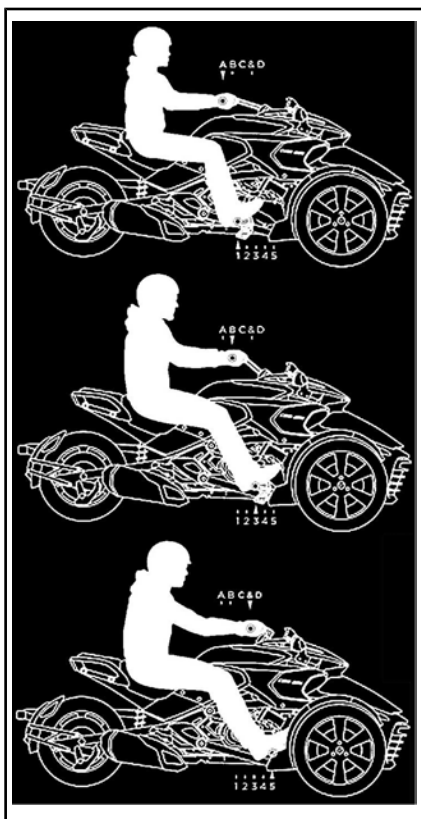
調整可能ハンドルバーおよび ドライバーフットペグ

ハンドルバーとドライバーフットペグは、運転者にあわせるため調節可能です。しかし、車両を運転する人がすべてのコントロールに適切に届くようにすることが重要です。例えば、バックペダルアクティベーションは簡単に操作でき、稼動し、機能アクティベーションすべてが可能でなければなりません。

車両の安全を維持するため、調整は認定 Can-Am ディーラーで行ってください。

警告

コントロールは、運転者が常にすべてに適切に手が届かなければなりません。

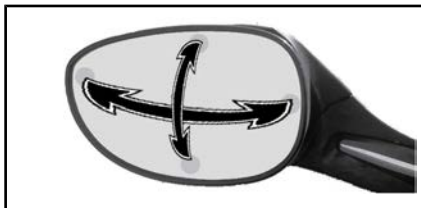


ハンドルバーおよびフットペグの位置の例

ミラー

ミラーの調整

ミラーの位置を四つの方向において調整するには、以下に表示されているミラーの箇所を押します。



ミラー調整箇所

ハンドルバーのロック

ステアリング機構をロックするには：

1. キーをイグニッション・スイッチに挿入します。
2. ハンドルを右または左に完全に回転させます。
3. キーを左に1/4回回してステアリング・ロックの位置までもっていき、キーを取り外します。



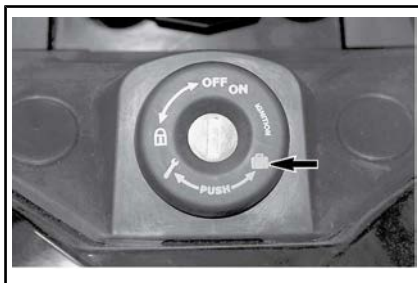
ハンドルをロックするためのキーの位置

フロントストレージコンパートメント

フロントストレージコンパートメントの開け方

1. キーをイグニッション・スイッチに挿入します。
2. キーを押し左に1/4回回してフロント・ストレージ・コンパートメントの位置までもっていき、その位置を維持しながらカバーを持ち上げます。

注: エンジン稼動時にフロントストレージコンパートメントを開けることができます。



フロント・ストレージ・コンパートメントを開けるキーの位置

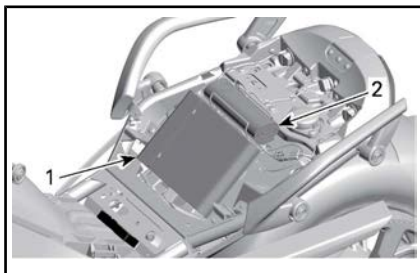


フロントストレージコンパートメントの開かれた状態

車載工具

車載工具の位置

車載工具は、同乗者シートの下にあります。

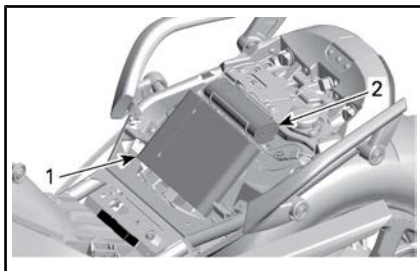


代表的な例

1. オペレーターズガイド
2. 車載工具

オペレーターズガイド

オペレーターズガイドは安全に関するDVDと共に同乗者シートの下に保管されています。



代表的な例

1. オペレーターズガイド
2. 車載工具

安全に関するDVDを袋から出し、自宅かその他の安全な場所に保存してください。

オペレーターズガイドは車両内に保管してください。

シート

同乗者用シートの開け方

1. キーをイグニッション・スイッチに挿入します。
2. キーを押して右に1/4 回回してシート・オープン位置までもつていき、その位置を維持しながら同乗者シートを持ち上げます。



シートを開くためのキーの位置



同乗者シートを持ち上げ、取り外してください。

1. 同乗者シート
3. 留めクリップからシート綱コードをはずします。



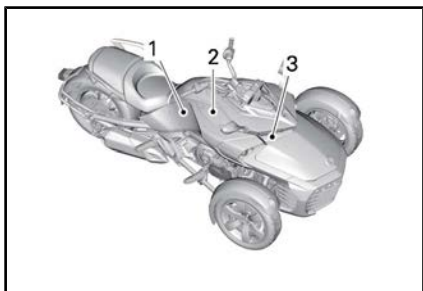
1. つなぎコード
2. 留めクリップ

警告

部品が落下すると道路の危険物になる恐れがあります。道路の危険物になる潜在的なリスクを避けるため、このコンパートメントをカバーする部品には常に綱コードを取り付けておいてください。

ボディパネル

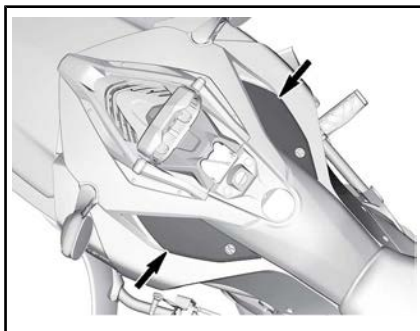
メンテナンスのために車両のボディパネルを取り外すことができます。



典型的な例 - 右サイドパネル

1. サイドパネル
2. 横サービスカバー
3. 前部サービスカバー

横サービスカバー



横サービスカバー

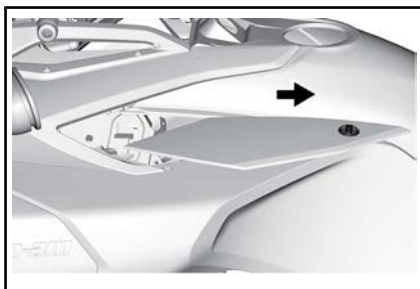
取り外し

1. ロックを左回り（右側サービスカバー）または右回り（左側サービスカバー）に回します。



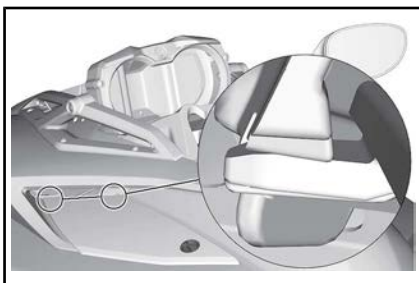
図は右側のサービスカバー

2. サービスカバーを引き抜きます

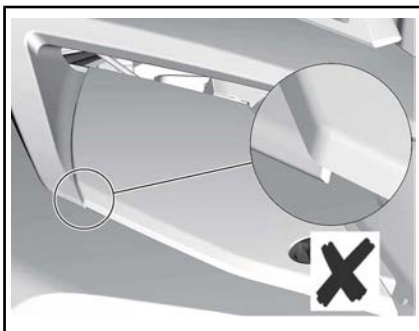


取り付け

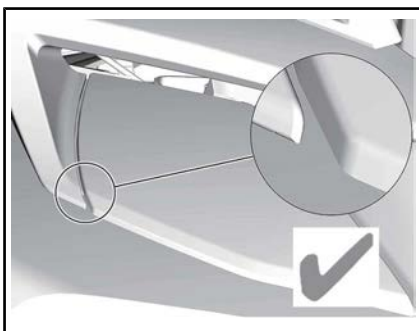
1. タブの位置が合うようにして、横サービスカバーを取り付けます。



注記: 横サイドカバーがサイドパネルと重なっていないことを確認します。

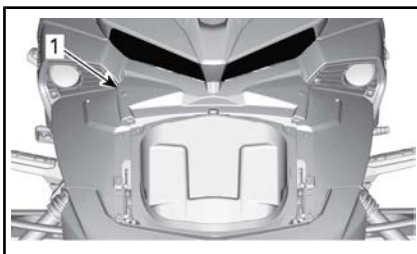


オーバーラップ取り付け



正しい取り付け

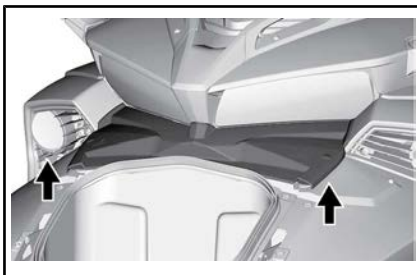
前部サービスカバー



1. 前部サービスカバー

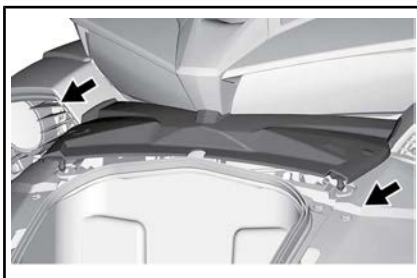
前部サービスカバーの取り外し

1. サービスカバーの前部を持ち上げ、グロメットを取り除きます。



左サービスカバー

2. サービスカバーを車両から取り外してください。



サービスカバーの取り外し

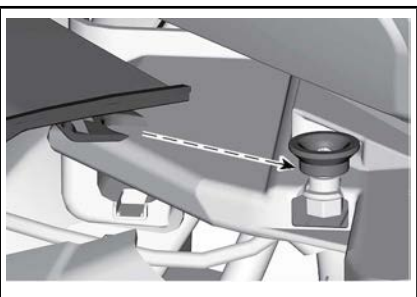
フロントサービスカバー取り付け

1. フロントサービスカバーをスライドさせて元に戻します。



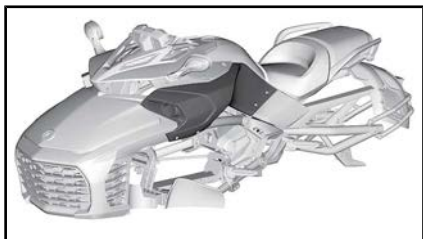
サービスカバーをスライドさせる

注: フロントサービスカバータブが車両の適切な場所に位置していることを確認します。



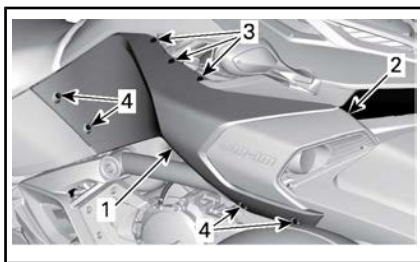
タブを正しい取り付け位置に調整

サイドパネル

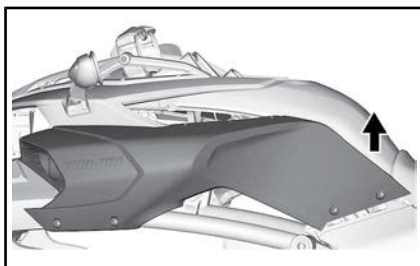


サイドパネルの取り外し

1. サイドパネルを車両に固定しているスクリューとプラスチックリベットを取り外します。



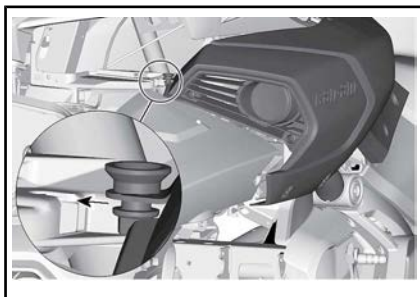
1. サイドパネル
 2. クリップ
 3. プラスチックリベット
 4. 留めネジ
2. サイドパネルを持ち上げて、取りはずします。



サイドパネルの取付

1. 内側サイドパネルを元の位置にスライドさせます。

注: サイドパネル留めねじタブとエアスクープ留めねじタブが整列するようにします。



パネルの適切な調整

2. トルクスねじにプラスチックリベットとスクリューを取り付けます。

注記: 締めすぎないように注意してください。スクリュー周りのパネルのいかなる変形は締め付けすぎってしまったことを示していません。パネルを損傷しかねません。

基本手順

エンジンの始動および停止

エンジンを始動させます

注:起動時、通常回転数で稼動する前に、エンジンRPMはわずかに上昇します。



警告

排気ガスには、密閉された場所または換気の悪いエリアで迅速に充満する有毒な一酸化炭素が含まれています。もし吸い込むと、重傷または死を招きかねません。密封されていない場所、または換気の良い場所でのみエンジンを始動してください。一酸化炭素中毒の回避を参照。

SM6モデル

1. ブレーキペダルを踏み込み続けます。
2. キーをONに回します。

注記: 電気システムが初期化されている際はスロットルをあげないこと。

3. ドライバー自身、同乗者および車両の準備を整えるために安全カードをよく読み、MODEボタンを押してスターターを起動します。
4. エンジン・ストップ・スイッチをRUN/ONの位置にセットします。
5. クラッチレバーをにぎったままにします。
6. ニュートラルへのシフト。
ニュートラルに入っているか確認するために多機能ゲージクラスターを確認します。
7. エンジンが始動するまでエンジン・スタート・ボタンを押し続けます。スタート・ボタンは15秒以上押し続けなくてください。始動しない場合、スターターをクールダウンさせるために30秒待ってから再度お試しください。

注記: エンジンの始動中にスロットルをあげないこと。

8. 問題がないか表示を確認し、オイルライトが消えているか確認します。
9. パーキングブレーキをかけます。多機能ゲージクラスターのパーキングブレーキインジケーターが消えていることを確認します。

注記: 車両を操作する前にパーキングブレーキが完全に解除されていないと、移動時にブレーキパッドが引きずられます。これはブレーキサスペンションシステムを損傷しかねません。

SE6モデル

注:SE6モデルは、ブレーキペダルを踏んだままどのギアからでも始動可能です。トランスミッションはエンジン起動時に自動的にニュートラルにシフトします。

1. ブレーキペダルを踏み込み続けます。
2. キーをONに回します。

注記: 電気システムが初期化されている際はスロットルをあげないこと。

3. ドライバー自身、同乗者および車両の準備を整えるために安全カードをよく読み、MODEボタンを押してスターターを起動します。
4. エンジン・ストップ・スイッチをRUN/ONの位置にセットします。
5. エンジンが始動するまでエンジン・スタート・ボタンを押し続けます。スタート・ボタンは15秒以上押し続けなくてください。始動しない場合、スターターをクールダウンさせるために30秒待ってから再度お試しください。

注記: エンジンの始動中にスロットルをあげないこと。

6. 問題がないか表示を確認し、オイルライトが消えているか確認します。
7. パーキングブレーキをかけます。多機能ゲージクラスターのパーキングブレーキインジケータが消えていることを確認します。

注記: 車両を操作する前にパーキングブレーキが完全に解除されていないと、移動時にブレーキパッドが引きずられます。これはブレーキサスペンションシステムを損傷しかねません。

エンジンの停止方法

SM6モデル

1. 第一ギアにシフトします。
2. エンジン・ストップ・スイッチをOFFにします。
3. パーキングブレーキをかけます。ブレーキは踏み込まれた位置でロックされ、[PARK BRAKE]のスクローリングメッセージが画面に表示されます。
4. キーをOFFになるまで回します。
5. 鍵を抜く前に、パーキングブレーキが完全に作動していることを確認します。クラッチをにぎったまま車両を前後に揺ります。



警告

必ずパーキングブレーキをかけます。パーキングブレーキがかかっておらず、トランスミッションがニュートラルに入っている場合、車両が勝手に動いてしまうことがあります。

SE6モデル

1. ニュートラルにシフトします。
2. エンジン・ストップ・スイッチをOFFにします。
3. パーキングブレーキをかけます。ブレーキは踏み込まれた位置でロックされ、[PARK BRAKE]

のスクローリングメッセージが画面に表示されます。

4. キーをOFFになるまで回します。

注: キーがOFFの状態ではパーキングブレーキがかかっていない場合、パーキングブレーキ・インジケータ・ライトが点滅し、ブザー音が鳴ります。

5. 鍵を抜く前に、パーキングブレーキが完全に作動していることを確認します。車両を前後に揺ります。



警告

必ずパーキングブレーキをかけます。車両はどのギアに入っているかに関係なく、パーキングブレーキがかかっていないと勝手に動くことがあります。停車状態ではクラッチは必ず解除されているので、トランスミッションだけでは車両の位置をそのまま固定することはできません。

車両を手動で押す方法



注意 斜面で車両を手動で動かすのは避けましょう。斜面で車両を手動で動かさなければならぬ場合、車両が転がり始めてしまったシナリオを想定してブレーキペダルの身近(車両の右側)で歩いてください。

エンジンを始動せずに車両を近距離動かす場合:

1. 車両に乗ったまま、ブレーキペダルを踏み続けます。
2. トランスミッションをニュートラルにシフトします(SM6モデル)。
3. パーキングブレーキを外します。
4. 車両の右側に体を置き、片足をブレーキペダルに残しておきます。
5. 必要に応じてブレーキを使いながら車両を前に押します。

⚠️注意 ブレーキペダルがいつでも踏めるように、右側からしか押さないこと。熱いエキゾーストパイプには近づかないこと。車両を後方に引っ張る場合、前輪で足を踏いてしまわないように気を付けてください。

6. 車両の体勢を整え、上記のように停車させます。

リバースでの運転

リバースでの安全な運転については、安全上の取扱説明書のセクションを参照。

リバースへのシフト方法(SM6モデル)

1. エンジンが起動したまま、第一ギアにシフトします。
2. クラッチレバーを握ります。
3. リバースボタンを押し続けます。
4. ストローカー回分、シフトレバーを踏みます。
5. リバースボタンをリリースし、多機能ゲージクラスターに「R」が点滅していることを確認します。

リバースへのシフト方法(SE6モデル)

1. エンジンが起動し、Spyder Roadsterを停車し、ブレーキを踏んだまま、第一ギアまたはニュートラルにシフトします。
2. リバースボタンを押し続けます。
3. リバースにシフトダウンするためにギアシフト・セレクターを手前に引きます。

リバースでの運転

あなたの後ろのエリアに何もなかったことを確認し、後ろを向いたままリバースします。低速度で運転し、長距離を走るのにリバースを使わないこと。

リバースからシフトアウトする方法

SM6モデル

リバースからシフトアウトするには、クラッチを踏んでシフトレバーを一回持ち上げ、第一ギアにシフトさせます。自動的にリセットするため、リバースボタンを使用する必要はありません。

SE6モデル

リバースからシフトアウトするために、停車し、シフトアップ・セレクターを素早く押すとニュートラルにシフト、そしてより長く押すと第一ギアにシフトします。

慣らし運転中の運転

この車両には1,000 kmの慣らし運転期間が必要です。

最初の300 kmでは、ブレーキを強く踏むことは避けてください。

⚠️警告

新しいブレーキおよびタイヤは、慣らし運転が完了しないと最大効率で作動しません。ブレーキ、ステアリングおよびVSSの効率が低減される場合があるため、注意を余分に払ってください。ブレーキおよびタイヤを慣らすには、頻繁にブレーキおよびステアリングを使用して約300 kmの走行が必要です。ブレーキおよびステアリングをそれほど使わない場合、ブレーキおよびタイヤの慣らし時間を多めに見積もってください。

最初の1,000 kmでは：

- スロットル全開での加速は避けてください。

- 長時間の走行は避けてください。
- のろのろ運転の際に冷却ファンが常に作動している場合、路肩に寄せてエンジンをシャットオフしてエンジンをクールダウンさせるか、速度を上げて風でエンジンをクールオフさせてください。
- ガソリンのアルコール度が政府の現在の規制を超えていると疑った場合、燃料漏れまたはその他の燃料システムの異常がないか常に点検してください。
- アルコールが混合された燃料は水分を多く含む車があり、燃料の相分離につながる恐れがあり、エンジンの性能上の問題またはエンジンの損傷を引き起こす可能性があります。

慣らし運転期間後、メンテナンス・スケジュール通りにCan-Am Spyder Roadsterの認定ディーラーから車両の点検を受けてください。

燃料

燃料に関する要件

注記: 新しいガソリンを必ず使用します。ガソリンは放っておくと酸化します。酸化すると、オクタン、揮発性化合物の損失、およびガムおよびワニスの蓄積が起これ、燃料システムを損傷しかねません。

アルコールとの燃料の混合は国および地域によって異なります。ご使用されている車両は推奨される燃料を使用するために設計されていますが、次のことに注意してください。

- 政府の規制によって定められているアルコール割合を超えるアルコールを含む燃料を使用することは推奨されておらず、もし使用した場合、次のような燃料システムコンポーネントの問題が発生しかねません。
 - 始動および操作時の困難。
 - ゴムまたはプラスチック部品の老化。
 - 金属部品の腐食。
 - 内部エンジン部品への損傷。

推奨燃料

オクタン価が91のAKI (RON+MON)/2、またはオクタン価が95のRONを含んだプレミアム無鉛ガソリンを使用してください。

注記: 他の燃料を試したりしないこと。不適當な燃料を使用すると、エンジンまたは燃料システムの損傷を招きかねません。

注記: E85のラベルの燃料ポンプからの燃料は絶対に使用しないでください。

E15のラベルの燃料の使用は、U.S. EPA (米国環境保護庁) の規制により禁止されています。

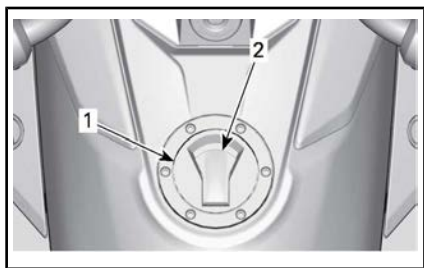
燃料補給の手順

警告

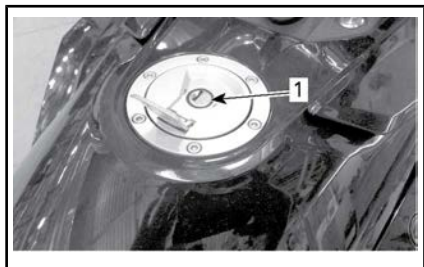
ガソリンは可燃性が高く、非常に爆発性があります。火または爆発のリスクを下げるために燃料補給の手順に従ってください。ガソリンにより火事や他の危険の回避を参照してください。

車両に燃料補給するには：

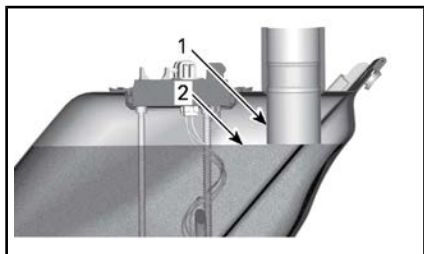
1. 燃料の補給は、炎、火の粉、煙草を吸っている人やその他の点火の原因から離れ、よく換気された屋外に停車して行ってください。
2. エンジンを停止させてください。
3. 燃料キャップキーカバーを持ち上げます。



1. 燃料キャップ
2. 燃料キャップキーカバー
4. 燃料キャップにキーを差し込んで右回りに1/4回転し、ロックを解除してキャップを取り外します。



1. 燃料キャップキーホール
5. 燃料レベルがフィルターチューブに達するまでタンクに給油します。



1. フィルターチューブ
2. 燃料レベル

注: 燃料タンクにぎりぎりまでガソリンを入れしないでください。温度の変化で燃料が膨張する場合がありますので、燃料タンクに若干の余裕を残してください。

6. こぼれた燃料は必ず拭き取ってください。燃料が体にかかった

場合は、石鹼と水で洗い、衣服を着替えてください。

7. 燃料キャップを閉めるには、ロックにキーを差し込んだまま燃料キャップを押し込みます。キーを左回りに回して元の位置に戻し、燃料キャップをロックします。その後、キーを引き抜いて、燃料キャップロックカバーを閉じます。

注: キーがロックに入っていないと、燃料キャップはきちんと閉じません。ロックされていない場合は、燃料キャップからキーを引き抜くことはできません。

警告

給油した後および車両を運転する前には、いつも燃料キャップがきちんと閉じていることを確認してください。

サスペンションの調整

フロントサスペンション

サスペンションの調節は、Can-Amディーラーまでお問い合わせください。

安全上の取扱説明書

SPYDER ROADSTERのユニークな特長

Spyder Roadsterは特殊なタイプの車両です。このセクションでは、車両の特殊な特長および動作特性が説明されています。

安定性

車輪が3つある“Y”形状はモーターサイクルより低速度でのより優れた安定感が楽しめます。しかし、自動車などの車輪が4つある車両よりは安定ではありません。電気車両安定システム (VSS) などの駆動支援技術は操作中の安定性を保つ補助をしますが、極端な運転の仕方 (高速度で急にターンしたりなど) またはでこぼこ面や物に当たってしまうなどして、車両がコントロールを失い、転倒または転がってしまう可能性があります。さらに、急なターン、加速、ブレーキまたはインパクトにより、運転手または同乗者が転げ落ちてしまう恐れがあります。

道路状態に対する反応

Spyder Roadsterは特定の道路状況に対して他の車両とは違う反応を見せます。

- オフロード、氷または雪の中で走行しないでください。
- 水たまりと流水を避けてください。車両は車より簡単にハイドロプレーンします。水たまりがある道路で運転しなければならない場合は、減速してください。
- 砂利、泥および砂で覆われた道路では速度を落としてください。
- 温度が 6 ° C 以下で運転すると、密着度が低下します。

詳細な指示は、道路上の注意事項のサブセクションを参照してください。

ブレーキペダル

ペダル一つで三つの車輪すべてにブレーキをかけることができます。手動ブレーキがなく、前輪および後輪に別々にブレーキをかけ

る方法はありません。Spyder Roadsterではモーターサイクルより簡単にブレーキおよびステアリングを同時に行うことができます。車両は急に停止することができます - 同じ速さで停止できない車が後ろにいないか必ず注意を払ってください。

アンチロック・ブレーキシステム (ABS)

車両には車両安定システム (VSS) の一環としてアンチロック・ブレーキシステム (ABS) が搭載されています。より素早い急ブレーキをかけるには、ブレーキペダルを踏み続けます。ABSは車輪がロックするのを防ぎます。

パーキングブレーキ



パーキングブレーキは機械的に後輪だけにブレーキをかけ、作動するとロックした状態になります。これは駆動支援技術 (ABS, 電子制動力配分コントロールなど) によってコントロールされていません。車両を減速したり停止するためには使用しないでください - コントロールを失ったり、スピンや横転などの可能性があります。

ステアリング

ダイレクト・ステアリング

Spyder Roadsterのステアリングでは、曲がる方向に必ずハンドルを切ってください。

モーターサイクル運転者—カウンター・ステアはモーターサイクルで行うテクニックのため、この車両ではしないでください。モーターサイクルとは違って、Spyder Roadsterはターン中に傾くことができません。モーターサイクル運転者であれば、ターンの仕方を学び直す必要があります。慣れるまですべての速度でターンの方向に

ハンドルを切る練習をしてください。

ターン時の遠心力

モーターサイクルとは違って、Spyder Roadsterはターン中に傾くことができません。ターン時に遠心力によって体が車両外に向かつて引っ張られていくのが感じ取れます。バランスを保つには、運転手および同乗者は両手でバランスを取り、両足をフットレストにしっかり乗せておく必要があります。急なターンでは、上体を前に突き出し、重心をターンの内側に置くとターンしやすいです。

幅

Spyder Roadsterは通常のモーターサイクルより幅が広いため：

- ターン時は前輪を自分のレーン内からはみ出ないようにします。カーブや他の車両を抜く際に前輪の位置に特に注目します。モーターサイクルの前輪がレーン端に近くなるような道筋を通ると、Spyder Roadsterの前輪はレーンからはみ出ている可能性があります。
- レーンを共用したり複数のレーンを同時に使用したりしないこと。モーターサイクル同士でも、グループでの走行は単縦列で行ってください。
- 障害物を避けるためにより長く脱線する必要があることを考慮してください。

注：前輪が障害物をクリアしても、後輪がその障害物をクリアするとは限りません。

リバース（後退）



Spyder Roadsterは車みたいのリバースが可能です。しかし、以下の重要な違いがあります。

- 必要であれば、視認性を改善するために同乗者に一旦降りてもらいます。
- 前部は後部より幅広いことをお忘れなく。障害物にあまり近くバックアップしてしまうと、前輪が当たってしまうことがあります。
- 低速度で運転し、長距離を走るのがリバースを使わないこと。
- もし可能であれば、パーキングスペースからバックアウトする必要がないように停車してください。
- SM6モデル：エンジンをシャットオフする前に第一ギアにバックシフトします。

▲注意 リバースで運転している最中は必ず両足をペグに置きます。バックアップ中は決して足を地面に置かないこと。

運転免許書および現地の法律

Spyder Roadsterの操作に必要な運転免許書の要件は地域によって異なります。現地の法律によっては、モーターサイクルの運転許可書、3輪車両の運転許可書、または標準の自動車運転免許書だけを必要とする場合があります。

車両を公道で運転する前に、適切な免許を持っているか地方自治体にお問い合わせください。

駆動支援技術

車両安定システム (VSS)

Spyder Roadsterには車両安定システム (VSS) が搭載されています。VSSは車両の方向をコントロールし、特定の状況において転倒またはスピンを減少させます。VSSは次のコンポーネントから成ります。

- **アンチロック・ブレーキングシステム (ABS):** 急ブレーキ時に車両がロックされるのを防ぐことでステアリングのコントロールの維持を補助します。
- **電子制動力配分コントロール (EBD) システム:** 3つの車輪のすべてのブレーキにおけるバランスを自動的に調整します。ABSによって、EBDは方向制御を補助し、その時点での牽引力によってブレーキ力を最大限に活かします。
- **駆動伝達・コントロール・システム (TCS):** 後輪が滑ってしまうことを防ぐ補助をします。TCSは、ハンドルバーを切った場合 (直線から外れて走行する)、あるいは駆動伝達または車両安定のためにエンジントルクを減少しなければならない場合のみ、後輪のスピンを制限します。
- **安定コントロールシステム (SCS)** は後輪の動力を制限し、個々の車輪にブレーキをかけるように設計されており、車両のコントロールを失ったり、転倒を防ぎます。

制限

VSSはすべての状況においてコントロールを維持することはできません。

駆動伝達が悪い道路面

道路面でのタイヤのグリップは最大制動効率を制限します。ABSおよびEBDを利用しても、駆動伝達の悪い道路面で運転したり、またはタイヤの空気圧およびトレッドの状態に気を配っていないと、停止距離は長くなります。

道路面でのタイヤが駆動伝達を失ってしまうと、VSSを用いても車両のコントロールを失いかねません。

舗装路面の一部でも氷、雪または泥に覆われている場合、VSSを用いても車両のコントロールを維持できる駆動伝達はありません。雪、氷または泥がある道路では運転しないでください。

他のオンロード車両と同様に、この車両は水上では hidroプレーンします (水に覆われた道路面で駆動伝達を失ってしまう)。道路上の大きな水たまりや水の流れなど、水たまりに向かって早く走行しすぎると、車両を駆動伝達を失いスピンアウトしてしまい、VSSを用いてもコントロールを維持することはできません。大きな水溜りや水流を避け、大雨の場合は速度を落すか路肩に停車してください。水溜りの上を走行する必要がある場合、水溜りに到達する前にできるだけ速度を避けます。

泥、砂、砂利または水に覆われている舗装では駆動伝達が悪いため、速度を落します。Spyder Roadsterはオフロード対応ではありません。車両は必ず適切な道路で使用してください。車両をその他の地面で使用しないでください。

タイヤ

車両のVSSは、特定のサイズ、材料およびトレッドパターンのタイヤに対して最適な性能を発揮するために較正されています。BRPによって認定されていないタイヤと交換してしまうと、VSSの効果が少なくなってしまう。

Can-Am Spyder Roadsterの認定ディーラーからのみ入手可能なBRP推奨タイヤのみ使用してください。

特に緩いまたは濡れた表面では、駆動伝達を維持するために適切なタイヤの空気圧およびトレッドの管理が重要です。タイヤ圧が低すぎると hidroプレーンや過度の

タイヤ熱の蓄積が起こることがあり、タイヤ圧が高すぎるとVSSの効果が増減してしまいます。

急ターン

VSSはステアリング入力を制御または制限しません—急ターンを制御することはできません。ハンドルを大きく、急速に回すと車両がコントロールを失い、スピン、転倒または転がってしまう可能性があります。

スピードの出しすぎ

VSSは、SCSがターンの時に介入する場合を除いて、車両速度をコントロールしません。VSSは車両があまりにも早くターンすることを制御することはできません。特定の状況において早く走行しすぎると、VSSを用いてもコントロールを失うことがあります。

ダイナミックパワーステアリング (DPS)

ダイナミックパワーステアリング (DPS)は、電気モーターを使ってドライバーが必要とするステアリング入力量の最適化を図り、コンピューター制御された可変パワーアシストを提供します。

ステアリング・アシストの度合いはハンドルの力 (ステアリング・トルク)、ステアリング・アングルおよび車両速度に依存します。

車両がリバース・ギアに入っている状態では、車両速度が速くなるにつれパワーステアリング・アシストは低下します。

道路上のリスクの把握

Spyder Roadsterを使用される前に、交通事故における損傷または死亡のリスク、そのリスクを削減できる方法、およびリスクを取る覚悟があるかどうか考慮してください。リスクにはいくつかの要因があります。特定の要因はある程度コントロールすることは可能ですが、他の車両の運転の仕方など、その要因は自分の力ではどうすることもできません。以下はリスクに影響を及ぼすいくつかの要因の一覧です。

車両の種類

車両には様々な種類があり、大きさ、視認性、操縦性、および保護性が異なります。

Spyder Roadsterは小さくて操縦性の高い車両です。操縦性により、交通事故が避けやすくなります。しかし、小さい車両は他のドライバーからは見づらく、他のドライバーから衝突される可能性が増加します。いくつかの状況では、Spyder Roadsterはモーターサイクルより衝突に巻き込まれる可能性は低いです。例えば、低速度の走行中に転倒する可能性はより低いです。しかし他の状況においては、衝突する可能性が高くなります。例えば、車両の幅が広いため、モーターサイクルとは異なり幅狭い通路を通ることはできません。

乗用車やトラックでは、車両の構造によって衝突事故やその他の道路上の危険から身が守られます。さらに、同乗者はシートベルトを着用することでさらに身を守ることができます。Spyder Roadsterは乗用車の運転よりリスクが高く、損傷のリスクはモーターサイクルのリスクと類似していることをご了承ください。

モーターサイクルの走行と同じく、ヘルメットや保護服を着用することで傷害のリスクを減らすことができます。

ドライバーの技術および判断力

各ドライバーは道路上のリスクに対応するように気を配ることが重要です。良い技術を取得したドライバーは車両をより効率よくコントロールすることができます。Spyder Roadsterを操縦するにあたって、モーターサイクル、乗用車、ATV、スノーモビルまたはその他の車両で培った技術に頼らないでください。この車両の異なる特徴に慣れてください。本オペレーターズガイドを読み、安全に関するDVDをご覧になり、もし可能であればトレーニング・コースを受けてください。コントロールに慣れ、実践練習を正確にこなせるようになってから実際の道路で運転してください。

公共の場で運転し始めたばかりのドライバーは、より簡単な道路状況（交通量が少ない、低速度、好天、同乗者が乗っていない状態）に始めは挑戦し、技術が磨かれていく毎に徐々により難しいチャレンジに挑戦してください。自分の運転レベルでは難しすぎる状態、または乗り越えられないようなリスクがある状態を避けるように先読みして運転してください。

熟練したドライバーでさえ衝突することはあります。例えば、極端な操縦や技を披露したりすると衝突のリスクが上がります。賢いドライバーは安全性を高めてリスクを最小限に抑えるために適切な判断を下します。道路上の注意事項のサブセクションに記載の安全運転に関する記述をご参照ください。

ドライバーの状態

ドライバーは酔っていないく、警戒態勢であり、体が運転できる状態である必要があります。薬物やアルコールを摂取した場合は、決してこの車両を使用しないでください。酔っている、疲れている、ま

たは正常に機能できない場合、衝突のリスクが高まります。

薬物、疲労、投薬、体調不良、眠気および感情的になることはすべて安全運転の阻害要因です。モーターサイクルの操縦と同様に、Spyder Roadsterの操縦は簡単ではありません - 乗用車を操縦するより体調およびメンタル状態が重要になります。一番安全な心構えは、集中力を保ち、完全に酔いがさめた状態でしか絶対に運転しないことです。血中アルコール濃度が法定上限を超えなくても、アルコール摂取により判断力と運転力が低下します。

車両を運転するには、すべてのコントロールが操作でき、ハンドルを完全に切ったり、乗り降りしたり、周囲を注意深く監視できる体調であることが必要です。

同乗者も高い集中力を持ち、酔いが完全に醒め、姿勢を維持し、カーブ、でこぼこの道路、加速および停止の際にしっかり摺りあったり対応できる体調であることが必要です。

車両の状態

車両をよい状態に保ってください。

使用前の点検および定期的メンテナンスを行ってください。車両を始動した時に多機能ゲージクラスターに表示されるメッセージに注目し、運転する前に問題に対処してください。

道路状況および天候

渋滞、視認性が悪い、または駆動伝達の悪い道路面ではリスクが高まります。ご自身の運転レベル、および挑戦したいリスク程度に見合った経路をお選びください。

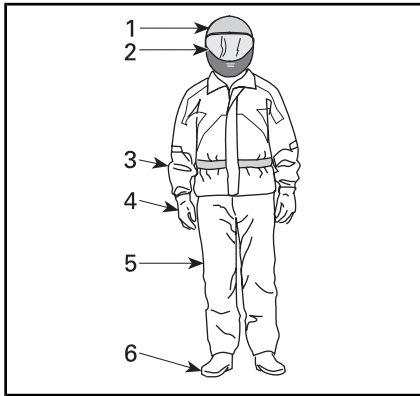
装備 (ライディング・ギア)

Spyder Roadsterのような3輪で体が露出されている車両を運転するにはモーターサイクルと同様に装備が必要です。低速度ではモーターサイクルより安定感のあるこの車両でも、車両から転がり落ちてしまう場合があります。

このセクションはMotorcycle Safety Foundation (MSF)からの資料に基づいたモーターサイクル運転者へのガイドです。

衝突の際にオートバイに乗るためのふさわしい服装をしていると怪我を防いだり、または軽減することができます。さらに状況に合った服装をしていると快適になり、気象要素から身が守られます。

ドライバーおよび同乗者に推奨される基本装備には、ブーツ、長いパンツ、ジャケット、およびグローブが含まれ、何よりも適切に目を保護する適切なヘルメットが推奨されます。



装備 (ライディング・ギア)

1. 使用許可されているヘルメット
2. 目および顔の保護
3. 長袖のジャケット
4. グローブ
5. 長いパンツ
6. ブーツ

ドライバーと同乗者の両者は、衝突が起きた時に適切な装備により損傷の重篤度を低減させることができます。

ヘルメット

ヘルメットは頭および脳を怪我から守ります。ヘルメットはさらに同乗者の顔をドライバーのヘルメットの後部への衝撃から守ります。最高のヘルメットを使っても損傷から100%身を守ることはできませんが、統計によると、ヘルメットの使用は脳損傷のリスクを大幅に減少します。そのため、走行中は必ず安全運転でヘルメットを着用してください。

ヘルメットの選び方

使用されるヘルメットはお住まいの州、行政区または国の標準を満たす必要があります。

顔を完全に覆ったヘルメットは顔と頭全体を守るため、衝撃に対する最大の保護を提供します。さらに異物、石、虫などから身を守ってくれます。

3/4ヘルメットまたはオープン・フェイス・ヘルメットもかなりの保護力があります。同じ基本的な材料から製造されていますが、顔を完全に覆ったヘルメットの顔および顎の保護は損なわれます。オープン・フェイス・ヘルメットを着用する場合、取り付け可能なフェイス・シールドまたはゴーグルの使用を推奨します。

注: 普通の眼鏡またはサングラスは、モーターサイクル運転者には十分な目の保護具ではありません。割れたり頭から外れたりし、目を風および空気中の異物から保護しません。

色付きのフェイス・シールド、ゴーグルまたは眼鏡は昼間中にしか使用しないでください。夜や照明が十分ではない場所で使用しないでください。色を見分ける能力が損なわれる場合、使用しないでください。

その他の装備

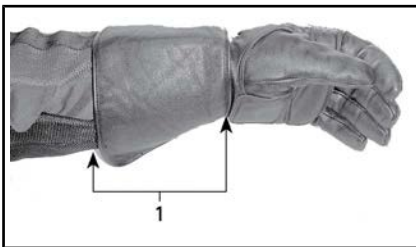
フットウェア

つま先が保護されたフットウェアア
を必ず履いてください。上部な丈
の長いブーツは道路から舞い上
がる石や熱いエキゾースト・パイ
プによる火傷などの運転中の様
々な危険から身を守ってくれま
す。

ギアシフト・レバー、ブレーキペ
ダルまたはその他の部品に絡ま
せてしまう長い靴紐は避けてく
ださい。ゴム製の靴底およびロー
ヒールの靴は足をフットレストに
固定するのに適しています。

グローブ

頑丈なグローブは手を風、太陽、
熱、寒さおよび飛んでくる異物
から守ります。手にぴったり合
うグローブはハンドルのグリップ
を向上させ、手を疲れにくく
させます。ハードプロテクション
なモーターサイクル用グローブ
は転倒の際に手を保護します。モ
ーターサイクル用グローブの外
部の縫い目は手への刺激を抑え
、曲がった形状はハンドグripp
での自然なグリップを実現し
ます。グローブが分厚すぎる場
合、コントロールしづらくなり
ます。ガントレットは冷たい空
気が袖に浸入するのを防ぎ、
手首を保護します。



1. グローブ用ガントレット

ジャケット、パンツおよびライ ディング・スーツ

ジャケット、長いパンツまたはカ
バーオールをライディング・ス
ーツを着用してください。防風、防
水、保温などの機能を備えた保護

具は快適さを提供し、疎ましい環
境からの影響を低減します。衝突
事故の場合、頑丈な素材でできた
高質の保護具は損傷を防いだり、
軽減します。いくつかのギアを
は、衝突における損傷のリスクを
さらに軽減させるパディングや
ハードアーマーが仕込まれていま
す。パンツの着用も熱い部品によ
る火傷から身を守ります。

一般にモーターサイクル用の保護
具は最適なフィットと保護の組合
せを提供します。これらの衣服は
運転中の座った姿勢に合ったデ
ザインがされています。袖などの
丈が長く、肩の部分の幅がより
広がっています。ライディング・
スーツはワンピースまたはツー
ピースのを選びます。

素材としては革は防風性など耐久
性が強く、傷害に対して保護効果
を発揮するため、よい選択肢で
す。合成繊維のその他の耐摩耗性
保護具もよい選択肢です。動く部
品に絡まってしまうかねないス
カーフやゆったりとした、長い衣
服は着用しないでください。

フラップやファスナーは風を
シャットアウトします。チャック
式のジャケットはボタンやスナッ
プ付きのジャケットより防風性が
強くなります。ジャケットのジッ
パーを覆うフラップは防風性を更
に強めます。袖口およびウエスト
部分がぴったり合うジャケット
は、風の浸入を防ぐために推奨さ
れます。より大きい、緩い襟は走
行中にはためくため、肌を刺激し
たり目障りになる可能性があります。

涼しい天候では、低体温になら
ないように気をつけてください。低
体温では、体の温度が低くなり
すぎると集中力の低下、体の遅い
反応、そしてスムーズで適格な筋
肉の動きの損失を招きかねませ
ん。涼しい天候では、防風ジャケ
ットおよび絶縁的服装などの適切
な保護具が不可欠です。適度な
温度でも、走行中に発生する風
によっても寒くなります。

涼しい天候に適切な保護具は停止中だと暑く感じるはず。後で脱げるように重ね着してください。防風のアウターを保護具の上に重ね着することで冷たい空気が皮膚に届くのを防ぐことができます。

装備はドライバーをより目立たせる効力もあります。明るい色を着るのは賢い選択です。薄暗いジャケットの場合、安価な反射ベストを上から着ることも可能です。常に余分な反射テープの付いた衣服を着るのは良い事故予防策です。

雨具

雨天時に運転する必要がある場合、レイン・スーツまたは防水ライディング・スーツが推奨されます。長時間の走行では、雨具を持っていくことが推奨されます。雨から守られたドライバーは、濡れて寒いドライバーより心地よく、より集中して運転することができます。

ワンピースやツーピースから選ぶことができ、特にモーターサイクル用の衣服が最適です。目につきやすいオレンジ色や黄色は良い選択肢です。ウエスト部分、パンツおよび丈がゴム製である物を探してください。丈の高い襟にジッパーが付いてて幅広いフラップがその部分を覆い隠すジャケットが最適です。レイン・スーツをお選びになる場合、防水グローブおよびフットウェアも考慮してください。

雨天の場合、運転しないことが最良の選択肢です。雨天の際に運転する場合、道路上に水が溜まり始めた時は停車する必要があることがあります。

聴覚保護

走行中に長い間、風およびモーター音に晒されていると永久的な難聴を引き起こす可能性があります。耳栓など、適切に着用された聴覚保護具は難聴の防止に役立ちます。聴覚保護具を使用する場合

は、使用する前に現地の法律をお確かめください。

必要とされる運転技術および実践演習

Spyder Roadsterを公共の場で運転する前に、道路上のリスクを抑える運転技術および対策を学ぶ必要があります。以下は車両の基本操作を学ぶための実践演習です。モーターサイクルやその他の自動車の操縦に経験がある場合、特に他の車両と比べてSpyder Roadsterの操作性およびパフォーマンスがどのように違うのかに注目してください。次の実践演習に進む前に各エクササイズを上手にこなせるまで練習してください。このセクションには次のエクササイズが含まれています。

SM6モデル

1. エンジンの回転数を上げたり、エンジン・ストップウォッチの使用
2. 半クラッチおよび基本的な扱いの学習
3. 作動中のエンジンストップ
4. スロットルおよびクラッチの使用
5. 基本ターン
6. 急停止
7. スラローム
8. シフティング
9. 急カーブ
10. リバースでの運転。

SE6モデル

1. エンジンの回転数を上げたり、エンジン・ストップウォッチの使用
2. 始動、停止および基本的な取り扱い
3. 作動中のエンジンストップ
4. 基本ターン
5. 急停止
6. スラローム
7. シフティング
8. 急カーブ
9. リバースでの運転。

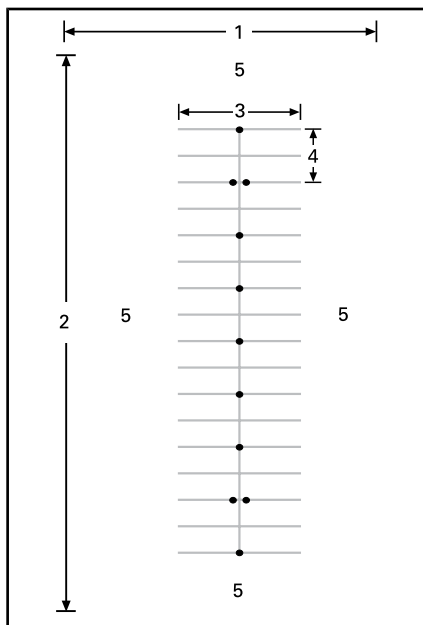
練習場の選択

これらのエクササイズは交通がない、最低でも76 m - 30 mの舗装工

リアで行ってください。障害物（電柱、カーブなど）がない、閉鎖されていて地面にマーキングがされている駐車場は練習に最適です。駐車されていた車によって残されたオイルに注意してください。学校、教会、コミュニティ・センターやショッピング・センターなど、営業時間外の駐車場を探してください。私有地の不法侵入は避けてください。

適切な場所を見つけた後、その土地の所有者から使用許可を得てください。電柱や安全地帯などの障害物がある場合、以下の図に示されている道筋が障害物によって干渉されないように注意してください。

エクササイズの準備をする際は、この駐車場の基本図を考慮してください。図には3 mのサイズの駐車場が描かれていますが、実際には異なるサイズの駐車場を使用することも可能です。お選びになった駐車場に線が引かれていない場合、または図の寸法よりはるかに大きいまたは小さい駐車場である場合は、以下の寸法をご参照ください。巻き尺、チョーク、または水や砂が含まれている容器またはパイロンなどを使ってマーキングしてください。



通常の駐車場

1. 30 m以上
2. 75 m以上
3. 12 m
4. 6 m
5. 空地

閉鎖された場所でも、万が一、他の車が入ってこないか注意してください。エクササイズを行う前に前方、左右および後方を確認してください。また、子供や動物に注意してください。

運転の準備

車両のすべての操縦システムの位置および操作方法を把握してください。車両のメンテナンスセクションを参照してください。

走行前点検を行ってください。走行前の点検セクションを参照してください。

エンジンを始動および停止させるには、基本手順のサブセクションのエンジンの始動および停止に記載されている指示に必ず従ってください。

運転の姿勢

よい姿勢を取るとよりスムーズに運転ができます。操縦システムをスムーズに操作するには、両手と両足を必ず適切に配置してください。通常、手首は腕に対して真直ぐにします（これにより、お望みのスロットルの位置をより簡単に適用できます）。腕はリラックスして曲がった状態であるべきです。姿勢を伸ばし、頭と目を上に向けます。両足を操縦システムの近くのペグに配置します。

運転の適切な姿勢を取っていない場合、近距離でも車両を運転しないでください。



運転の姿勢

練習エクササイズ (SM6モデル)

1)エンジンのふかし、エンジン・ストップ・スイッチの使用について

エクササイズの目的

- エクササイズの際に驚くことがないように、エンジンをふかしている時の音に慣れること。
- エンジン・ストップ・スイッチの使用に慣れること。

指示

- 車両をニュートラルに入れ、パーキングブレーキをかけ、右足でブレーキを踏んだまま、クラッチレバーを握ってその状態を維持します。タコメーターを見ながらスロットルを数回加え（手首を下げて回します）、RPMが4000を超えない程度まで上げます。クラッチが完全に作動している限り、電源は後輪に行き渡りません。
- エンジン・ストップ・スイッチを使って車両のすべての電源を止めます。手をハンドグリップに乗せたまま右手の親指でスイッチを押します。

練習のヒント

- エンジン・ストップ・スイッチを見ないまま押す練習をしましょう。

2)半クラッチおよび基本的な扱いの学習

クラッチを引くと後輪に電源がいかなくなります - これらのエクササイズの際にコントロールを失っていると感じた場合は、クラッチを引いて加速を止め、必要に応じてブレーキをかけて速度を落します。さらにエンジン・ストップ・スイッチを使って電源を完全に切ることもできます。

フリクション・ゾーン（半クラッチ）とは、クラッチが後輪に動力を伝達し始める部分から始まり、クラッチが完全につながられる直前で終了する、クラッチレバーの領域のことを意味します。クラッチをある程度作動すると、後輪に伝達されるエンジン出力を正確に制御することができます。適切な半クラッチの技術は、停止からスムーズに動けるようにします。

エクササイズの目的

- クラッチおよび半クラッチの操作方法に慣れること。
- 低速での減速およびブレーキに慣れること。

指示

このエクササイズでは、スロットルを**絶対**に加えないでください。半クラッチおよびブレーキを使うこのエクササイズでは、車両の移動をクラッチのみでコントロールします。

初めは6m毎(マーカ毎/二つ目の線毎)に、停止してください。

- エンジンを始動し、パーキングブレーキをかけます。
- ブレーキを踏み、クラッチレバーを引いたまま、シフトレバーをしっかりと押し下げてトランスミッションを第一ギアに入れます。
- フットブレーキを放します。
- 車両が前進し始めるまで**ゆっくり**クラッチレバーを放します。この時にクラッチレバーを維持します。これが半クラッチです。クラッチを放すのが早すぎると、エンストしたり車両が素早く前進したりします。**車両がストールしてしまった場合は**、エンジンを再起動させて再度試してください。次はクラッチを徐々に放します。
- 停止点に近づいてきた頃に、クラッチレバーを完全に引き、ブレーキペダルを踏んで停止します。クラッチは徐々に引かなくても結構です - 素早く引いても構いません。
- 直線コースの終わりにたどり着いた時は、停止し、ハンドルを右に全開に回し、Uターンします。ターンの際にはスロットルを加えないように気をつけます。反対方向の直線コースに並んだ時に停止します。
- 自信が付くまでこのエクササイズを繰り返してください。

練習のヒント

- 半クラッチに慣れてきた場合は、12m(他のすべてのパイロン)毎に停止し、クラッチを完全に放す練習をしましょう。

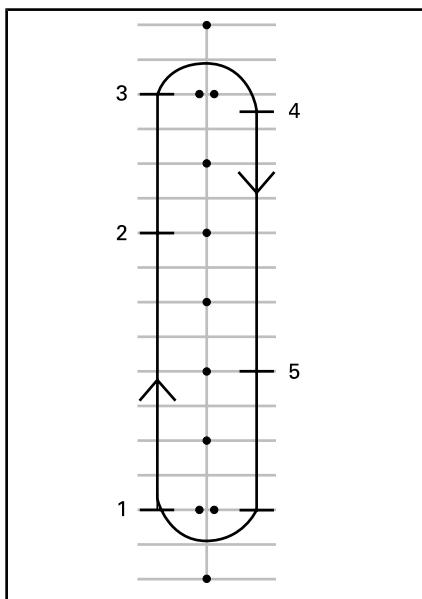
3) 作動中のエンジンストップ

エクササイズの目的

- 走行中にエンジン・ストップ・スイッチを使うことを練習し、後に使う場合に車両がどのように反応するか知っておきましょう。

指示

- 半クラッチで直線コースを走行中に、エンジン・ストップ・スイッチをOFFにし、停止します。
- エンジンを再起動させ、このエクササイズを繰り返します。エンジン・ストップ・スイッチを使う前にクラッチをより遠くまで放し、より早く走行してみましょう。



1. 開始時点
2. エンジン・ストップ・スイッチを押す
3. 直線コースの終わりまで行って停止し、以前と同じようにUターンします
4. 停止
5. エンジン・ストップ・スイッチを押す

エンジンを再起動させ、次のエクササイズに移ります。

4) スロットルおよびクラッチの使用

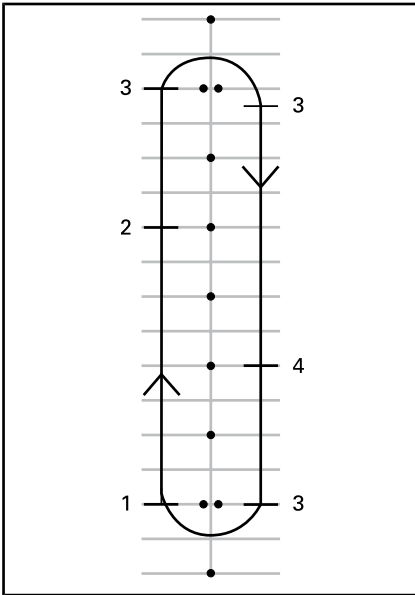
エクササイズの目的

- スロットルの操作に慣れること。
- スロットルおよびクラッチのバランスを学びましょう。

指示

このエクササイズは半クラッチのエクササイズを似ていますが、今回はスロットルを加えます。直線コース全体を走行し、終了地点でしか停止しないでください。

- 直線コースの開始地点で第一ギアに入れて停車した状態でこのエクササイズを始めます。
- クラッチレバーを引き入れたまま、タコメーターが1500と2000RPMの間になるまでスロットルをゆっくり開きます。この範囲に維持する練習をします。
- この位置にスロットルを維持したまま以前と同様にクラッチレバーをゆっくり放します。RPMが2500を超えないようにします。
- クラッチレバーをより早く放せば放すほど、それだけ早く加速します。クラッチを放すのが早すぎると、エンストや車両が素早く前進してしまいます。スロットルを開けすぎると後輪がスピンしてしまい、急速に加速してしまいます。
- クラッチレバーを完全に放すと、スロットルによって速度をコントロールすることができます。
- 直線コースの終了地点間近では、スロットルを放し、クラッチレバーを引き入れ、ブレーキを踏んで停車させてください。
- スロットルを開けないで、Uターンし、反対方向の直線コースを走行し始めます。



1. 開始時点
2. スロットルを放す
3. 停止
4. スロットルを放す

練習のヒント

- クラッチレバーを放す動作、およびスロットルを開ける動作をコーディネートし、スムーズに走行を開始して加速をコントロールします。

5)基本ターン

エクササイズの目的

- 制御性のあるターンを行うことに慣れましょう。

指示

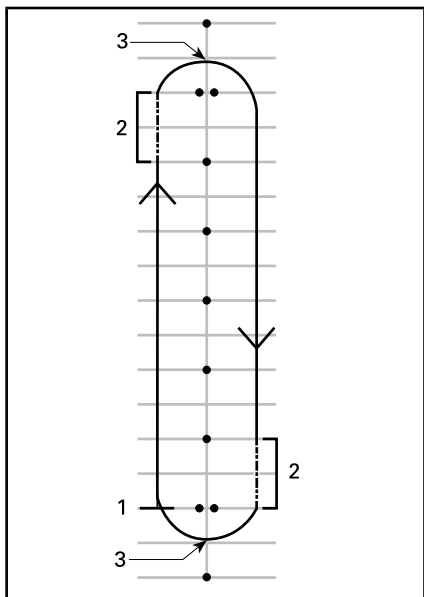
このエクササイズは以前のと似ていますが、今回はターン毎に停車するのではなく、半クラッチでターンをします。

- 第一ギアで直線コースを走ります。直線コースの終わりに幅広くターンするために、パイロンから少し離れて運転します。

- カーブに近づいてきた頃に、クラッチレバーを引き、必要であればブレーキをかけて8km/h以下の速度に抑えます。
- 半クラッチ状態でクラッチレバーを維持し、低速度を維持します。
- カーブの方向に注目します。
- カーブの方向にハンドルを切り、ハンドグリップの内側を引っ張り、外側を押し出します。スロットルに対する手の位置を変えないように注意します。
- より簡単にハンドルを切るには、カーブおよび正面に対して体を寄せます。
- ターン後はハンドルを元通りにし、直線コースを進みます。



ターン時の姿勢



1. 開始時点
2. 半クラッチ
3. 頂点

注: モーターサイクル運転者 -
Spyder Roadsterでカーブを曲がることは、モーターサイクルとは異なります。車両はターン時に傾かないため、姿勢を保つにはターンの内側に重心を移行させる必要がある可能性があります。モーターサイクルと比べて、ハンドルをより力強く回す必要があります。ただし、モーターサイクルと比べて曲がる時はより簡単に停止できます。

練習のヒント

- 一つの方法へのターンに慣れたら、今度は逆コースを走ります。左に曲がる時は、意図したよりもスロットルを開けないよう注意します。
- ターンの途中で停止して、カーブやターン時にブレーキをかける感覚を体験しましょう。

6)急停止

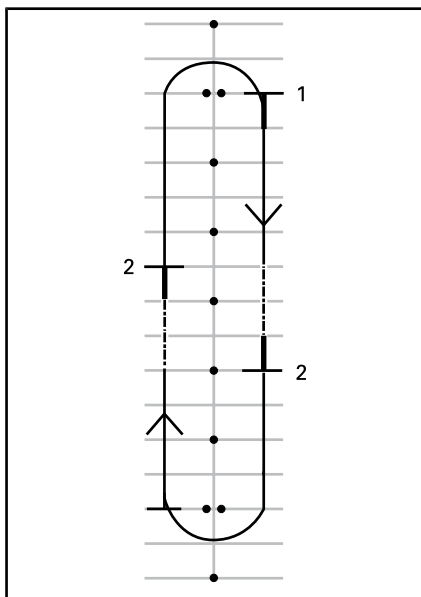
エクササイズ目的

- 車両のブレーキ能力に慣れること。
- ブレーキの最大力を発揮させる方法を学ぶこと。

指示

このエクササイズは以前と似ていますが、今回はブレーキをより強く踏み、最終的にはできるだけ強くブレーキを踏める段階に達するまで練習します。

- 直線コースの一方の端からスタートし、8km/hまで加速します。
- 直線コースを走行している途中にスロットルを完全に放し、ブレーキを素早く、しっかりかけます。
- 頭と目を上に向け、ハンドルを真直ぐの状態に維持します。
- これを繰り返します。次はより早く走行し、ブレーキをより強く踏みます。



1. 開始時点
2. 停止

練習のヒント

- ブレーキを強く踏む前にミラーを確認する練習をしましょう。

7)スラローム

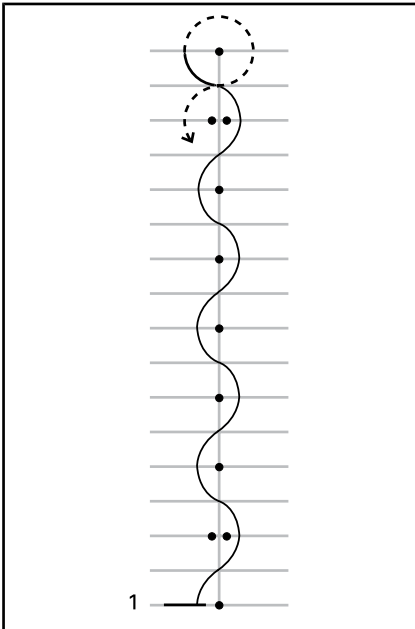
エクササイズの目的

- 車両の扱いおよび姿勢に関する体験をすること。

指示

6 m

1. 他のすべての駐車位置の各パイロンまたは交差点の間をスラロームします。スロットルを加えないでください-半クラッチの状態を維持します。
2. ターンをする度に体をターンの方向に傾け、グリップを引っ張ったり押したりしながら進みたい方向にハンドルを切りま

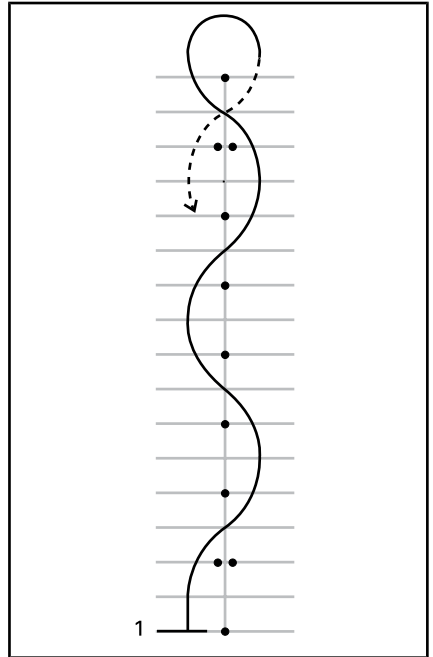


1. 開始時点

12 m スラローム

慣れてきた場合は、一つおきのパイロンの間、または四つおきのパーキングスペースの間を通

て、12mのスラロームに挑戦してください。



1. 開始時点

練習のヒント

- 16 km/h-19 km/hのスラローム速度に慣れてきたら、徐々に速度を高めるのもよいですが、終了地点でのUターンの時は速度を落としてください。

8)変速

走行中は、エンジン速度と車両の速度を一致させるために変速する必要があります。

エクササイズの目的

- 変速に必要な足の動きに慣れること。
- シフトアップおよびシフトダウンを学ぶこと。

指示

このエクササイズは以前のものと似ていますが、今回は直線コースでシフトアップし、コースの終了地点で停止する練習をします。このエ

クササイズでは、パーキングスペースより駐車場の通路を使うことを推奨します。

8a) 停車時にシフトレバーの使用を練習する

まず停車時に第一および第二ギア間の変速を左足で行う練習をします。

- 第一ギアで停車している際に、クラッチレバーを引きます。
- 左足のつま先をシフトレバーの下にスライドさせ、持ち上げる地点まで一回のしっかりしたストロークで第二ギアに変速します。
- シフトレバーを、一回のしっかりしたストロークで踏めるところまで踏み込み、第一ギアに変速します。
- 必要な足の動きに慣れるまで繰り返します。

8b) 第一から第二ギアにシフトアップする

直線コースで第一ギアで約16km/hまで加速します。

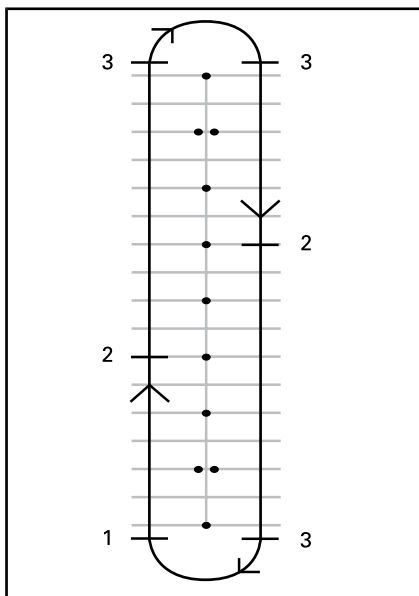
シフトアップするには：

- スロットルを放します。
- クラッチレバーを引きます。(スロットルを放す前にクラッチを引いてしまうと、エンジンが吹き上がる可能性があります-この場合はスロットルを放します)。
- 左足のつま先をシフトレバーの下にスライドさせ、持ち上げる地点まで一回のしっかりしたストロークで第二ギアに変速します。
- クラッチをゆっくり放します。
- スロットルを開ける必要はないですが、慣れてきてスペースが十分にあれば、スロットルを開けて第二ギアで加速してみることもできます。

直線コースの終了地点に近づいてきたら以下の停車の準備をします。

- スロットルを放します。

- クラッチレバーを完全に引きます。
- ブレーキをかけます。
- 停車後、シフトレバーを一回のしっかりしたストロークで踏めるだけ踏んで第一ギアにシフトダウンします。慣れてきたら、停車するたびに第一ギアにシフトダウンします。



1. 開始時点
2. 16 km/hで第二ギアに変速
3. 停止

8c) 第二から第一ギアにシフトダウンする

スペースが十分である場合は、第二から第一ギアへの変速練習を行ってください。

直線コースで約16 km/hまで減速します。

- スロットルを放してクラッチレバーを引きます。
- 第一ギアに変速するにはシフトレバーを踏みます。
- クラッチをゆっくり放します。
- 足をペグに戻します。

8d)他のギア

スペースが十分である場合、より高いギアにシフトアップしたり、低いギアにシフトダウンしてみることもできます。同じ過程を踏み、ギアは一つずつシフトアップまたはシフトダウンしてください。

練習のヒント

より多くの経験を積んで変速技術を磨き上げることで、より良いコントロールで車両を運転することができます。

- シフトダウンの場合は、スムーズにクラッチを放しながらスロットルを多少開けることで、エンジンを吹き上げさせて車両速度と同等のレベルまで上昇させることでシフトダウンをよりスムーズにさせ、後輪の横滑りを防ぐことができます。
- スロットルを空けないで低ギアにシフトダウンすると車両の速度を落すことができます。これをエンジン・ブレーキと呼びます。エンジン・ブレーキを行うには、ギアを一つずつシフトダウンさせ、シフトダウン毎にクラッチを少しずつ放します。エンジン速度が安定するまで半クラッチ状態を維持し、次のシフトダウンの準備ができるまでレバーを少しずつ放します。
- 通常はギアを一つずつ変速しますが、行いたいギア変速の回数だけアップまたはダウンストロークを続けて行い、クラッチを握ることでギアを一つ以上変速させることも可能です。

VSSはエンジン・ブレーキを制御しないことをご了承ください。高速度であまりにも低いギアに変速してしまった場合は、後輪が滑ってしまうことがあり、特にカーブなどでは車両のコントロールを失い、車両がスピアウト、転倒または転がってしまう可能性があります。

9)急ターン

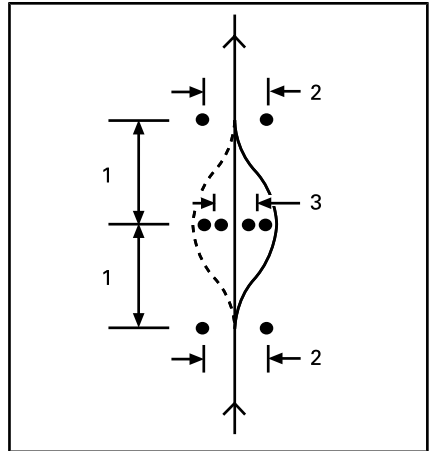
エクササイズの目的

- 極端な操縦での車両の扱いに慣れること。
- ブレーキおよび急ターンの様々なバリエーションを試すこと。

指示

以下の図に示されている通りにパイロンを配置します。このエクササイズには、固定された、または固い、重い物を使用しないでください。

- 約8 km/hの速度で2つのパイロン間を走行し、その速度を維持します。
- 一連のパイロンの周りを走行してみます。
- 二重パイロン s h 毀の第二セットからコースを出ます。
- このエクササイズは数回行い、両方向での急ターンに挑戦してください。



1. 6 m
2. 3 m
3. 2.5 m

練習のヒント

- 開始速度を徐所に上げることもできません（13 km/h ~ 19 km/h 以下の速度に抑え、いくつかのバリエーションを試します）。例えば、コース直前の速度を調整したり、急ターン時にクラッチを引っ張ったりブレーキをかけたたりなど。
- 助手に手伝ってもらうことで、どの方向にターンするか、またはどこで停車させるかなど指示してもらい、よりダイナミックなエクササイズとなります。助手には安全な距離を取ってもらいます（練習場より多少離れた位置など）。パイロンの第一セットの直前で助手はどの方向にターンするか、または停車すべきかなど、手信号で指示してもらいます。
- 急ターンをする前にミラーや死角を確認する練習をしましょう。

10) リバースでの運転

エクササイズの目的

- リバースでの旋回半径および車両の取り扱いに慣れること。

指示

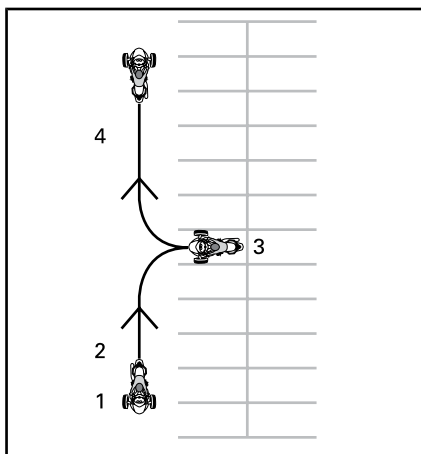
リバースにシフトします。基本手順のサブセクションのリバースでの運転を参照。

クラッチをゆっくり切りながら背後に何もなにか確認します。後退させながら前輪で物に当たらないように注意します。通常の動作と同様に、速度を落とし、クラッチおよびブレーキの使用を止めます。

100cmから200cmずつ後退し、間に停止させます。

低速度で運転し、長距離を走るのにリバースを使わないこと。

後退に慣れたら、以下の図のようにパーキングスペースに後退させてください。



1. 開始時点
2. リバース（後退）
3. 停止
4. 前進

安全な場所で行える追加練習

上記のすべてのエクササイズに慣れたら、スペースと条件が許す限り、他のいくつかの練習を試みてください。これらのエクササイズは、リスクを負わないで駐車場などの安全な場所で行ってください。

- **クイック・スタート** 迅速に加速し、ギアをシフトアップします。
- **高速度から急停止する場合**：急停止のエクササイズと似ていますが、緊急停止などより高速度で行います。
- **傾斜登り**：これには半クラッチになるまでクラッチレバーを放しながらブレーキペダルを踏み続けます。これは後ろに倒れないようにします。

練習エクササイズ (SE6モデル)

1) エンジンのふかし、エンジン・ストップ・スイッチの使用について

エクササイズの目的

- ねじれスロットルの操作に慣れること。
- 様々なRPMのエンジン音に慣れること。これによってエンジン音に応じていつシフトアップおよびシフトダウンすべきなのか把握できます。
- エンジン・ストップ・スイッチの使用に慣れること。

指示

- 車両をニュートラルに入れ、パーキングブレーキをかけ、右足をブレーキペダルに配置します。多機能ゲージクラスターを確認してニュートラルに入っているか確認してください。第一ギアに入っている場合は、スロットルを開くとRoadsterは前進し始めます。
- タコメーターを見ながらスロットルを数回加え（手首を下げて回します）、RPMが4000を超えない程度まで上げます。3000RPM前後を維持するようにスロットルを優しくかつ円滑に開けたり閉じたりする練習をします。トランスミッションがニュートラルに入っている限り、電源は後輪に行き渡りません。
- エンジン・ストップ・スイッチを使って車両のすべての電源を止めます。手をハンドグリップに乗せたまま右手の親指でスイッチを押します。

練習のヒント

- エンジン・ストップ・スイッチを見ないまま押す練習をしましょう。

2) 始動、停止および基本的な取り扱い

エクササイズの目的

- スロットルのコントロールおよび車両の動かし方を学ぶこと。
- 低速での減速およびブレーキに慣れること。

指示

これらのエクササイズを行う際にコントロールを失っていると感じた場合、加速を止めるためにスロットルを閉じ、必要に応じてブレーキをかけて減速してください。さらにエンジン・ストップ・スイッチを使って電源を完全に切ることもできます。

2a) スロットルを開けた直前に放す指示

最初は、スロットルを少しの間使用し、放して惰行運転します。

- エンジンを始動し、パーキングブレーキをかけます。
- ブレーキペダルを踏んだまま、ギアセレクターを前方に押し、トランスミッションを第一ギアにシフトさせます。
- ブレーキを放します。
- 車両が少しずつ前進し始めるまでスロットルをゆっくり開けません。動き始めた直後、スロットルを話して惰行運転し、ブレーキを踏んで停車します。直線コースの終点にたどり着くまで繰り返します。
- 直線コースの終点でUターンするには、停車し、ハンドルを右に完全に切り、スロットルを多少開けて放して、惰行運転でターンします。完全にターンするにはスロットルを一回以上開ける必要がある場合があります。反対方向の直線コースに並んだ時に停止します。
- スロットルを開けて放すのに慣れるまで、エクササイズのこの部分を練習し続けてください。

2b)12 m毎にスロットルをホールドし、放して停車する

次はスロットルをより長くホールドし、12 m毎に停車します（他のすべてのマーカー毎、または四つに一つの線毎に）。

- この場合も、車両が少しずつ前進し始めるまでスロットルをゆっくり開けます。今回はこの時点までスロットルをホールドします。
- 停止地点が近づいてきたら、スロットルを放してブレーキをかけ停車します。
- 以前と同様に直線コースの終点でUターンしますが、今回はターン時にスロットルを放す必要はありません。ターンする際に安定したスロットルの位置を維持することに焦点を当ててください。反対方向の直線コースに並んだ時に停止します。

2c)スロットルをホールドし、放して終点で停車

次に、直線コース全体を走行し、終了地点でしか停止しないでください。スロットルは適度に開けておきます。

3)作動中のエンジンストップ

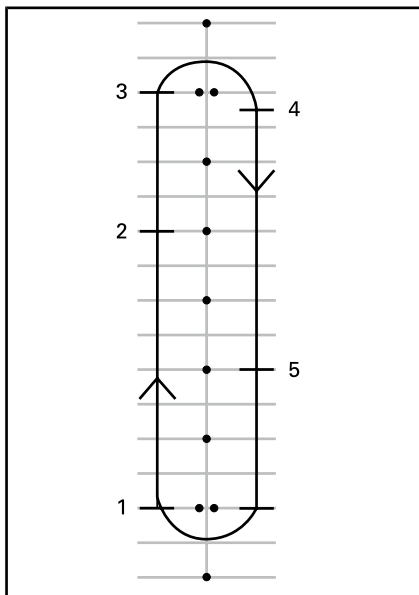
エクササイズの目的

- 走行中にエンジン・ストップ・スイッチを使うことを練習し、後に使う場合に車両がどのように反応するか知っておきましょう。

指示

- 8km/hの速度で直線コースを走行している間に、エンジン・ストップ・スイッチをOFFにし、停車します。
- エンジンを再起動させ、このエクササイズを繰り返します。エンジン・ストップ・スイッチを使う前に加速(最大20 km/h)してみてください。

注: SE6モデルはブレーキペダルが踏まれていないとギアに入れることはできません。



1. 開始時点
2. エンジン・ストップ・スイッチを押す
3. 直線コースの終わりまで行って停止し、以前と同じようにUターンします
4. 停止
5. エンジン・ストップ・スイッチを押す

エンジンを再起動させ、次のエクササイズに移ります。

4)基本ターン

エクササイズの目的

- 制御性のあるターンを行うことに慣れましょう。

指示

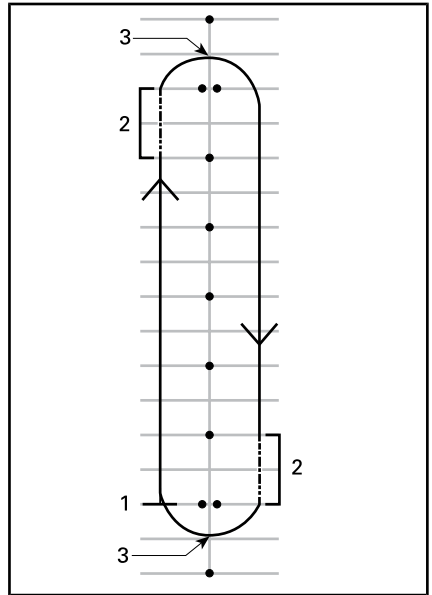
このエクササイズは以前のと似ていますが、今回はターン毎に停車するのではなく、低速度でターンをします。

- 第一ギアで直線コースを走ります。直線コースの終わりに幅広くターンするために、パイロンから少し離れて運転します。

- カーブに近づいてきた頃に、スロットルを放して必要であればブレーキをかけることで速度を8 km/h以下まで落します。
- 低速度を維持するためにスロットルをホールドします。
- カーブの方向に注目します。
- カーブの方向にハンドルを切り、ハンドグリップの内側を引っ張り、外側を押し出します。この間、スロットルを空けないように気をつけます。
- より簡単にハンドルを切るには、カーブおよび正面に対して体を寄せます。
- ターン後はハンドルを元通りにし、直線コースを進みます。



ターン時の姿勢



1. 開始時点
2. 半クラッチ
3. 頂点

注: モーターサイクル運転者 - Spyder Roadsterでカーブを曲がることは、モーターサイクルとは異なります。車両はターン時に傾かないため、姿勢を保つにはターンの内側に重心を移行させる必要がある可能性があります。モーターサイクルと比べて、ハンドルをより力強く回す必要があります。ただし、モーターサイクルと比べて曲がる時はより簡単に停止できません。

練習のヒント

- 一つの方法へのターンに慣れたら、今度は逆コースを走ります。左に曲がる時は、意図したよりもスロットルを開けないよう注意します。
- ターンの途中で停止してみて、カーブやターン時にブレーキをかける感覚を体験しましょう。

5)急停止

エクササイズの目的

- 車両のブレーキ能力に慣れること。
- ブレーキの最大力を発揮させる方法を学ぶこと。

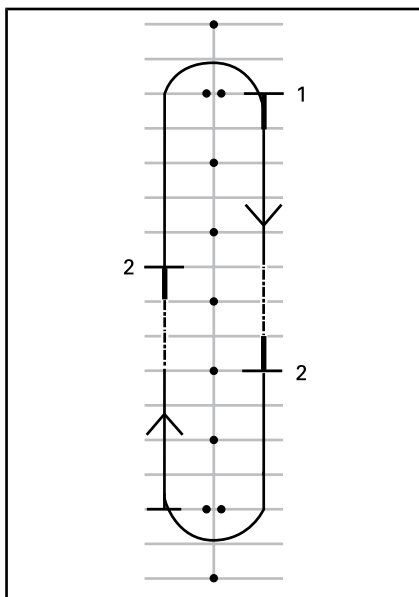
指示

このエクササイズは以前と似ていますが、今回はブレーキをより強く踏み、最終的にはできるだけ強くブレーキを踏める段階に達するまで練習します。アンチロック・ブレーキシステム (ABS) は最大制動力がかかっている場合に車輪がロックされるのを防ぎ、ステアリング・コントロールを維持するのに役立ちます。SE6で急停止をする場合は、必ずスロットルを完全に放します。スロットルを開けたまま同時にブレーキをかけた場合、停止距離は長くなります。

- 直線コースの一方の端からスタートし、8km/hまで加速します。

直線コースを走行している途中にスロットルを完全に放し、ブレーキを素早く、しっかりかけます。ABSによって車輪ロックが防止されるため、絶対にポンピング・ブレーキを行わないでください。

- 頭と目を上に向け、ハンドルを真直ぐの状態に維持し、完全に停車するまでブレーキを放さないでください。
- これを繰り返します。次はより早く走行し、ブレーキをより強く踏みます。



1. 開始時点
2. 停止

練習のヒント

- ブレーキを強く踏む前にミラーを確認する練習をしましょう。

6)スラローム

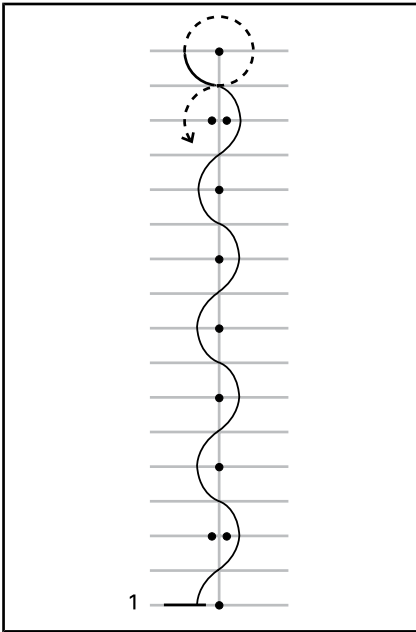
エクササイズの目的

- 車両の扱いおよび姿勢に関する体験をすること。

指示

6 m スラローム

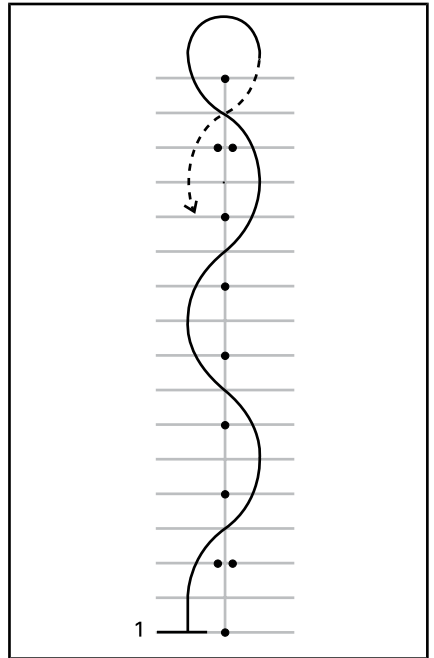
1. 他のすべての駐車位置の各パイロンまたは交差点の間をスラロームします。方向変更に慣れるまで、最初は低速で練習します。
2. ターンをする度に体をターンの方向に傾け、グリップを引っ張ったり押ししたりしながら進みたい方向にハンドルを切ります。



1. 開始時点

12 m スラローム

慣れてきた場合は、一つおきのパイロンの間、または四つおきのパーキングスペースの間を通過して、12mのスラロームに挑戦してください。



1. 開始時点

練習のヒント

- 16 km/h - 19 km/hのスラローム速度に慣れてきたら、徐々に速度を高めるのもよいですが、終了地点でのUターンの時は速度を落としてください。

7)変速

走行中は、エンジン速度と車両の速度を一致させるために変速する必要があります。マニュアルの乗用車やトラックと同様に、低速ギアは低速度に、高速ギアは高速で使用します。

SE6はエンジン速度が1800RPM以下になると自動的にシフトダウンします。

エクササイズ目的

- シフトアップおよびシフトダウンを学ぶこと。

指示

このエクササイズは以前のと似ていますが、今回は直線コースでシ

フトアップし、コースの終了地点で停止する練習をします。このエクササイズでは、パーキングスペースより駐車場の通路を使うことを推奨します。

7a) 停車時でギアセクターの使用を練習する

まず停車状態でリバース、ニュートラルおよび第一ギア間のシングルシフトを練習します。次に、以下の練習を行います。

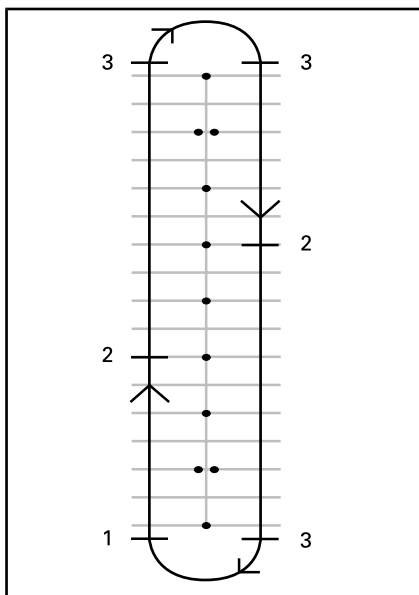
- リバースから第一ギアにダブルシフトする。
- 第一ギアからリバースギアにダブルシフトする。
- 慣れるまで繰り返します。

7b) 第一から第二ギアにシフトアップ

- 直線コースでエンジン速度が3000 RPMに達するまで加速します。
- 第二ギアにシフトするにはギアセクターを前方に押します。SE6では、シフト中にスロットルを放す必要はありません。
- 慣れてきてスペースが十分であれば、スロットルを調整して第二ギアで加速してみることもできます。

直線コースの終了地点に近づいてきたら以下の停車の準備をします。

- スロットルのリリース
- ブレーキをかける
- SEはRoadsterの速度が落ちると自動的にシフトダウンします。ギアセクターを手前に引っ張ることで手動でシフトダウンすることもできます。



1. 開始時点
2. 25 km/hで第二ギアに変速
3. 停止

7c) 十分なスペースがある場合、走行中に第一ギアにシフトダウンする練習

直線コースで：

- スロットルを放さないでギアセクターを手前に引っ張ります。
- スロットルなしでシフトダウンするとエンジン・ブレーキの感触がよりリアルに伝わります。

7d) 他のギア

スペースが十分である場合、より高いギアにシフトアップしたり、低いギアにシフトダウンしてみることもできます。同じ過程を踏み、ギアは一つずつシフトアップまたはシフトダウンしてください。

注: シフトダウン中にもう少しスロットルを開けることで、エンジンを吹き上げさせて車両速度と同等のレベルまでより素早く上昇させることでシフトダウンをよりス

ムーズにさせることができます。シフトダウン中にスロットルを開けないと、エンジン・ブレーキによって車両の速度が落ちます。これを利用して減速することもできますが、VSSはエンジン・ブレーキを制御しないことを考慮してください。高速度であまりにも低いギアに変速してしまった場合は、後輪が滑ってしまうことがあり、特にカーブなどでは車両のコントロールを失い、車両がスピンアウト、転倒または転がってしまう可能性があります。

8)急ターン

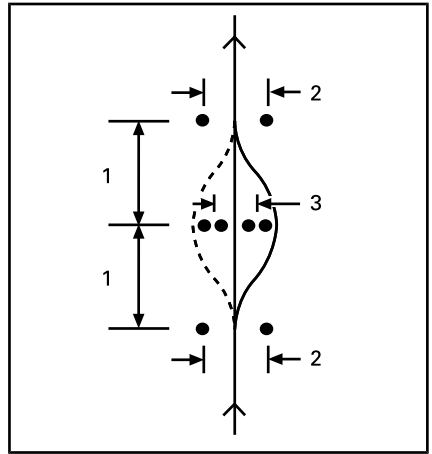
エクササイズの目的

- 極端な操縦での車両の扱いに慣れること。
- ブレーキおよび急ターンの様々なバリエーションを試すこと。

指示

このエクササイズを行うには、コースを再配置する必要があります。以下の図に示されている通りにパイロンを配置します。このエクササイズには、固定された、または固い、重い物を使用しないでください。

- 約8 km/hの速度で2つのパイロン間を走行し、その速度を維持します。
- 一連のパイロンの周りを走行してみます。
- 二重パイロン s h 毀の第二セットからコースを出ます。
- このエクササイズは数回行い、両方向での急ターンに挑戦してください。



1. 6 m
2. 3 m
3. 2.5 m

練習のヒント

- 開始速度を徐所に上げることもできます（13 km/h ~ 19 km/h 以下の速度に抑え、いくつかのバリエーションを試します）。例えば、コース直前の速度を調整したり、急ターン時にブレーキをかけたりなど。
- 助手に手伝ってもらうことで、どの方向にターンするか、またはどこで停車させるかなど指示してもらい、よりダイナミックなエクササイズとなります。助手には安全な距離を取ってもらいます（練習場より多少離れた位置など）。パイロンの第一セットの直前で助手はどの方向にターンするか、または停車すべきかなど、手信号で指示してもらいます。
- 急ターンをする前にミラーや死角を確認する練習をしましょう。

9)リバースでの運転

エクササイズの目的

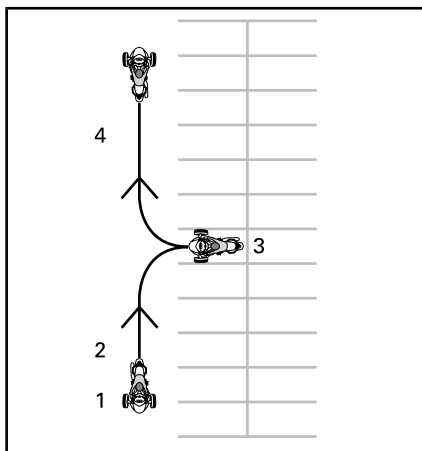
- リバースでの旋回半径および車両の取り扱いに慣れること。

指示

- リバースにシフトします。基本手順のサブセクションのリバースでの運転を参照。
- 背後に障害物がないか確認します。後退中も背後を見続けます。後退させながら前輪で物に当たらないように注意します。通常の動作と同様に、スロットルを放してブレーキをかけて減速し、停車します。
- 100cmから200cmずつ後退し、間に停止させます。
- 低速度で運転し、長距離を走るのでリバースを使わないこと。
- 後退に慣れたら、以下の図のようにパーキングスペースに後退させてください。

- 短距離
- 好天
- 交通が少ない場所
- 昼間
- 低速度
- 同乗者なし。

上達してきたら徐々によりリスクの高い状況で練習してください。



1. 開始時点
2. リバース (後退)
3. 停止
4. 前進

高度運転技術の取得

基本運転技術をマスターした後は、より高度な技術の取得を開始することができます。まず、次のセクションに記載の「道路上の注意事項」をご覧ください。次に、リスクが比較的に低い場所を見つけて練習を開始します。

以下のようなよりリスクが低い条件で運転し始めます。

道路上の注意事項

このセクションは道路上のリスクを軽減するための戦略について説明します。これらの多くの戦略はモーターサイクルのものと似ています。

このセクションはMotorcycle Safety Foundation (MSF)からの資料に基づいたモーターサイクル運転者へのガイドです。しかし、Spyder Roadsterとは戦略が異なるため、熟練したモーターサイクル運転者でもこのセクションをお読みください。

練習の下準備

練習に出かける前に必ず天候を確認します。いかなる天候に備えるために適切なギアを持ってきます。

自分の技術に見合った経路および運転状況を選択します。

車両には25 Lの燃料タンクがあります。燃料低下インジケーター・ライトが点滅し始めたら、燃料タンクの供給をできるだけ早く行ってください。特に人けの少ない場所では、ガソリンスタンドなどの場所を事前に確認します。

安全運転

モーターサイクルと同じく、安全運転は衝突事故を防ぎます。常次警戒する必要があります。背後も含めて、周囲への注意を怠らないでください。必ず潜在的な危険性がないか確認し、先読みし、問題を回避するために必要な距離と時間を計算します。他の運転者が常に交通規則を守るだろうと決め付けしないでください。

車間距離

最適な運転状況では、前の車両とは2秒間の車間距離を必ず取ってください。これは、道路上の固定物と比較して前の車両の位置に最低でも2秒後に通過することを意味します。

制動距離が長くなる状況、または視認性が悪い場合、より安全な対

策を取るためにより長い車間距離を取ってください。例えば、滑りやすい路面、下丘、または車両の重量がより重たい場合は、制動距離がそれだけ長くなりますし、霧、カーブまたは夜間では視認性が制限されます。

前方を見渡す

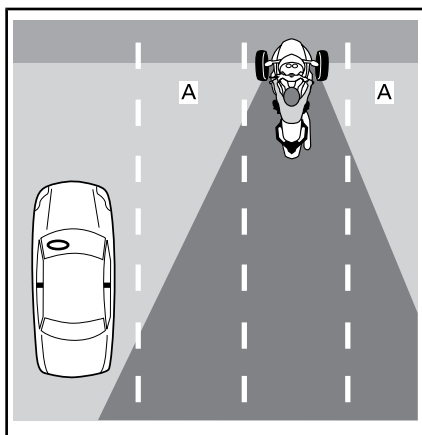
隣の車両と適切な車間距離を保つことに加えて、前方を見渡して通り道を事前に考慮しておきます。

最低でも4秒後の通り道を計算しておきます。道路上にある物体や他の車両など、自分の通り道に危険性がないか気を配ります。

予想した通り道で潜在的に危険な状況が起こる前にそれを見越すために、12秒先の距離も見通しておきます。例えば、他の車両が現れる可能性のある交差点や、歩行者が横断する可能性のある箇所などを識別します。もし危険な状況に遭遇した場合、瞬時に回避できる準備をしておきます。

背後および両側の確認

すべての方向から他の車両や危険が迫ってきます。周囲を常に見渡します。背後になにがあるか常にミラーを確認します。さらに死角を監視するために常にヘッドチェック（振り返って確認する）を行います。



A. ドライバーの死角

ブレーキをかける際は、Spyder Roadsterのように素早く停止できない、背後にいる普通の車両などを特に注意します。

視線を動かす

周囲を把握するには、視線を一つの方向に集中してはいけません。常に視線を動かし、道路、道路標識、機器および他の車両に注意します。すべての方向において、近くと遠くを見ます。

トラブルを予想する

潜在的な危険性に気が付いた時は、回避方法を検討します。これには速度や車線での位置を調整したり、車線変更する必要がある場合があります。なにかが通り道に侵入してきた場合は、急ターンやブレーキなどの回避行動を瞬時に取る準備をしておきます。問題に対応できるように、十分な距離をとって、十分に反応できる時間を常に確保しておきます。

視認性を高める

ドライバーにはモーターサイクルなど小さい車両をあまり注目しない性質があります。そのため、他のドライバーから見えやすいようにすることも戦略の一つです。

他のドライバーから見えやすいする方法

照明およびリフレクター

車両のヘッドライト、走行用ライトおよびテールライトが適切に作動することを確認してください。使用されている車両のフェンダー、両側および後部にはリフレクターが付いています。すべてのリフレクターが清浄であり、壊れていたり欠損していないことを確認します。

昼と夜の両方で使用可能なときはハイビームを使います。夜に他のドライバーの目をくらますのを避けるために、または霧で光が反射しすぎている場合にロービームを使います。

シグナル

ウインカーを使って他のドライバーに自らの意図を知らせます。Spyder Roadsterには自動キャンセル式ウインカーが付いていますが、短いターンではキャンセルしないことがあります。操作の完了後にウインカーがOFFになっていることを確認します。完了後にONになっていると他のドライバーを混乱させてしまいます。

できれば、減速する前や交差点にたどり着く前にブレーキライトを点滅させ、背後のドライバーに警告します。

必要に応じてハザードランプを使って他のドライバーから見えやすくします。

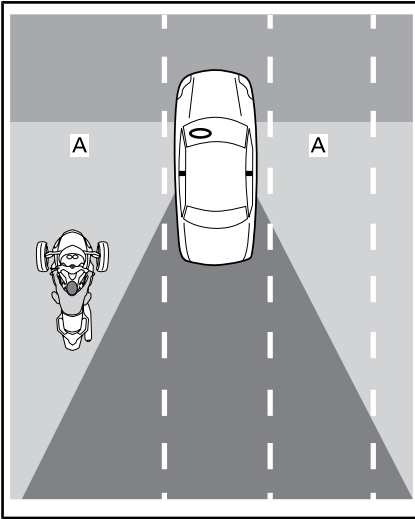
さらにクラクションの使用を試みて、他のドライバーに自らの居場所を伝えることもできます。

他のドライバーがあなたのライト、シグナルまたはクラクションの音に気づいたと決め付けしないでください。

死角

他の車両の死角に運転するのは避けましょう。前方に走っているドライバーがミラーからあなたを見えやすいように自分の位置を設定

します。トラックまたはバスを追跡している状況などの特定の場合は、前方の車両との間の車間距離を多めにとりましょう。



A. 他の車両の死角

時刻と天気

夜、夜明けや夕暮れなどの照明が薄い場合、および雨または霧などの悪い天候の場合は、他のドライバーから見えにくい場合があります。夜明け、夕暮れまたは非常に明るい日光からのまぶしい光によって、他のドライバーから見えにくくなります。

衣服

明るい色または蛍光衣類は視認性を高めます。

他のドライバーから見えていても気をつけましょう

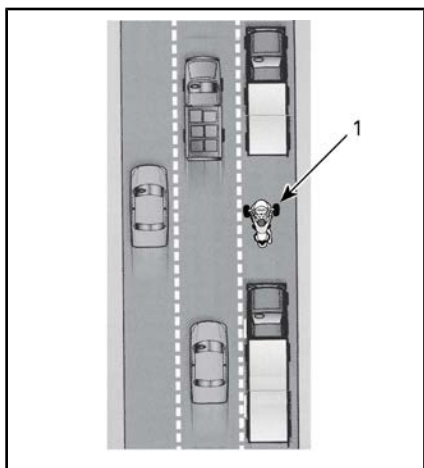
他のドライバーがあなたの存在に気づいていても、衝突のリスクを作るような運転の仕方をする可能性があります。防衛運転をし、他のドライバーが安全運転をすると決め付けないことです。

車線の位置

通常は、Spyder Roadsterを車線の中央に位置付けます。このポジションは前輪を車線内に留めま

す。これは他の車線にいる車両との車間距離をとり、大型車両からの風の影響を低減し、車線変更した車両から衝突されるリスクも軽減します。このポジションは車線の中央の滑りやすい箇所から前輪を遠ざけ、ブレーキおよびステアリング能力を維持します。Spyder Roadsterの席は車両の真ん中に位置しており、乗用車と視線が異なるため、乗用車の運転に慣れている方は注意してください。

危険を避けるために車線の左側または右側に移動したり、他の車両やカーブから距離を置きます。さらにより良い眺めを得るため、または他のドライバーの視線を得るために車線の左側または右側に移動することもできます。Spyder Roadsterの中央にある席と幅によって、車線の端にいても周りの交通が見えづらい場合があります。幅が広い、または背が高い車に対してより多く車間距離をとる必要があることがあります。周りの交通を把握するために車輪を車線の外にはみ出すのは避けましょう。前方のドライバーから見える車間距離をとるには、あなたが相手のミラーに見える距離でなければなりません。大型車両によって追跡されている場合は、車線の左側にいないと通行車両があなたを識別できない可能性があります。



1. 車線の左側にある車両

Spyder Roadsterはモーターサイクルより幅が広いいため、車線内では限られた位置付けしか行えません。車線の左または右側で走行する場合は、前輪が車線内に留まっていることを確保します。

多車線の道路では、車の流れにのったあなたの速度に見合った車線を選び、視認性を重視し、回避行動用（他の車線または路肩に急ターン）の通り道を考えておきます。

一般的な運転状況

交差点

路地や私道をつなげる小さい交差点など、交差点には横断歩道があるため、更なるリスクがあります。常に全方向の交通に注意してください。背後、前方および左右を監視します。

交差点で停止する場合は、次の角を曲がる場合でも、車線の真ん中で停車します。これにより他のドライバーから見えやすくなり、あなたの周りを運転しようとする行為を妨げます。背後から迫る車両に気を付けてください。迫ってくる車両に対してブレーキライトを点滅させます。第一ギアにいれ、必要であれば衝突を避けるための回避準備をしておきます。

車線変更および追い越し

Spyder Roadsterはモーターサイクルより幅が広く、他の車両を追い越すには車線の幅をより必要とすることを考慮してください。この車両は乗用車より見えにくいいため、十分余裕を持ってウinkerをつけ、ミラーおよび死角を確認することが特に重要です。車線変更後にウinkerをOFFにし忘れないようにします。車線変更だけではハンドルが十分に切られず、シグナルが自動的にキャンセルされません。

2車線（スプリットレーン）の間線の線を絶対に行き止まないでください。車両の幅が広すぎます。

路肩に沿って他の車両を絶対に追い越そうとしないでください。車輪が一つでも道路からはみ出た場合、コントロールを失いかねません。

ターン

ターンの時は減速し、周りをよく見てきちんとステアリングを制御することを忘れずに。

- **減速：**ターンする前に、スロットルを放し、ブレーキを使った
り低速にシフトダウンすること
で必要に応じて速度を落しま
す。維持できる範囲の速度で
ターンを開始します。
Spyder Roadsterはモーターサイ
クルよりターン時のブレーキの
効率が良いですが、それでも
ターンやカーブを曲がる最中よ
りその前に減速することが重要
です。ブレーキとターンの両方
には駆動伝達が必要です。ブレ
ーキに駆動伝達を使えば使う
ほど、同時にターンするだけの
駆動伝達が無くなります。
ターンやカーブの曲がり方が早
すぎると、前輪の内側が舗装か
ら浮き上がり、VSSがエンジ
ンの出力を制御し始める音が聞
こえる場合があります。VSSはコ
ントロールの維持に役立ちます
が、ターンが早すぎるとスピン
したり転がり落ちてしまう可
能性があります。
- **周りをよく見る：**ターンの全過
程において周囲に注目し、視線
を動かし続けます。ターン全体
をできるだけ早く評価します -
表面特性、ターンの切れ味およ
び全体の交通状況こうすること
で、速度および位置に対して
決定を下す時間が確保できま
す。時には、ターンの方向に頭を傾
けることで全体の把握がより可
能となります。
- **ステアリング：**ハンドルを切っ
てターンの方向に車両を操縦し
ます。Spyder Roadsterはモ
ーターサイクルとは異なるため、
カウンター・ステアができず、
車両を傾けさせることはできま
せん。ターンによる横力を経験
するため、この間に姿勢を保つ
にはターンの内側に重心を移行
させる必要がある可能性があります。
モーターサイクルと比べ
て、ハンドルをより力強く回す
必要があります。

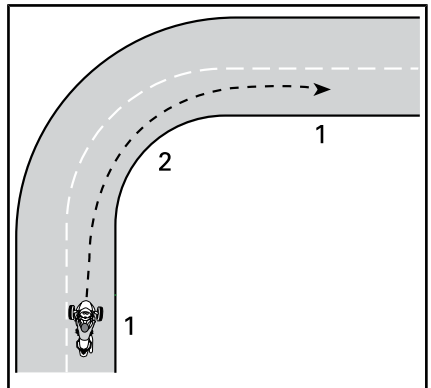
SM6モデル

ターンの際に変速する場合は、ク
ラッチレバーをあまりにも早く放
さないようにします。エンジンお
よび車両の速度を一致させるため
にクラッチレバーをスムーズに放
しながらスロットルを調整しま
す。クラッチを放すのが早すぎた
り、スロットルを開けすぎると、
後輪が駆動伝達を失い、横滑りし
だしてコントロールを失いかねま
せん。駆動伝達・コントロール・
システム(TCS)は車両がスピンし
始めるのを検出し、後輪に伝達さ
れる動力を削減します。この介入は
後輪に駆動伝達を取り戻されるこ
とを意図し、車両を意図された旋
回半径に維持するための、不要な
オーバ・ステアリングの補正を可
能にします。

カーブ

Spyder Roadsterは乗用車より幅が
小さいため、カーブでの通り道
を正すために車線内を左右に動き回
ることもできます。ただ、Spyder
Roadsterはモーターサイクルより
幅が大きいので、左右の動きは限
られます。重要なのが前輪が車線
からはみ出ないことです。

通常のカーブでは、アウト、イン、
アウトの通り道がベストで
す。



通常のカーブの通り道

1. アウト
2. イン (内側)

坂

傾斜に適切なギアを選択します。低速ギアは、坂を登る時に十分な動力を維持することができます。ダウンヒルの場合、低速ギアに入れるとエンジンブレーキが速度のコントロールに役立ちます。

SM6モデル

傾斜の上ですでにいる場合は、クラッチレバーを半クラッチにさせ、そのまま車両の位置をブレーキで維持させます。次に、クラッチレバーを放してスロットルを開けながらブレーキをスムーズに放します。

SE6モデル

SE6モデルは停車時に、どのギアに入っているかに関係なく、転がり落ちてしまう可能性があります。SE6モデルは停車状態でクラッチが必ず解除されているので、トランスミッションだけでは車両の位置をそのまま固定することはできません。傾斜上で停車している状態では、ブレーキペダルを押し続けます。傾斜上で始動するには、スロットル開度を増加しながらブレーキペダルを踏み続けます。クラッチが作動したと感じたら（約1800 RPM）、ブレーキペダルを放します。

夜中の運転

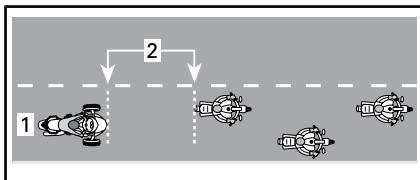
他のドライバーからの注目を引くためにライトやシグナルを使う他にも、夜中の視認性も考慮してください。適切な時にハイビームを使用します。スピードの出しすぎに注意しましょう（スピードを出しすぎて、停止距離までよく見えないう状態）。他の車両のヘッドライトを利用して前方を見渡すこともできます。

夜中には着色のバイザーまたはレンズを使用せず、バイザーに傷や汚れがなように特に気をつけます。

グループでの走行

グループでの走行は単縦列でのみ行ってください。モーターサイクルとも車線を絶対に共用しないこと。

モーターサイクルと走っている際は、前方のモーターサイクルが同じ車線の隅にいる場合でも、適切な車間距離をとります。カーブでは、モーターサイクルの通り道を辿らないでください。モーターサイクルはカーブで車線の端により近づくことができます - それをこの車両で辿ってしまうと、前輪が車線から出てしまいます。モーターサイクルはSpyder Roadsterより早くカーブを曲がるができます。モーターサイクルの速度に合わせないでください。



グループ走行のポジション

1. 車線の中央
2. 2秒後の距離

特にカーブが多い場合は、Spyder Roadsterの使用者はモーターサイクル運転者より早く疲れてしまう場合があります。モーターサイクルに追いつこうとして体力の限界を超えようとしないでください。疲れたら停車して休んでください。

道路状況および危険性

氷、雪および泥

凍結した道路、雪道、または泥の上では走らないでください。VSSを用いても、これらの滑りやすい表面ではコントロールを維持する駆動伝達がありません。Spyder Roadsterは乗用車より滑りやすい表面ではスピンアウトしてコントロールを失ってしまいます。

砂利、土および砂

砂利、土または砂で覆われた道路では、余分に注意し、特にカーブでは速度を落します。これらの表面は舗装道路のような駆動伝達がないため、VSSを用いてもコントロールを失ってしまいます。

湿潤路面および水溜り

通常は、舗装上に水溜りがない限り（水が流れているなど）、湿ったり濡れた舗装ではコントロールを維持できるだけの駆動伝達がありません。その他の車両と同じく、Spyder Roadsterは道路上の水溜りの上を早く運転しすぎてしまうとハイドロプレーンしてしまいます。ただ、他の乗用車やモーターサイクルと比べてより低い速度でハイドロプレーンが起きます。ハイドロプレーンはより深い水溜りの上で起こりやすいです。深さを確認するには、他の車両が通った時の水の動きに注意してください。

ハイドロプレーンが起きた場合は、一つ以上の車両が水上に浮き上がり、道路との接触を失います。これが後輪に起きた場合は、後輪が横にすれているように感じるかもしれません。ハイドロプレーンした車輪は車両をコントロールするために必要な駆動伝達を提供しません。コントロールを失ってスピニングアウトしてしまい、VSSでもコントロールを維持することはできません。

大きな水溜りや水流を避け、大雨の場合は速度を落すか路肩に停車してください。水溜りの上を走行する必要がある場合、水溜りに到達する前にできるだけ速度を避けま

す。水の上を通った後は、ブレーキの動作を確認します。必要であればブレーキを数回かけ、摩擦によりブレーキパッドを乾燥させます。

適切にメンテナンスされたタイヤはハイドロプレーンのリスクを抑えます。必ず以下の推奨されるタ

イヤの空気圧を維持してください。

冷間時のタイヤ空気圧	
前輪	103 kPa ± 14 kPa
後輪	193 kPa ± 14 kPa

注: 左右のタイヤの圧力の差は3.4 kPa以上超過させないでください。

ハイドロプレーンのリスクを最小限に抑えるために、最後のトレッドウェアインジケータが見える場合は、タイヤをすぐに交換してください。

雨が降り出した最初の数分間は油や汚れが水と結合するため、車線の中央は特に滑りやすくなります。雨水が多い場合は、磨耗した舗装に蓄積されることがあります。これらの駆動伝達が少ない箇所は避けます。できれば前輪を駆動伝達が一番良い箇所に留めておきます。

オフロードでの使用

Spyder Roadsterをオフロードで使用しないでください。車両はオフロードの駆動伝達が少ない、でこぼこの粗面には耐えられません。簡単に動けなくなったり、コントロールを失ったり、あるいは転倒してしまいます。さらに、特定の地域ではオフロードで使用することは違法である場合があります。

障害物、穴やでこぼこ面

できれば障害物、穴やでこぼこ面の上を走らないでください。もし避けられない場合は、そこに到達するまえにできるだけ減速し、ブレーキを放しながら進みます。より幅広い障害物やでこぼこ面に対しては、できればストレートにアプローチし、両方の前輪が同時に直面するようにします。両方の前輪で障害物、でこぼこ面や穴の上を走行する場合は、乗り手はペグの上にし、少し立ち上がり、足を使っ

て衝撃を和らげるような姿勢をとります。車輪が障害物にぶつかるかもしれないことを想定して準備しておきます。より幅が狭い障害物、でこぼこ面や穴に対しては、後輪で乗り上げる方がよいです。前輪で乗り上げる場合は、ハンドルをしっかりと握り、スロットルを誤って開けてしまわないようにし、必要であれば軌跡を調整する準備を整えておきます。

かなり大規模の障害物、でこぼこ面または穴に直面してしまった場合、衝撃によって車両が跳ね上がって乗り手に車両部分があたってしまった、乗り手が車両から放り出されたり、コントロールを失ったり、スピンや転倒してしまう場合があります。

車両を回避するために完全に停止できない場合は、急ターンして回避してください。必要であれば急ターンとブレーキを同時に行うこともできます。

鹿などの大型動物が道路上にいる場合は、その箇所には到達する前に停車し、動物がいなくなるまで待ちます。犬が追いかけてきた場合は、犬が近づくにつれて減速し、犬と直面する直前に加速して回避することが推奨されます。

道路上での緊急事態

走行中に車両の異常や予期しない出来事が起こります。よくメンテナンスされた車両は異常のリスクを軽減させますが、その緊急事態に備えておくことが推奨されます。

- オペレーターズガイドおよび工具キットを必ず車両の中に入れておきます。

- 道路の上で停車する場合は、次の注意事項に従ってください。
 - 道路に舗装された路肩がある場合は、高速から降りるシグナルをだし、交通速度に近い速度で車線からでて、完全に停車するまで減速します。
 - 路肩が舗装されていない場合は、右折のシグナルをだし、安全な速度まで減速してから舗装道路をでます。
 - 注目度を高めるためにハザード警告灯ライトをONにします。
- 携帯やその他の通信機器を持っている場合、長距離の旅にでる前に完全に充電させてください。
- 事故に関わってしまった場合、BRPは再度使用する前に車両をお近くのCan-Am Roadsterのディーラーに持って行き（車両の移送を参照）、安全性に関する点検をしてもらうことを強く推奨します。
- BRPの事故・インシデント・レポートに記入します。

タイヤの故障

タイヤが故障したり急にパンクした場合は、ハンドルをしっかりと握り、徐々に低速し、安全な場所に慎重に進み、停車します。急ブレーキをかけたり、シフトダウンや急なハンドルの扱いは避けてください。前輪が故障した場合、車両は故障したタイヤの方向に引っ張られる可能性が高いため、車両のコントロールを維持するにはハンドルをしっかりと握る必要があります。タイヤ修理の指示については、道路側での修理のセクションをご参照ください。

同乗者または積荷を乗せた運転

重量制限

乗り手および積荷の重量制限を超えないでください。

重量制限	
車両積載重量制限 (ドライバー、同乗者、カーゴおよび追加されたアクセサリも含みます)	199 kg
フロントストレージコンパートメント	7 kg

超過重量は：

- 加速、ブレーキおよびターンの効率を妨げます。
- VSSの効率を妨げます。
- 重すぎたり、重量が後部に集中している場合、反転のリスクが高まります。
- 地上高を減少させ、高さが低い障害物やでこぼこ面に直撃するリスクが高まります。
- タイヤの故障のリスクを高めます。

超過重量で運転する場合

同乗者や重い荷物を乗せることは、車両がより重くなってしまい、重量配分が不均一になってしまうため、車両の動きが左右されてしまいます。

1. より素早く加速できなくなってしまう。他の車両を追い越す場合はより時間と車間距離を必要とします。
2. より素早く停止できなくなってしまう。前方車両との間の車間距離を最低でも3秒間まで引き伸ばします。理想的な運転状況でない場合は（視界不良、コンディションの悪い路面など）、より長い車間距離をとります。
3. よりシャープなターンや、高速でのターンを行うことはできなくなります。ターンの前は通常

異常に低速し、急ターンを避け

4. Spyder Roadsterはより不安定になる場合があります。後部に片寄った重量配分（同乗者の乗せた場合など）で極端な操縦をした場合は、転倒や転がり落ちるリスクが高まります。

同乗者を乗せた運転

Spyder Roadsterはドライバーの後ろに同乗者が一人乗れるように設計されています。複数の同乗者を絶対に乗せないでください。

あらゆる場面で一人で走行し、車両を適切に操縦できるまで、同乗者を乗せないでください。

同乗者は酔いが完全に醒め、集中できる状態にあり、適切にフットレストや取っ手を使い、バランスを保ち、極端な操縦時にしっかりとつかまり、ドライバーの気をそらさないことが必要です。



警告

同乗者ハンドルが車両に取り付けられていない場合は、決して同乗者を乗せないでください。

同乗者も適切な保護具を着用している必要があります。同乗者は特にヘルメットなど、ドライバーに推奨されるすべての保護具を着用する必要があります。顔を完全に覆ったヘルメットが推奨されません。急停止時に、同乗者の顔がオペレーターヘルメットの後部に当たってしまう恐れがあるためです。

同乗者の姿勢が整われるまで、ブレーキをかけておき、トランスミッションをニュートラルに入れておきます。

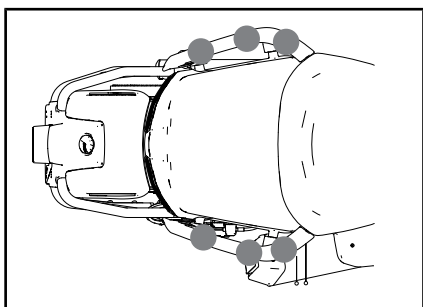
運転し始める前に同乗者に乗り方を教えます。同乗者に次のルールに従ってもらいます。

1. 適切な姿勢を保つこと。アクセサリの背もたれがある場合でも、必ず同乗者つかみ所につか

まり、同乗者フットレストに足を乗せてください。

同乗者がオペレーターにつかまってしまうと、過度の横力にドライバーが耐えられない可能性があるため、避けてください。

特定の操作に対して取っ手の握り方を変えてみるとより効果的な場合があります。(ターンでは片手を取っ手の正面に、もう一方の片手を反対側の取っ手の裏面を握ったり、その他の状況においては両手をさらに前方または後方に位置付けるなど)



取っ手の様々な握り方

【注記】 つかみ所は、絶対に車両を縛ったり吊り上げたり輸送したりするのに使用しないでください。

2. エキゾースト・パイプ、後輪およびドライブ・ベルトに近づかないでください。
3. ターンの時にバランスを保つ時以外は、後ろに振り向いたり傾いたりしないでください。予期しない操作の時は、通常の姿勢をとっていない同乗者は転がり落ちてしまう確率がより高くなります。
4. 先方をしっかり把握し、今後の道路状況に対応します。遠心力に抵抗するために必要に応じてカーブの方向に体を傾けます。障害物、穴またはでこぼこ面の道を走る場合は、肘をロックしないまま席から多少立ち上がります。

特に経験のない同乗者を乗せている場合、急な加速、ブレーキおよ

びターンは避けてください。予期しない急な操作は同乗者が転がり落ちてしまう要因となります。

荷物を乗せる場所

フロントストレージコンパートメントに荷物を載せることができます。車両にBRPの承認されたアクセサリーが搭載されている場合を除いて、他の箇所に荷物を乗せないでください。

警告

PRS（後部座席スイッチ）を押してしまうので、決して同乗者シートに荷物を縛りつけしないでください。これにより事実上VSS校正から2-up校正に変更されますので、運転者1人だけで同乗者シートには積荷があるだけの場合に、VSS介入は予想より影響のある強いものになってしまう恐れがあります。

フロントストレージコンパートメント

フロントストレージ・コンパートメントはヘルメット2個などの軽い物を保管する場所です。フロントストレージに入るものでも、7 kgのものは入れないでください。フロントストレージコンパートメントに燃料などの可燃性のものを絶対に積まないでください。

運転する前にフロントストレージコンパートメントのラッチが固定されていることを確認してください。

牽引不可

この車両で牽引はしないでください。VSSは効果がなく、コントロールを失う恐れがあります。

知識セルフテスト

以下の質問は、本ガイドで習った情報の復習です。これにはすべての情報は含まれませんが、車両および操作に関する一般的な理解を得ているか知ることができます。

質問ページの次のページの答えをご参照ください。

質問

1. 急停止する場合は、ブレーキペダルとパーキングブレーキの両方を押します。
 ○ x
2. 走行前の点検は一週間に一回は行うべきだ。
 ○ x
3. VSSはどの天候でも車両を使用できるようにする。
 ○ x
4. タイヤを交換する場合は、Roadsterの認定ディーラーにより入手された、BRP認定のタイヤのみ使用するべきだ。
 ○ x
5. 同乗者が集中でき、完全に酔いが醒めている状態であることが重要だ。
 ○ x
6. 傷害の危険を低減させる保護具を六つ挙げてください。
1) _____
2) _____
3) _____
4) _____
5) _____
6) _____
7. 保護具は、傷害を防ぎ軽減させ、快適さを保ち、気象要素からみを守るために欠かせません。
 ○ x
8. 以下のなかで車両をコントロールしないものを挙げてください。
a. ハンドル
b. ねじれスロットル
c. フロント・ブレーキ・レバー
9. 視認性を高めるために昼間でもロービームのライトをONにし続けるべきだ。
 ○ x
10. 通常は、車両を車線の中央に位置付けるべきだ。
 ○ x

11. 通常のモーターサイクルとは異なり、ブレーキをかけながらターンすることを習慣にするべきだ。
○ x
12. 通常の状況では、車間距離は最低_____であるべきだ。
a. 1秒 ○ x
b. 2秒
c. 3秒
13. 承認された容器に入っているも、ガソリンなどの引火性液体をフロントストレージコンパートメントに保管してはいけません。
○ x
14. 他のドライバーから注目を得る5つの方法を挙げてください。
1) _____
2) _____
3) _____
4) _____
5) _____
15. 駆動伝達が良好ではない道路面でブレーキをかける場合は、車両のコントロールを維持するためにポンピング・ブレーキを行うべきだ。
○ x
16. 乗り手、荷物およびアクセサリーを含めた車両の最大荷重は199 kgだ。
○ x
17. 最大牽引重量が200kgを超えない限り、車両は安全にトレーラーを牽引することができる。
○ x
18. 同乗者はドライバーにしがみつくなければならない。
○ x
19. Spyder Roadsterの運転は乗用車の運転と同じくらい安全だ。
○ x
20. ABSはブレーキをロックさせないでブレーキペダルを強く踏めるようにさせる。
○ x

解答

1. x
急停止するには、ブレーキペダルのみ踏みます。車両が動いている間は決してパーキングブレーキを使用しないでください。
2. x
乗る前に必ず走行前の点検を行うべきです。
3. x
ハイドロプレーンを起こすほど氷、雪、泥または水が道路を覆ってる場合は、VSSを用いてもコントロールを維持することはできません。
4. ○
5. ○
6. 1) ヘルメット
2) 目および顔の保護
3) 長袖のジャケット
4) グローブ
5) 長いパンツ
6) できれば丈が長い、つま先を覆ってるフットウェア
7. ○
8. c. フロント・ブレーキ・レバー
車両にはフロント・ブレーキ・レバーはありません。
9. x
昼間中はハイビームを使用すべきです。
10. ○
11. x
必要であればブレーキとターンを同時に行うこともできますが、通常はターンの前にブレーキをかけることが推奨されます。
12. b. 2秒
通常の状況では、車間距離は2秒以上とるべきです。
13. ○

- 14. 1) ライトおよびリフレクターが掃除されてあることを確認します。
- 2) 可能な限りハイビームを使います。
- 3) ウインカーを使います。
- 4) 減速する前にブレーキライトを点滅させます。
- 5) 必要に応じてハザードランプを使います。
- 6) クラクションを鳴らして他のドライバーに自らの存在を知らせます。
- 7) 死角の中で運転するのは避けます。
- 8) 明るい色および蛍光衣類を着用します。

19. x

乗用車およびトラックでは、車の構造が身を守りません。さらに、同乗者はシートベルトを着用することでさらに身を守ることができます。Spyder Roadsterは乗用車の運転よりさらにリスクが高く、損傷のリスクはモーターサイクルのリスクと類似していることをご了承ください。

20. ○

15. x

ポンピング・ブレーキではなく、ブレーキ・ペダルを踏み続けるべきです。車両には、車輪のロックを防ぐABSが搭載されています。

16. ○

17. x

決してこの車両でトレーラーを牽引しないでください。

18. x

同乗者は必ず取っ手にかまらなければなりません。

車両の安全情報

この車両には、重要な安全情報が記載されている下げ札およびラベルが付いています。

この車両に乗る人は必ずこの情報をよく読み理解した上で乗ってください。

下げ札



**Spyder Roadsterは特殊なタイプの車両です。
特別なスキルと知識が必要になります。**

Spyder Roadsterがどのように異なるのかを学んでください。
オペレーターズガイド(ストレージコンパートメント内
または座席の下にあります)を読み、
安全に関するDVDをご覧ください。

トレーニングコース(利用可能な場合)を修了し、練習
を行い、制御方法に熟練して、適切な免許を取得してく
ださい。

乗車する前に安全カードを参照してください。

常にヘルメットとライディングギアを着用してください。
このタイプの車両では、ライダーは自動車の運転者より
高い道路上のリスクに曝されます。熟練したライダーで
も、他の車両に衝突されたりコントロールを失う場合が
あります。この車両は、衝突事故において
運転者を保護しません。

運転の限界と道路条件

車両の限界を超えた運転が行われた場合、車両安定シス
テム (VSS) は制御不能、転倒、あるいは転落を防止する
ことはできません。様々な道路条件での限界について制
限を確認してください。

氷上、雪上、オフロードで運転しないで下さい。水たま
りと流水を避けてください。このタイプの車両は、水面
上ではハイドロプレーン現象を起こし、砂利、汚れおよ
び砂などに覆われた路面上ではスリップする可能性があ
ります。このような路面を走行しなければならない場合
、速度を落としてください。

このハングタグは、車両の所有者によってのみ取り外す
ことができます。

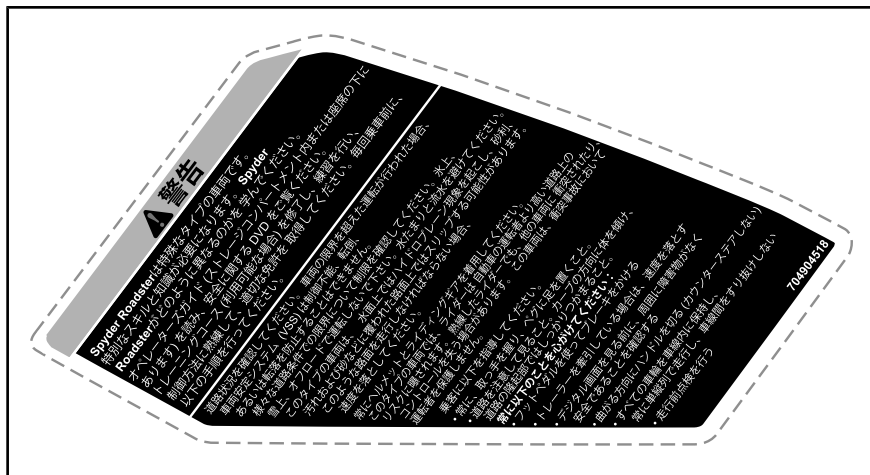
704305082A

安全カード

安全カードは左側の横サービスカバーの下にあります。運転する前に、左側の横サービスカバーを取り外し、サービスカバーが元の位置に固定されていることを確かめてください。

重要情報を確認するために、そして新しいドライバーや同乗者に車両の乗り方を教える時に安全カードをご参照ください。これには頻繁に参照される情報も記載されています。

注: このオペレーターズガイドに使用されている以下の図は参考までです。使用されているモデルは異なる場合があります。



安全カード



代表的な例 - 安全カードは左側の横サービスカバーの下


安全ラベル

これらのラベルは、オペレーター、同乗者（2つまで）または周囲の人々の安全性のために船体に貼付されています。

以下のラベルは車両に付いており、車両の一部として扱ってください。ラベルが剥がれたり読めなくなったりした場合は、新しいラベルに交換してください。Can-Am Roadsterの認定ディーラーまでお問い合わせください。

注: このガイドおよび車体にいかなる不一致がある場合、車体の安全性ラベルはこのガイドのラベルより優先されます。

ラベル 1




タイヤと積載量の情報 /
RENSEIGNEMENTS SUR LES PNEUS ET LE CHARGEMENT

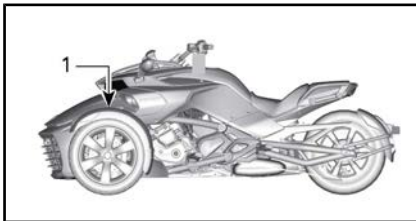
この車両はチューブレスタイヤを装備しています!
CE VÉHICULE EST ÉQUIPÉ DE PNEUS SANS CHAMBRE À AIR

乗車定員 / NOMBRE DE PLACES	合計 2	1	フロント AVANT	1	リア ARRIÈRE	1
乗員と貨物を合わせた重量制限: LE POIDS TOTAL DES OCCUPANTS ET DU CHARGEMENT NE DOIT JAMAIS DÉPASSER					199 Kg / 438 lb	199 Kg OU 438 lb

乗車ガイド / RIDE GUIDE DU CONDUCTEUR	タイヤ/PNEU フロント/ AVANT リア/ARRIÈRE スペア / PNEU DE SECOURS	サイズ DIMENSION MC165/55R15 55H MC225/50R15 76H なし/AUCUN	冷間時のタイヤ空気圧 PRESSION DES PNEUS À FROID 103 ± 14 kPa / 15 ± 2 psi (1.03 ± 0.14 bar) 193 ± 14 kPa / 28 ± 2 psi (1.93 ± 0.14 bar) なし/AUCUN	タイヤメーカー MARQUE DE PNEU KENDA KR31 KENDA KR21 なし/AUCUN	リムサイズ DIMENSION DE LA JANTE 381 x 127mm (15 x 5 1/8") 381 x 178mm (15 x 7 1/8") なし/AUCUN
--	--	--	--	---	---

704905092A





1. ラベルは、ストレージカバーの下の左側サイドフロントパネルにあります

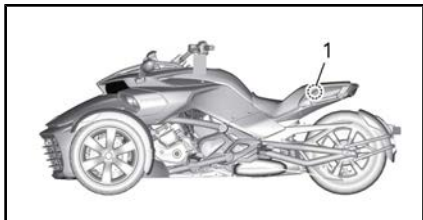
ラベル 2

警告

重傷事故や死亡事故の危険性を低減するため

- 車両に水平ハンドグリップが固定されていない場合は、乗客を車両に乗せないでください。
 - 乗客は、走行中は必ず取っ手につかまってください。

704904562



1. ラベルは同乗者席の下にあります

ラベル 3

警告

積載重量制限を超えないでください

7 kg (15 lb)

積載重量制限

704904787



1. ラベルはバスケットの中にあります

ラベル 4

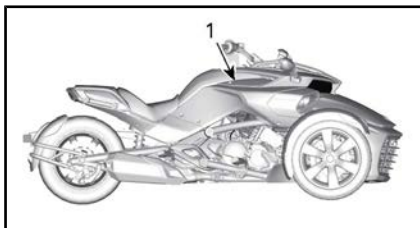
注意

エンジンオイルやエンジンコンパートメントの特定のコンポーネントはとても熱く、直接皮膚に触れると火傷の原因になります。

エンジンオイルレベルの点検:

- エンジンが動作温度であることを確認します。
- ロードスターは平面上になければなりません。
- エンジンをかけ、少なくとも30秒間アイドル状態にします。
- エンジンを停止させ、オイルゲージを拭きます。
- オイルレベルを確認する前に、オイルゲージを完全にねじ込みます。
- XPSシンセティックブレンドオイルのサマーグレードまたは同等のオートバイ用オイルを使用してください。

704904073

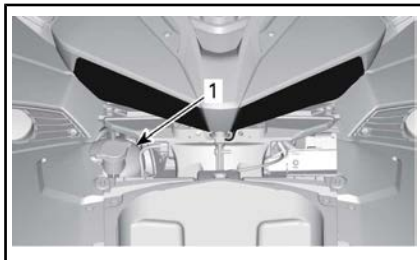


1. ラベルは左側横サービスカバーにあります

ラベル 5



クーラント・リザーバ・キャップ



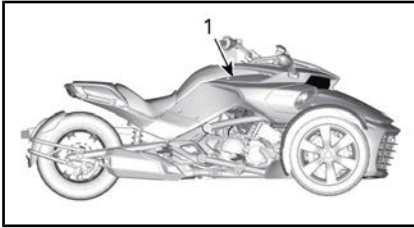
1. ラベル5はフロントサービスカバーの下にあります

ラベル 6

⚠ 警告

取り外す前に燃料タンクキャップを清掃してください。
密閉容器に入っているDOT4のブレーキ液のみ使用してください。

704903119



1. ラベル6は右側横サービスカバーにあります

ラベル 7

⚠ 警告

部品が落下すると路上の危険物になる可能性があります。路上の危険物になるリスクを避けるため、このコンパートメントをカバーする部品に必ず網コードを取り付けてください。



1. ラベル7は同情者席の下の網コードに付けられています。

ラベル 8

通知

- マット仕上げ塗料は、その外観を維持するために特別な注意が必要です。オペレーターズガイドをご参照下さい。
- PVDクロームホイールは水と中性洗剤で洗ってください。磨いたり、酸性または研磨剤を含むクロームクリーナーを使用しないでください。
- フロントガラスの損傷を防ぐためアルカリまたは酸洗剤、ガソリンまたは溶剤でフロントガラスを清掃しないでください。オペレーターズガイドをご参照下さい。

704904936A

ストレージカバーの下にあります

**このページは
意図的に空白になっています**

走行前の点検

走行前のチェックリスト

警告

毎回乗車前に、操作中に発生する可能性がある問題を検出するために乗車前の点検を実施します。乗車前の点検により、問題になる前に磨耗や劣化を監視できます。発見した問題に対処して、故障または事故のリスクを低減します。必要に応じてCan-Am Roadsterの認定ディーラーまでお問い合わせください。

以下のものを点検してください。

- **タイヤ:** 損傷、誤った空気圧および過度のトレッド磨耗がないか点検。メンテナンスの**手順**のサブセクションを参照してください。
- **車輪とラグナット:** 損傷がないか点検。手動で各前輪のラグナットをひねって緩くないか確認します。後輪車軸ナットが適切な場所にあるか確認します。
- **駆動ベルト:** ほつれ、切り傷、刺し傷および歯が失われていない確認。アラインメントを確認。更なる詳細については、メンテナンスの**手順**のサブセクションを参照してください。
- **漏れ:** 車両の下に漏れがないか確認。
- **フロントストレージコンパートメントのカバー:** 引っ張って、掛け金がしっかりかかっているか確認します。
- 席の掛け金が正しくかかっていることを確認します。
- **ミラー:** 掃除および調整します(機器のサブセクションのミラーを参照してください)。
- **ブレーキペダル:** 押ししてしっかり抵抗力があるか確認します。リリースするとペダルが完全に戻らなければなりません。
- **スロットルのハンドル:** 数回ひねります。自由に動き、リリース後にアイドルリング・ポジションに戻ることを確認。

- **クラッチレバー(SM6モデル):** 都合に合わせて調整します(基本コントロールのサブセクションを参照してください)。普通に操作できるかどうか握って試し、リリース後に完全に元通りになるか確認します。
- **ギアシフト・セレクター(SE6モデル):** ギアシフトセレクターが両方向に対して正常に操作でき、リリース後に中央に戻るか確認します。
- **重量:** 車両総重量(ドライバー同乗者、荷物および付随されたアクセサリーも含めて)が199kgを超えないように確認します。

イグニッション・キーをONのポジションに入れます:

- **多機能ゲージクラスター:** ゲージ、インジケーター、メッセージおよび燃料レベルを確認します。
- **ライト:** ヘッドライト、テールライト、ブレーキライト、ウインカー、バックアップライト、およびハザード警告ライトの操作を確認します。
- **クラクション:** 作動を点検
- **ステアリング:** エンジンをスタートし、ステアリングが自由に動くか確認します。
- **エンジン・ストップ・スイッチ:** エンジン・ストップ・スイッチが正常であるか確認します。
- **パーキングブレーキ:** エンジンをスタートし、パーキングブレーキをリリースし、多機能ゲージクラスターでパーキングブレーキインジケーターがオフになっていることを確認。
- **ブレーキ:** ゆっくり近距離を運転し、ブレーキをかけてテストします。

必ず横サービスカバーを元の位置にロックします。

メンテナンス

メンテナンスのスケジュール

車両を安全な作動状態に保つために、メンテナンスが非常に重要です。適切なメンテナンスを行うことは、オーナーの責任です。定期的な点検を実施し、メンテナンスのスケジュールを守ってください。スケジュール通りにメンテナンスを行っていても、始業点検は必要です。



メンテナンスのスケジュールや手順に従って適切に車両を維持しないと、安全な作動を損ねます。

初期点検 - 5,000 km

故障コードを確認します。

エンジンオイルおよびオイルフィルターを交換します。

クラッチ液レベルを点検します**(SM6モデルのみ)**。

ブレーキ液のレベルを点検。

リバース機構の作動を確認します。

エンジンクォラントレベルを点検します。

スロットルのツイストグリップ操作を点検します。

照明装置(ブレーキライト、ハザード警告灯、方向指示灯、ポジションライト、ライセンスプレートライト)を点検します。

コントロールスイッチの機能を点検します。

駆動ベルトの状態および張力を点検します。必要であれば、調整します。

前輪のラグナットの締め付けトルクを点検します。

後輪車軸ナットの締め付けトルクを点検します。

パーキングブレーキの機能を点検します。必要に応じて調整します。

タイヤ磨耗を点検します。必要であれば前輪の位置を合わせます。

タイヤの空気圧を点検します。必要に応じて調整します。

ブレーキパッドおよびディスクの状態を目視により点検します。

同乗者の取っ手の緩みを確認します。

フットレストの緩みを確認します。

車体パネルの緩みを点検します。

ストレージコンパートメントのラッチ、ヒンジおよびキーバレルの機能を点検します。

フロントグリルを取り外し、ラジエーターのエアダクトから異物を除去します。

毎1,500 km
オイルのレベルを点検します。
毎15,000 km、または1年ごと（どちらか先に訪れた時期）に
故障コードを確認します。
エンジンオイルおよびオイルフィルターを交換します。
クラッチ液レベルを点検します (SM6モデルのみ) 。
ブレーキ液のレベルを点検。2年毎に交換します。
ブレーキ・ホースを確認します。
リバース機構の作動を確認します。
ラジエーター、ホースおよびウォーターポンプを点検します。
エンジンクーラントレベルを点検します。
冷却システムの圧力テストを行います。
スロットルのツイストグリップ操作を点検します。
照明装置(ブレーキライト、ハザード警告灯、方向指示灯、ポジションライト、ライセンスプレートライト)を点検
コントロールのスイッチおよび同乗者用のスイッチの動作を確認します。
燃料ホース、燃料気化線およびキャニスターの状態を確認します。
バッテリー接続の締め具合を点検します。
駆動ベルトの状態および張力を点検します。必要であれば、調整します。
エキゾースト・パイプ、締め付けリング、つなぎ目およびガasketの状態を確認し、締め付けます。
異常がないか、ステアリングを点検します。
タイロッドの状態を点検。
漏れやその他の損傷がないか緩衝器を点検します。
前輪のラグナットの締め付けトルクを点検します。
後輪車軸ナットの締め付けトルクを点検します。
ボールジョイント状態を点検します。
前輪および後輪のベアリング状態を点検します。
パーキングブレーキの機能を点検します。必要に応じて調整します。
タイヤ磨耗を点検します。必要であれば前輪の位置を合わせます。

毎15,000 km、または1年ごと（どちらか先に訪れた時期）に
タイヤの空気圧を点検します。必要に応じて調整します。
ブレーキパッドおよびディスクの状態を点検します。
同乗者の取っ手の緩みを確認します。
フットレストの緩みを確認します。
車体パネルの緩みを点検します。
ストレージコンパートメントのラッチ、ヒンジおよびキーバレルの機能を点検します。
フロントグリルを取り外し、ラジエーターのエアダクトから異物を除去します。

毎30,000 km
エアフィルターおよびエアフィルターハウジングを取り換えます。
クラッチ液を交換します (SM6モデルのみ) 。

毎45,000 km
燃料フィルターを交換します(または5年ごとに)。
油圧制御モジュール(HCM) のオイルフィルターを取替えます (SE6モデルのみ) 。
キャニスターの前置フィルターを交換します。
エンジン・クーラントを交換します(または5年ごとに)。
スパークプラグを交換します。
フロント・サスペンション・アームのラバーブッシュを確認します。

初期点検

最初の5 000 kmの運転の後、Can-Am Roadster の認定ディーラーによる車両点検を推奨します。最初のメンテナンスは非常に重要であり、怠ってはなりません。

注: この初期点検は車両のオーナーの費用負担で行われるものです。

この点検の際は、Can-Amの認定ディーラーによる署名を受けることを推奨いたします。

点検日

認定ディーラーの署名

ディーラー名

メンテナンスの手順

このセクションでは、基本的なメンテナンスの手順を説明します。必要な機械に関するスキルや工具を持っている場合は、ご自身でこれらの手順を実行することも可能です。そうでない場合は、Can-Am Roadsterの認定ディーラーにご相談ください。

メンテナンスのスケジュールにおけるその他の重要な項目はより難しく、特殊な工具を必要とするので、Can-Am Roadsterの認定ディーラーによって実施するのが最適です。

警告

メンテナンスを行う場合は、まずエンジンを止めて、以下のメンテナンス手順に従ってください。適切なメンテナンス手順を守らないと、高温の部品、稼働部分、電気的、化学的あるいはその他の危険により負傷する恐れがあります。

車輪およびタイヤ

警告

推奨されていない種類のタイヤ、損傷したり磨り減っているタイヤ、最低トレッドウエアインジケーターより幅が低いタイヤ、または適切に膨らまされていないタイヤの使用は、コントロールを失う恐れがあります。

新しいタイヤは慣らし運転が完了するまで最大効率に達しません。ブレーキ、ステアリングおよびVSSの効率が低減される場合があるため、注意を余分に払ってください。タイヤを慣らすには、頻繁にブレーキを使用して約300 kmの走行が必要です。ブレーキをそれほど使わない場合、タイヤの慣らし時間を多めに見積もってください。

タイヤはSpyder Roadsterのために特別に設計されています。Can-Am Roadsterの認定ディーラーからし

か入手可能なBRP推奨タイヤのみ使用してください。

リアタイヤを取り外したり交換した後後は、次の行動を取ります。

- リア・スプロケット・ベアリングおよびシールを確認し、掃除します。損傷または破損している場合は、交換します。
- 後輪車軸受を確認し、掃除します。損傷または破損している場合は、交換します。
- 後輪車軸のベアリング・シールを交換して潤滑します。
- 後輪車軸のOリングを交換して潤滑します。
- 後輪車軸の耐摩耗性スリーブを確認し、掃除します。損傷または破損している場合は、交換します。

後輪を取り外したり交換した後は、次の行動を取ります。

- 後輪車軸ナットを取り替えます。
- 後輪車軸のベアリング・シールを交換して潤滑します。
- 後輪車軸のOリングを交換して潤滑します。
- ゴムダンパの状態を確認します。損傷または破損している場合は、交換します。

タイヤ空気圧

車両を使う前にタイヤが冷たい状態で空気圧を確認します。タイヤの空気圧は空気の温度によって変化します。温度が変わった後に空気圧を再確認します（大幅な気象変化、山の中の走行など）。

冷間時のタイヤ空気圧	
前輪	103 kPa ± 14 kPa
後輪	193 kPa ± 14 kPa

注: 左右のタイヤの圧力の差は3.4 kPa以上超過させないでください。

便宜のため、工具キットに電子圧力計が保管されています。

タイヤの損傷

次の損傷がないかすべてのタイヤを点検します。

- タイヤの切り傷、切り込みおよび亀裂。
- タイヤの側面またはトレッドのこぼこまたは膨らみ。
- タイヤの側面またはトレッドに釘やその他の異物が刺さっている。
- 合わないリム、または不良タイヤバルブによる空気漏れ（シーツという音）。

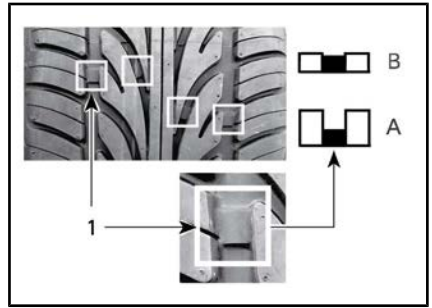
上記のいずれかが発生した場合は、Can-Am Roadsterの認定ディーラーによってできるだけ早くタイヤを修理または交換してもらってください。

タイヤのトレッドの磨耗

トレッド磨耗インジケーター（以下の図の1に示されている通り、トレッドのベースに成形されている硬いゴム・バー）を使ってタイヤ溝の最小深さを確認します。タイヤトレッドの次の3つの位置で点検します。

- 外縁
- 中央
- 内側エッジ。

トレッド磨耗インジケーターは最小タイヤ溝深さに達したトレッドに現れます。トレッドにトレッド磨耗インジケーターが最低でも1つ現れる場合、タイヤをできる限り早くCan-Am Roadsterの認定ディーラーに交換してもらってください。



タイヤのトレッドの磨耗

1. トレッド磨耗制限インジケーター
- A. 適切な溝深さ
- B. 最小タイヤ溝深さ。タイヤを交換します。

車両の運転の仕方および道路状況によって、タイヤは一様でない摩耗をしていることは一般的にあります。車両がスムーズまたは積極的に運転されたかによって、前輪の外縁および内縁、そして後輪の中央スレッドは不規則に磨耗します。

警告

タイヤは一方のみ回るために設計されています。左右の前輪を入れ替えないこと。タイヤが間違った側に取り付けられると、静止摩擦が減り、コントロールを失う危険があります。

警告

車輪およびブレーキキャリパーの間に指が挟まれる恐れがあるため、車輪のスピン中は前輪スポークを手で持たないでください。

タイヤのローテーション

トレッド溝の深さが4mmに達した場合、前輪をローテートします。これはタイヤの寿命を最大限に引き伸ばします。

警告

タイヤは一方のみ回るために設計されています。左右の前輪を入れ替えないこと。タイヤをローテートするにはタイヤを車輪から取り外す必要があります。タイヤが間違っただけに取り付けられると、静止摩擦が減り、コントロールを失う危険があります。

注意 車輪およびブレーキキャリパーの間に指が挟まれる恐れがあるため、車輪のスピニング中は前輪スポークを手で持たないでください。

タイヤ登録用紙

タイヤがリコールされた場合は、氏名と住所を登録されたお客様にしかご連絡をさしあげることができません。車両メーカーとして、BRPは車両識別番号 (VIN) (車両の識別を参照) に関連するタイヤ識別番号 (TIN)、および現在の所有者の情報の記録を保管しています。

車両のタイヤを交換する場合は、「タイヤ登録用紙」にご記入いただき、タイヤメーカーのお客様サービスグループに提出する必要があります。「タイヤ登録用紙」はCan-Am Roadsterの認定ディーラーでお求めいただけます。

駆動ベルト

毎回乗る前にベルトのラインメントおよび状態を目視点検してください。

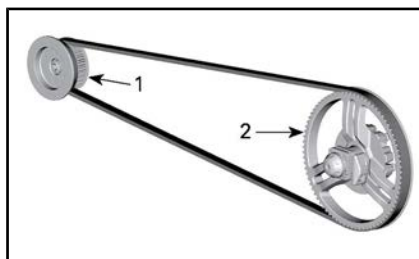
ベルトのラインメントおよび偏向調整は、必ずメンテナンス・スケジュールに従ってCan-Am Roadsterの認定ディーラーに実施してもらってください。

駆動ベルトのラインメント

ベルトおよびスプロケットの内部フランジ間の隙間は「X」+「Y」= 3.25 mm ± 2.75 mm する必要があります。ベルトがスプロケッ

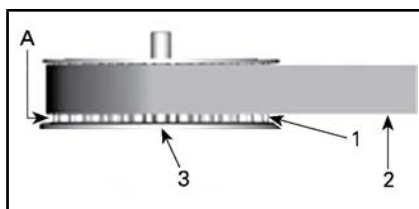
トの外側をはみ出している場合は、できるだけ早くCan-Am Roadsterの認定ディーラーにベルトを適切に整列してもらってください。

注: ベルトは片方のスプロケットの片方のフランジのみしか接触させてはなりません。



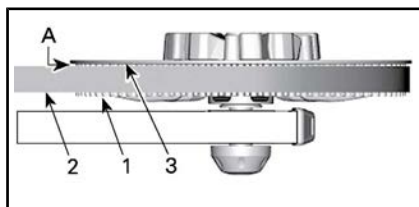
代表的な例

1. フロントスプロケット
2. リアスプロケット



フロントスプロケット

1. フロント・スプロケットの歯
2. ベルト
3. スプロケットの内部フランジ
- A. 隙間「X」

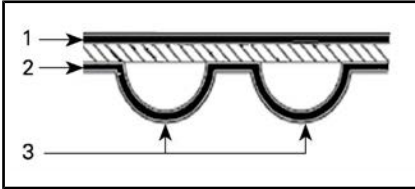


リア・スプロケット

1. リア・スプロケットの歯
2. ベルト
3. スプロケットの内部フランジ
- A. 隙間「Y」

駆動ベルトの磨耗

車両をニュートラルにいい、エンジンOFFの状態、スペースが十分にあり平らな表面で駆動ベルトを点検します—ベルトの全長を確認するには車両を前後に転がす必要があります。



駆動ベルトの表面

1. 外面
2. 歯側表面
3. 歯

次の状態がないか点検します。

磨耗状態	必要な対策
良い状態	なし
細長い割れ目	状態を監視する
軽い切れ端	状態を監視する
開かれた割れ目	ベルトを交換する
フックの磨耗	ベルトを交換する

磨耗状態	必要な対策
歯が欠けている	ベルトを交換する
ベルトの織物が擦り切れていて、内部のコンポーネントを露出している	ベルトを交換する
石からの損傷	ベルトを交換する

注:細長い割れ目はベルトの交換を必要としないが、密接に監視する必要があります—開いた割れ目または歯の欠損を招きかねないため、ベルトの交換を必要とします。ベルト中央の損傷はやがてベルトの交換を必要としますが、割れ目がベルトの端まで行き渡ってしまった場合、ベルト不良は差し迫ります。

駆動ベルトを交換する場合、スプロケットも交換し、新しい駆動ベルトの寿命を延ばします。

駆動ベルトの張力

走行中、ベルトから振動を感じたり、またはベルトのスプロケット歯が飛んでいる場合は、Can-Am Roadsterの認定ディーラーによりできるだけ早くベルトの張力を調整してもらってください。

エンジンオイル

推奨エンジンオイル

同等のオイルがSE6モデルのエンジン、ギアボックス、クラッチおよび油圧制御モジュール（HCM）に使用されています。

XPS4ストローク合成ブレンドオイル（SUMMER）（P/N 293 600 121）、SL、SJ、SM、SNまたはそれ以上のAPIサービス要件を満たす、5W-40 半合成（最低限のレベル）、またはオートバイ用の合成オイルを使用してください。必ずオイル容器のAPIサービスラベルを確認します。

注記: 推奨オイルにはオイル添加物を混入しないでください。さもないと、ギアボックスおよびクラッチに以上が発生する恐れがあります。

エンジンオイルレベルの確認

エンジンオイルのレベルを検証するには、エンジンは通常の運転温度でなければなりません。

1. 少なくとも15 km運転します。
2. 車両を平面上に停車します。
3. エンジンを10分ほどアイドルさせます。

警告

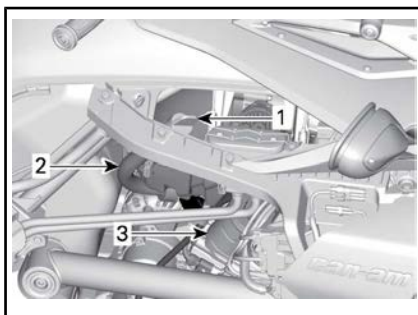
排気ガスには、密閉された場所または換気の悪いエリアで迅速に充填する有毒な一酸化炭素が含まれています。排気ガスを吸い込むと、重大な怪我や死亡事故の原因になることがあります。密封されていない、換気の良い場所でのみエンジンを始動してください。

注記: 冷たいエンジンでオイルのレベルを調整すると過剰に補給してしまいます。

4. エンジンを止めます。

注: エンジンオイルのレベルの検証は、エンジンを停止してから2分以内に行ってください。

5. 右側の横サービスカバーを取り外します。ボディパネルを参照してください。
6. オイルレベルゲージを取り外して引き抜きます。



代表的な例

1. オイルレベルゲージ
2. オイル・フィラー・チューブ
3. オイルタンク
7. レベルゲージを拭き取ります。
8. オイルレベルゲージを再度挿入し、**完全にねじ込みます**。
9. オイルレベルゲージを再度緩めて取り外します。
10. オイルレベルゲージのオイルレベルを確認します。



1. 上部マーク (MAX)
2. 下部マーク (MIN)
3. 動作範囲

下部マーク (MIN) と上部マーク (MAX) の間のオイルレベル:

1. オイルを追加しない。
2. オイルレベルゲージを適切に挿入して締め付けます。
3. 右側の横サービスカバーを取り付けます。

MIN マークより下のオイルレベルの調整：

1. 推奨されるオイルを約500ml追加します。

注: MIN マークと MAX マークの間のオイルの量は、500 mlです。

2. エンジンを再始動し、10分ほどアイドルさせます。

警告

排気ガスには、密閉された場所または換気の悪いエリアで迅速に充填する有毒な一酸化炭素が含まれています。排気ガスを吸い込むと、重大な怪我や死亡事故の原因になることがあります。密封されていない、換気の良い場所でのみエンジンを始動してください。

注記: 冷たいエンジンでオイルのレベルを調整すると過剰に補給してしまいます。

3. エンジンを停止させてください。

注: エンジンオイルのレベルの検証は、エンジンを停止してから2分以内に行ってください。

4. オイルのレベルを再点検します。
5. オイルレベルがレベルゲージの上部マークと下部マークの間になるまで上記の手順を繰り返します。**入れすぎではありません。**
6. オイルレベルゲージを適切に挿入して締め付けます。
7. 右側の横サービスカバーを取り付けます。

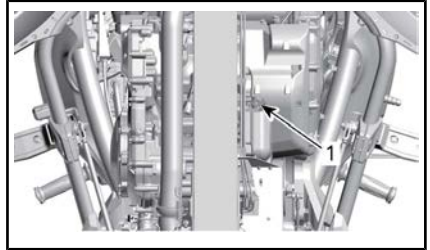
エンジンオイル交換

1. エンジン交換の前に、車両が平面上にあることを確認します。

注記: エンジンオイルおよびエンジンオイルフィルターは同時に取り換えなければなりません。オイル交換はエンジンが温まっている状態で行う必要があります。

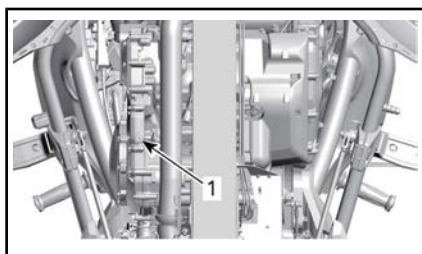
注意 エンジンオイルはとても熱くなります。

2. 次の右側ボディパネルを取り外し、ボディサブセクションをご参照ください。
 - 横サービスカバー
 - サイドパネル
3. オイルサンプカバー下のドレンプラグの周辺を清掃します。
4. オイルサンプカバー下に適切なドレインパンを配置します。
5. ドレンプラグを取り外し、シーリングワッシャとOリングを処分します。



代表的な例

1. ドレンプラグ
6. レベルゲージを取り外してください。
7. オイルが完全に排出されるまで待ちます。
8. クラッチカバーの磁気ドレンプラグの周辺を清掃します。
9. クラッチカバー下に適切なドレインパンを配置します。
10. 磁気オイルドレンプラグを取り外し、シーリングリングを処分します。



代表的な例

1. 磁気ドレンプラグ

エンジンオイルフィルターを交換。詳細はこのセクションのエンジンオイルフィルターの取り外しを参照してください。

11. クラッチカバーからオイルが完全にドレインされるまで待ちます。
12. オイルフィルターキャビティに汚れや汚染物がないか点検し、清掃します。
13. 磁気ドレンプラグのマグネットを清掃します。
14. **新しい**シーリングワッシャおよびOリングを使い、両方のドレンプラグを取り付けます。

注記: ドレインプラグのシーリングワッシャおよびOリングは絶対に再使用しないでください。必ず新しいものと交換します。

15. 仕様通りにドレンプラグを締め付ける。

ドレンプラグ (オイルサンプカバー)	
シーリングリング	新規
Oリング	新規
締め付けトルク	28 N・m ± 2 N・m

磁気ドレンプラグ (クラッチカバー)	
シーリングリング	新規
締め付けトルク	20 N・m ± 1 N・m

エンジンオイルフィルターを再取り付け。エンジンオイルフィルターの取り付けを参照してください。

16. 以下の量の推奨されるオイルをオイルタンクに入れます。

オイル量		
モデル		量
SE6	エンジンオイルとエンジンオイルフィルターの交換	5.6 L
SM6	エンジンオイルとエンジンオイルフィルターの交換	4.9 L

17. このサブセクションのエンジンオイルレベルの検証を参照し、エンジンオイルレベルを調べます。

注記: エンジンスタートから5秒以内にオイル圧力の警告灯が消えることを確認。オイル圧力警告灯が5秒以上ONの場合、エンジンを止め、オイルを500 ml追加して、その後、エンジンを再始動し、10分アイドルさせた後でオイルレベルを再確認します。

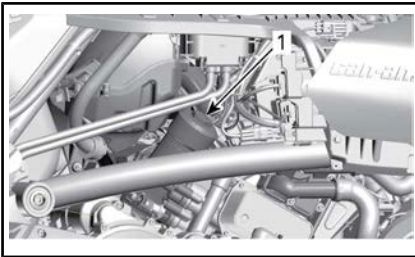
18. エンジンオイルフィルターカバー、磁気ドレンプラグ (クラッチカバー) およびドレンプラグ (オイルサンプカバー) が漏れていないか確認します。
19. 取り外したすべてのボディパネルを再度取り付けます。
20. 現地の環境規制の基づいて使用済みオイルを処分してください。

エンジンオイルフィルター

エンジンオイルフィルターの取り外し

1. 必要なボディ・パネルの取り外しに関しては、エンジンオイル交換を参照してください。
2. オイルフィルターのカバーを緩めます。

注:カバーの周りにウエスをおいてオイルがコンポーネントに接触しないようにします。



代表的な例

1. オイルフィルターのカバー
3. Oリング付きオイルフィルターカバーを取り外します。Oリングを処分します。
4. オイルフィルターを取り外します。
5. 現地の環境規制の基づいてフィルターを処分してください。

エンジンオイルフィルターの取り付け

取り付けは取り外しと逆の順序で行います。しかし、次の点に注意を払ってください。

1. 汚れや汚染物がないか、クランクケースのオイルインレットおよびアウトレット開口部を点検および清掃します。
2. **新しい**エンジンオイルフィルターを挿入します。
3. **新しい**Oリングをオイルフィルターカバーに取り付けます。

オイルフィルターのカバー	
Oリング	新規
締め付けトルク	25 N・m ± 3 N・m

より簡単な組み立て、および取り付け時にOリングをなくすのを防ぐために、Oリングおよびオイルフィルターにオイルを少し塗り（エンジンオイルを使用してください）、次の手順を行ってください。



1. ここにオイルを適用

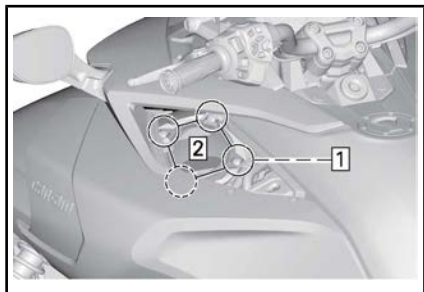
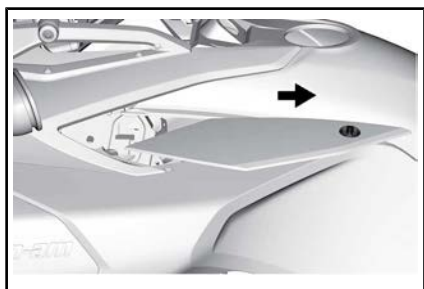
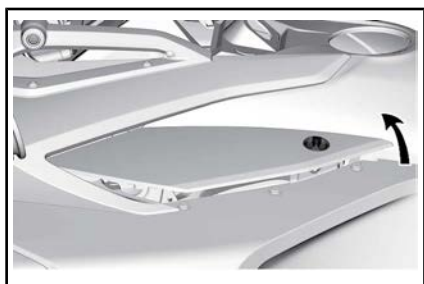
エアフィルター

エアフィルターの取り外し

必要に応じて、機器のサブセクションのボディパネルを参照してください。

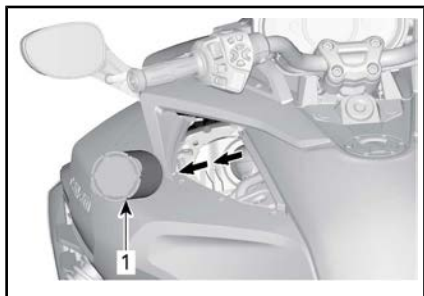


サービスカバー



手順 1: 4つのスクリュスベターを抜きます。

手順 2: エアフィルターカバーを取り外します。



エアインテイクサイレンサからエアフィルターを取り外します。

1. エアフィルター

注記: エアインテイクサイレンサのきれいな部分に埃や異物が落ちないように、ゆっくりとエアフィルターを取り外してください。

エアフィルターの点検

エアフィルターの清潔さおよび損傷を確認します。

注記: ペーパーフィルターに圧縮空気を吹きかけることは推奨されていません。これは紙繊維を傷つけ、ほこりの多い環境ではろ過能力が低下してしまいます。

注記: ペーパーフィルターを洗浄液で洗淨しないてください。

注記: エアインテイクサイレンサを点検し、エンジンエアインレット（エアフィルターの奥）のきれいな側に吹き込まれたり落ちたりしないように気をつけながら、埃や異物を取り除きます。

注記: エアインテイクサイレンサのきれいな側の内側に落ちた、または移動した埃や異物を取り外してください。埃を中に押し入れるのではなく引き出すように、清掃します。

メンテナンススケジュールと個々の使用状況（特に埃っぽい環境など）により、必要な場合はエアフィルターを交換します。

エアフィルターの取り付け

取り付け手順は取り外し手順の逆ですが、次の点に注目してください。

エアフィルターを取り付ける前に、エアフィルターを取り付けるリングの位置が正しいことを確認してください。

エアフィルターが正しく位置づけされたか確認します。

注: フィルターには、新しいフィルターを取り付けた日付とマイル数を書いておく場所があります。

エアフィルターカバーをエアインテイクサイレンサ上に配置します。

締め付けトルク	
エアフィルターカバーの留めネジ	4 N・m ± 1 N・m

エンジン・クーラント

エンジン・クーラント・レベルの確認

警告

リザーバーを開ける時は、クーラントが非常に熱く、エンジンが熱いと噴出すことがあります。火傷を防ぐには、エンジンの温度が低い時にクーラントのレベルを確認します。

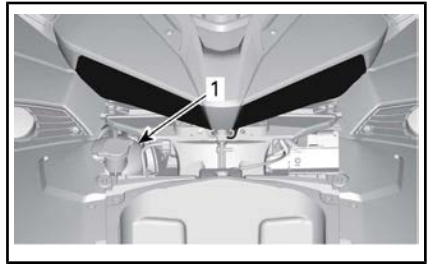
冷却システムは蒸留水と不凍液の水溶液（蒸留水および不凍液の50%ずつ）で満たされていなければなりません。

最高のパフォーマンスを得るには、ロングライフ不凍液 (P/N 219 702 685) を使用してください。

エンジンが冷たい状態で、次のようにクーラントのレベルを確認します。

1. 車両をしっかりした平面上に停車します。
2. フロントストレージコンパートメントを開けます。
3. フロントサービスカバーを取り外します。ボディを参照してください。
4. 右側のクーラントレベルを確認します。クーラントはCOLDレベルのマーキングより多少上にある必要があります。

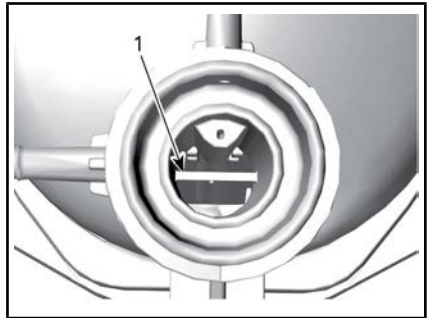
注: エンジンが熱い場合は、クーラントはHOTレベルのマーキングより下にある必要があります。



1. クーラント・リザーバ・キャップ
5. 必要であれば、リザーバー内のCOLDレベルのマーキングより少し上になるまでクーラントを継ぎ足します。こぼさないように、じょうごを使ってください。

入れすぎないでください。

6. クーラントがチューブに現れ始めたら、クーラントの継ぎ足しを止めます。



代表的な例

1. HOTクーラントレベルの基準線
7. サービスカバーを再度取り付けます。

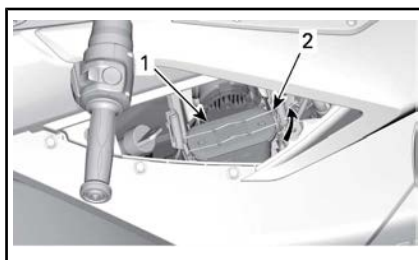
注: 頻繁にクーラントの補充が必要な場合は、クーラント・システムが漏れているか、エンジンに問題があることを示しています。Can-Am Roadsterの認定ディーラーまでお問い合わせください。

ブレーキ



警告

新しいブレーキは、慣らし運転が完了しないと最大効率で動作しません。ブレーキの効率が最適でない場合があるため、注意を余分に払ってください。ブレーキを慣らすには、頻繁にブレーキを使用して約300 kmの走行が必要です。ブレーキをそれほど使わない場合、ブレーキの慣らし時間を多めに見積もってください。



1. フィラーキャップ
2. フィラーキャップのロック機構

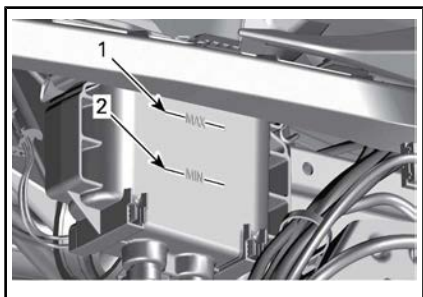
6. 必要に応じて、液を追加してください。ブレーキ液の供給のサブセクションを参照してください。

ブレーキ液レベルの検証

密閉容器に入っているDOT4ブレーキ液のみを使用してください。

次のようにブレーキ液のレベルを点検します。

1. 車両をしっかりと平面上に停車します。
2. 右側の横サービスカバーを取り外します。ボディパネルを参照してください。
3. 右側サイドパネルを取り外します。ボディパネルを参照してください。
4. リザーバーのブレーキ液レベルを点検します。両方がMIN.マーク以上のレベルに達している必要があります。



1. ブレーキ液MAX.レベルのマーク
2. ブレーキ液MIN.レベルのマーク
5. フィラー・キャップを取り外し、液を満たします。

注: ブレーキ液のレベルが低いことは、漏れやブレーキパッドの磨耗を意味します。Can-Am Roadsterの認定ディーラーまでお問い合わせください。

ブレーキ液の継ぎ足し

フィラー・キャップを取り外します。



警告

除去する前に、燃料タンクキャップをきれいにしてください。密閉容器に入っているDOT4ブレーキ液のみを使用してください。

1. 液をMAXレベルまで継ぎ足します。

注: ブレーキパッドを取り替えるとブレーキ液レベルが上昇します。MAXレベルの時に取り替えると、ブレーキ液がこぼれる恐れがあります。

注記: ブレーキ液は塗面またはプラスチックの部品を損傷させます。こぼれた液は直ちに拭き取ります。

2. フィラーキャップを再び取り付け、ロックします。
3. 右側サイドパネルを取り付けます。ボディパネルを参照してください。

4. 右側の横サービスカバーを取り付けます。ボディパネルを参照してください。

ブレーキシステムの検査

前輪および後輪は油圧式ディスクタイプです。これらのブレーキは自己調整し、手動で調整する必要がありません。

ブレーキペダルの調整も必要ありません。

ブレーキの状態を良好に保つには、メンテナンス・スケジュールにおける次の事項を点検します。

1. 液漏れがないかブレーキシステムの全体を点検
2. ブレーキペダルのスポンジ感触
3. ブレーキ・ディスクの過度の磨耗および表面の状態
4. ブレーキパッドの磨耗、損傷または緩み。

ブレーキシステムに問題がないか確認するために、Can-Am Roadsterの認定ディーラーに点検してもらいます。

バッテリー

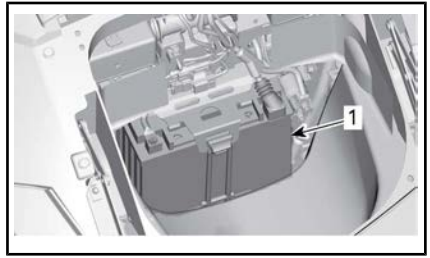
バッテリーの位置

バッテリーはフロントストレージコンパートメント内にあります。バッテリーにアクセスするには、フロントストレージ・コンパートメントを開けます。



フロントストレージコンパートメントが開いた状態

バスケットを取り外します。ボディパネルを参照してください。



1. バッテリー

バッテリーの充電

車両には完全に密封されている、メンテナンス・フリーのバッテリーが搭載されています。電解液のレベルを調整するために水を足す必要はありません。車両が一ヶ月以上乗られていない場合は、バッテリーを充電する必要があります。

バッテリーを交換する場合は、必ずCan-Am Roadsterのディーラーにお求めください。

警告

従来の鉛蓄電池型電池は使用しないでください。従来の鉛蓄電池型電池では、バッテリー出口から酸が漏れ出す可能性があります。バッテリーのケースが割れたり損傷していたりすると、重傷の火傷を起こしかねない酸が漏れ出すことがあります。

バッテリーは車両に取り付けられたまま充電することもできます。

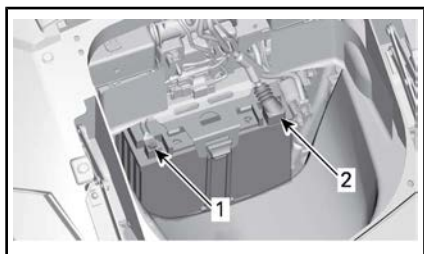
注記: バッテリー・チャージャーに付随された指示に従ってください。不適切な充電はバッテリーを損傷してしまう恐れがあります。

バッテリーを充電するには、以下の手順を踏んでください。

1. フロントストレージコンパートメントを開けます。
2. バスケットを取り外します。ボディパネルを参照してください。
3. まず、プラス(+)ケーブルを該当する端子に接続します。

4. そしてマイナス(-)ケーブルを該当する端子に接続します。

注記: 車両の電気システムの損傷を防ぐには、まずプラス (+)ケーブルを必ず接続します。



1. マイナス (-)端子
2. プラス (+)端子
5. バッテリー・チャージャーを始動させます。充電時間は充電率によります。

バッテリーが充電されたら：

6. 最初にマイナス (-)ケーブルを外します。
7. そしてプラス (+)ケーブルを外します。

注記: 車両の電気システムの損傷を防ぐには、まずマイナス (-)ケーブルを必ず外します。

8. バスケットを戻し、フロントストレージコンパートメントを閉めます。

標準のバッテリーチャージャーを使用することもできます。推奨される充電率は 2 A. です。バッテリーが上がってしまった場合は、車のバッテリーでジャンプスタートさせることができます（道路わきでの修理セクションを参照してください）。

自宅での充電においては、「細流」充電器を使ってバッテリーをより遅く充電させることも可能です。この種類のチャージャーはバッテリーを損傷させないで長時間接続させることができます。チャージャーの説明書に推奨されている充電時間に必ず従ってください。

クラッチ液 (SM6モデル)

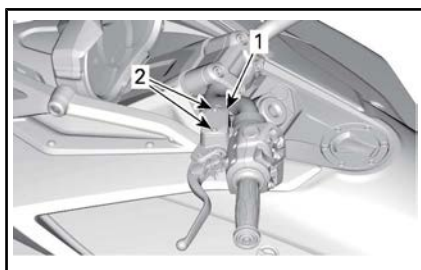
クラッチ液レベルの確認

クラッチが通常通りに作動しない場合、またはギアシフトレバーでギアをシフトしづらい場合は、クラッチ液のレベルを確認します。

クラッチ液のリザーバは左ハンドルのリバーズ・ボタン付近にあります。

次のようにクラッチ液のレベルを点検します。

1. 車両をしっかりした平面上に停車します。
2. クラッチ液のリザーバの上部が水平になるようにハンドルを真直ぐにします。
3. キャップ部分を拭き取って清掃します。
4. 工具キットの中にあるプラスドライバーを使います。
5. キャップの留めネジを外します。

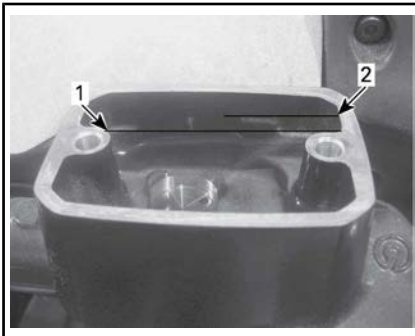


代表的な例

1. クラッチ液リザーバキャップ
2. 取り外す留めネジ
6. キャップを慎重に取り外します。キャップのシールを落さないように注意してください。
7. 液量を確認するためにリザーバの中を覗きます。

リザーバ内のクラッチ液レベルを確認します。

- 液量は供給線（リザーバ壁の突起）まで達している必要があります。



明確な表示のため、液は表示されていません

1. 最低
2. 最大

クラッチ液の継ぎ足し

1. 液レベルが仕様範囲より低い場合、供給線までリザーバーに液を足します。DOT 4のブレーキ液のみ使用してください。
2. 必要に応じて、液を追加してください。**入れすぎではありません。**

注記: こぼれたものは直ちに拭き取ります。

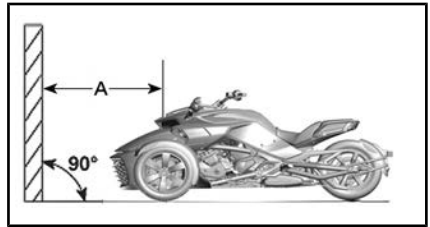
3. キャップ内のシールをめくりま
- す。
4. キャップをリザーバに再度取り付けます。
5. キャップのネジを締め付けま
- す。

ヘッドライト

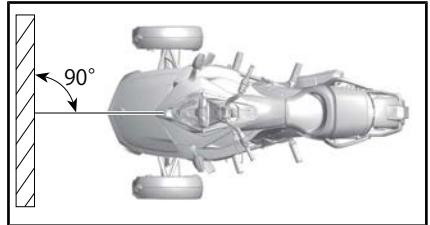
ヘッドライト光軸の検証

(ヨーロッパ、ブラジル、オーストラリア、日本向けモデル)

1. タイヤに正しく空気が入っていることを検証してください。仕様を参照してください。
2. 図示のように、試験面の前に車両10mを配置します。車両が平らな地面上に停車していることを確認します。



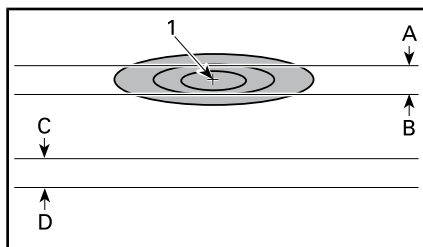
A. 10 m



3. 次のように試験面に並列な線を4列トレースします。

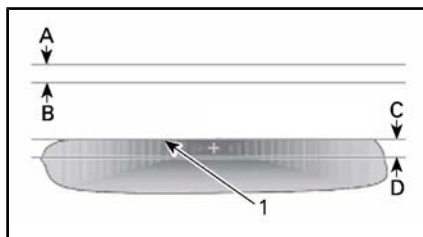
試験面に描いた線	
A線	688 mm
B線	618 mm
C線	614 mm
D線	410 mm

4. 運転席に最低でも91 kgの人を座させます。
5. **ハイビーム**を選択します。
6. ヘッドライトの反射のピント(一番明るいスポット)が上部マークの間であれば、ビームの光軸は正しく設定されています。



代表的な例 - 試験面上のヘッドライトの反射—ハイビーム (片方のヘッドランプ)

1. ピント
- A. 高さ688 mm
- B. 高さ618 mm
- C. 高さ614 mm
- D. 高さ410 mm
7. ロービームを選択します。
8. ヘッドライトの反射の最上線が下部マークの間であれば、ビームの光軸は正しく設定されています。



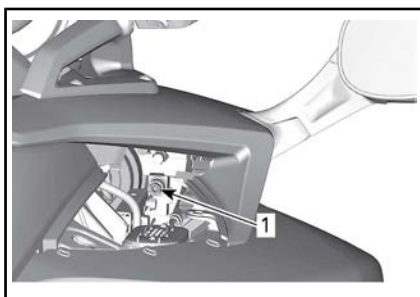
試験面上のヘッドライトの反射—ロービーム (片方のヘッドランプ)

1. 最上線
- A. 高さ688 mm
- B. 高さ618 mm
- C. 高さ614 mm
- D. 高さ410 mm

ヘッドライト光軸の調節 (ヨーロッパ、ブラジル、オーストラリア、日本向けモデル)

ハイビーム

10ミリレンチを使って、ヘッドライトハウジングにあるヘッドライトアジャスターを回して各ヘッドライトを調節します。ヘッドライトをあげるには右回りに、ヘッドライトを下げるには左回りに回します。両方のヘッドライトを均等に調整します。

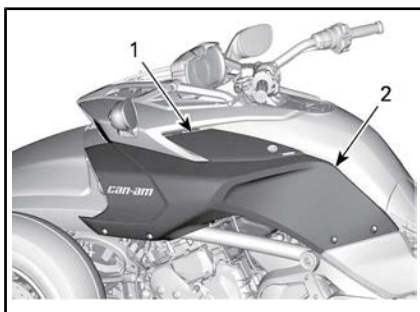


右側の図

1. ヘッドライトアジャスター

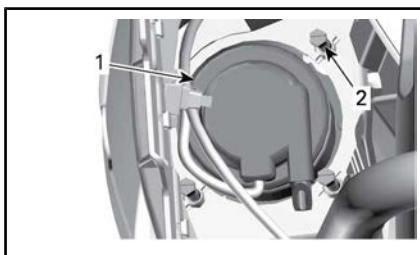
ロービーム

ボディパネルのサブセクションを参照し、以下を取り外します。



1. 横サービスカバー
2. サイドパネル。

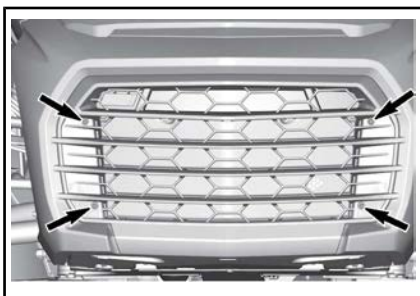
ビームの高さを調整するには調整スクリューを回します。両方のヘッドライトを均等に調整します。



1. ロービームヘッドライト
2. 調整スクリュー

ラジエーター・ファンの掃除

ラジエーターにアクセスするには、車両からフロントグリルを取り外します。



取り外す留めネジ

F3-Sモデルの場合は、スナップを外します。

異物を埃を除去します。

注記: 高圧洗浄器は使用しないでください。

車両のお手入れ

車両クリーニング

車両を清掃するには、**高圧洗浄機**(洗車屋などで使われる)は車両の特定部を損傷する恐れがあるため、使わないでください。

注記: クロームホイールは水と中性洗剤で洗ってください。クロームホイールは、磨いたり、酸性クリーナーまたは研磨剤を使用しないでください。

注記: フロントガラスの損傷を防ぐには、フロントガラスをアルカリまたは酸洗浄剤、ガソリンまたは溶剤で清掃しないでください。

注記: マット仕上げにおいては、ワックス、ディーテル・スプレーまたは普通のペンキに使用されるその他の製品は使用しないでください。研磨剤で洗浄しないでください。機械クリーナーまたはポリッシャーを使用せず、表面をあまり強く擦らないでください。

車両を清掃するには：

1. 汚れを落とすために水でよく洗車してください。
2. 柔らかいきれいな布と、モーターサイクルや自動車に特別に配合された洗剤などの中性洗剤に水を混ぜた溶液で洗車してください。

注: ウィンドシールドやフロントパネルに付着した虫を取り除くには、温かい水が効果的です。

注: マット仕上げでは、マットペイントに安全なマイルドな清掃製品および柔らかいウォッシュ・ミットを使って手洗いします。虫などの異物を取り除くには、柔らかい塗布器およびマイルドの溶剤を使用します。溶剤をかけておき、少し経ったら拭き取ります。軽く擦ります。

3. 洗車中にグリースやオイルが付着しているか確認します。XPS ROADSTER WASH (P/N 219 701

703)または自動車用中性脱脂剤を使用します。製造社の使用上の注意に必ず従ってください。

4. セームや柔らかいタオルで車両から水を拭き取ります。

注: マット塗装仕上げの車両の場合、より頻繁に洗浄が必要になるかもしれません。

車両の保護

プラスチックの部品には非研磨ワックスを適用します。

注記: マット仕上げの表面(マット塗装仕上げを含む)はワックスしたり、研磨しないでください。

表面	推奨
艶出し塗装仕上げ	クリアコート塗料にも安全な研磨剤の入っていないワックスのみ塗布します
マット塗装仕上げ	ワックスを適用しないでください。
マット仕上げ	

ウィンドシールドはプラスチッククリーナー/研磨剤で研磨することができます。

注記: フロントガラスには、撥水性の製品を使わないでください。

警告

表面がつるつるになり、オペレーターまたは同乗者が車両から落ちるかもしれないので、シートにはプラスチックまたはビニル製のプロテクターは付けないでください。

保管、シーズン前の準備

保管

冬の時など、車両が最低でも4ヶ月間運転されていない場合は、車両を良い状態に保つには適切に保管する必要があります。

BRPは車両を保管する前にCan-Am Roadsterの認定ディーラーに整えてもらうことを推奨します。または、ご都合の良い時に、次の基本手順を行ってください。

車両の保管準備

1. 車両を点検し、必要であればCan-Am Roadsterの認定ディーラーに問題点を修理してもらってください。
2. エンジンオイルとフィルターを交換。必要であれば、Can-Am Roadsterの認定ディーラーにご相談ください。
3. エンジン・クーラント、ブレーキ液およびクラッチ液のレベルを確認します。
4. タンクの錆び、および燃料の悪化を防ぐために、燃料タンクを満タンにし、ガソリン安定化剤を入れ、エンジンをかけて循環させます。燃料安定化剤の容器の指示に厳密に従ってください。
5. すべてのタイヤを推奨される圧力まで空気を入れます。
6. 車両を掃除します。
7. すべてのコントロール・ケーブル、ラッチ、すべてのレバーのピボット点に潤滑剤を塗ります。
8. すべてのストレージ・コンパートメントのラッチを閉じます。
9. 車両に透過性カバーをします（防水シートなど）。プラスチックや同等の浸透性のない、コーティングされた物質は、空気の流れを遮断し、熱と水分が中に蓄積されてしまうため、使用を避けてください。
10. 車両は直射日光のない、毎日の温度変化があまりない乾いた場所に保管してください。

11. 推奨される2 Aでの充電速度で月に1回はバッテリーを低速充電してください。バッテリーを取り除く必要はありません。

シーズン前の準備

保管期間後、車両を整えて点検する必要があります。

保管されている車両を再利用するには：

1. 車両を覆ってるシートを外し、掃除します。
2. 必要であればバッテリーを充電します。
3. 走行前の点検を行い、低速度で車両を試乗します。

**このページは
意図的に空白になっています**

道路側での修理

診断ガイドライン

注記: 車両を移動させる必要がある場合は、牽引しないでください。牽引により車両はひどい損傷を受けます。詳細については、このセクションの車両の移送をご参照ください。

第一ギアに入れることができない (SM6モデル)

車両の走行中にギアボックスが第一ギアに入らない場合：

1. シフトレバーに軽い圧力をかけながら、クラッチレバーをゆっくり放します。
2. シフトレバーが第一ギアに入りかけていると感じたら、クラッチレバーを引きます。

ニュートラルに入れられない (SE6モデル)

車両の走行中にギアボックスがニュートラルに入らない場合：

1. エンジン速度は自動的に約 1300RPMまで上昇し、またアイドリング速度に戻ります。
2. それでも駄目な場合は、シフトダウンボタンをまた押してみます。

変速できない (SE6モデル)

お近くのCan-Am Roadsterのディーラーまで車両を移送してください。

エンジンが始動しない

エンジンがまったく回らない

1. 多機能ゲージクラスターにスクロールされている安全性メッセージが認められていない。
 - MODE (M) を押して、安全性メッセージを認識してください。
2. エンジン・ストップ・スイッチがOFFの位置にある。
 - エンジン・ストップ・スイッチがONの位置にあることを確認してください。

3. クラッチレバーが作動しない (SM6モデル)
 - クラッチレバーをにぎったままにします。
4. イグニッション・スイッチがOFFの位置にある。
 - イグニッションをONの位置に回します。
5. バッテリーが上がっているか、バッテリーの不良接触です。
 - 充電されているか確認してください。必要であれば充電してください(メンテナンス手順のサブセクションをご参照ください)。
 - フロント・ストレージ・コンパートメントのバッテリーの接続を確認してください(メンテナンスの手順のサブセクションを参照)。
6. ヒューズが切れている。
 - ヒューズ状態を確認してください (このセクションのヒューズおよびライトの交換方法を参照)。
7. トランスミッションがギアに入っている (SE6モデル)。
 - トランスミッションがギアに入っている場合は、ブレーキペダルを踏みます。
8. キーが読み取れません。固定化システムがキーを読み取れなかった場合、エンジンは始動しません。以下の状況により、固定化システムがキーを読み取れなくなることがあります。
 - コンピューターチップの損傷
 - キーの近くに大きな金属の物体がある
 - キーの近くに電子機器がある

- メインキーの近くに二つ目の電子コードキーがある
- キーの周辺にその他の強い電磁場がある。
- エンジンが始動せず、クラスタースターにキーエラーのメッセージが表示された場合は、上記のような状況が存在しないことを確認してください。これらの状況が存在しないにも関わらず問題が発生する場合は、Can-Am Roadsterの認定ディーラーにご相談ください。





エンジンは低回転で回るが、始動しない


1. 燃料残量が低い。
 - 燃料タンクを満タンにしてください（基本手順のサブセクションを参照してください）。
2. バッテリーが弱い。
 - 充電されているか確認してください。必要であれば充電してください（メンテナンス手順のサブセクションをご参照ください）。
 - フロント・ストレージ・コンパートメントのバッテリーの接続を確認してください。
3. エンジン・マネージメントの問題。
 - エンジンの始動中にエンジンインジケータランプがONであるか確認します。Can-Am Roadsterの認定ディーラーまでお問い合わせください。

多機能ゲージのメッセージ

車両状態の重要な情報は多機能ゲージに表示されます。エンジンを始動させる時は必ずインジケータランプや特別なメッセージがゲージに現れているか必ず確認します。

インジケータランプ (異常)			
インジケータランプ	デジタル警告	原因	解決法
  点滅	なし	ギアボックスポジションセンサーの異常	- 車両を止め、ニュートラルに戻るまで待ちます。 お近くのRoadsterの認定ディーラーまで車両を移送してください。
なし	不良なキー	不正または不良なキー	車両に合ったキーを使用するか、またはRoadsterの認定ディーラーにお問い合わせください。
 ON	エンジン高温 (HIGH TEMPERATURE)	エンジンがオーバーヒートしている	- エンジンを停止し、冷めるまで待ちます。 - 漏れがないか確認します。 - クーラントのレベルを確認し、調整します(メンテナンスの手順のサブセクションを参照してください)。
 ON	LO BATT VOLT または HI BATT VOLT	バッテリーの電圧が低い/高い	- バッテリーを充電してください(メンテナンスの手順のサブセクションをご参照ください)。 - バッテリーの接触を確認します。 お近くのRoadsterの認定ディーラーまで車両を移送してください。
 ON	A B Sの故障	ABSの異常。ABSが操作されていない	お近くのRoadsterの認定ディーラーまで車両を移送してください。
 ON	なし	VSSの異常	* お近くのRoadsterの認定ディーラーまで車両を移送してください。

インジケータランプ (異常)			
インジケータランプ	デジタル警告	原因	解決法
 ON	EBDの故障	EBDの故障	お近くのRoadsterの認定ディーラーまで車両を移送してください。
	ブレーキの故障	低ブレーキ液レベル、または故障しているセンサー	<ul style="list-style-type: none"> - ブレーキ液の漏れがないか確認してください。 - ブレーキ液のレベルを確認し、調整します(メンテナンスの手順のサブセクションを参照してください)。
 ON状態 + キーがOFFの状態 でピープ音が発生	なし	故障したパーキングブレーキまたはコンポーネントキーがOFF時にパーキングブレーキが起動しない	<ul style="list-style-type: none"> - バッテリー電圧が最低でも10.5Vであることを確認してください。 - 右ヒューズボックスのヒューズ1を点検します(メンテナンスの手順のサブセクションを参照)。 お近くのCan-Am Roadsterの認定ディーラーまで車両を移送してください。
 ON	エンジン点検の必要あり (CHECK ENGINE)	エンジンマネージメントコンポーネントの異常	キーを抜いて、20秒待ってキーをまた挿入します。
	DPS点検	ダイナミックパワーステアリングコンポーネントの異常	Roadsterのディーラーに車両を修理してもらってください。
	トランスミッション点検	トランスミッションコントロールモジュールのコンポーネントの異常	<ul style="list-style-type: none"> - キーを抜いて、20秒待ってキーをまた挿入します。 - Can-Am Roadsterのディーラーに車両を修理してもらってください。
 点滅	応急帰還モード (LIMP HOME MODE)	主要エンジンマネージメントコンポーネントまたはVSSの異常	* お近くのRoadsterの認定ディーラーまで車両を移送してください。

インジケータランプ (異常)			
インジケータランプ	デジタル警告	原因	解決法
 ON	なし	油圧の低下	<ul style="list-style-type: none"> - オイル漏れがないか確認します。 - オイルのレベルを確認し、調整します(メンテナンスの手順のサブセクションを参照)。
注記：二つの異なる警告の組み合わせが発生可能です。			

* BRPIはLIMP HOMEの警告が現れた場合は、車両を移送することを推奨します。LIMPHOMEの状態では車両を運転する場合は、極端な操作は避け、次にお乗りになる前に直ちにお近くのCan-Am Roadsterの認定ディーラーにもっていき、修理してもらってください。LIMPHOME状態では、エンジンRPMが制限されるため、車両速度も制限されます。

以下の状況に対する解決策

失われたキー

スペアキーを使ってCan-Am Roadsterの認定ディーラーにもう一枚の鍵をもう一つ作ってもらいます。**キーの両方を紛失した場合**には、イグニッションスイッチと燃料キャップは、車両のオーナーの費用負担で交換しなければなりません。

タイヤのパンク

タイヤのトレッドに**深刻な**刺し傷や切り傷があり、完全にパンクしている場合は、車両をお近くのCan-Am Spyderのディーラーに移送してください。移送の指示については、このセクションの**車両の移送**をご参照ください。

釘や石によりタイヤが**軽い**パンクを起こしており、完全にパンクしていない場合は、タイヤは一時的に修理することができます。一時的にタイヤを修理するには、自己膨張型タイヤ・シーラーまたはタイヤ・プラグ修理キットを使用します。タイヤ・シーラーまたは修理キットのメーカーの指示に従い、**できるだけ早く**Can-Am Roadsterのディーラーに修理または交換してもらってください。

タイヤが一時的に修理された後は、低速度で慎重に運転し、交換または完全に修理されるまでタイヤの空気圧を常に確認してください。

上がったバッテリー

バッテリーが上がっていたり、エンジンをかけるには電圧が低い場合は、ジャンプ・スタートを行います。



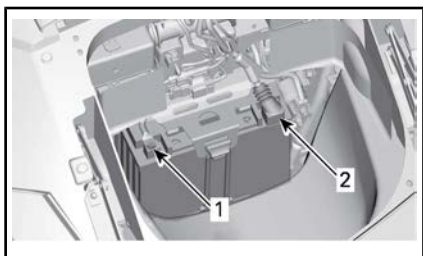
警告

ジャンプスタートの手順に従ってジャンパー・ケーブルを接続します。**ジャンパー・ケーブルが適切に接続されていないと、バッテリーから発火する恐れのある爆発性ガスが漏れることがあります。**

バッテリーをジャンプスタートするには、以下の手順を踏んでください。

1. もう一方の車両をSpyder Roadsterの前に、あるいはできるだけ近く寄せます。車両同士が接触していないことを確認します。
2. Spyder Roadsterをニュートラル(N)に入れ、パーキングブレーキをかけます。
3. もう一方の車両のエンジンおよびすべての電気アクセサリをOFFにします。
4. もう一方のフードを開けます。
5. Spyder Roadsterのフロント・コンパートメントを開けます。
6. イグニッションスイッチがOFFになっていることを確認します。
7. バスケットを取り外します。ボディパネルを参照してください。
8. 赤いプラス (+)ジャンパーケーブルの一方の端をSpyder Roadsterのプラス (+) 端子に接続します。
9. 赤いプラス (+)ジャンパーケーブルのもう片方の端をブースター・バッテリーのプラス (+) 端子に接続します。
10. 黒いマイナス (-)ジャンパーケーブルの一方の端をブースター・バッテリーのマイナス (-) 端子に接続します。
11. 黒いマイナス (-)ジャンパーケーブルのもう片方の端を

Spyder Roadsterのマイナス (-) 端子に接続します。



バッテリーを充電した後、車両をCan-Am Roadsterの認定ディーラーによって点検してもらってください。

1. マイナス (-)端子
2. プラス (+)端子
12. ブースターバッテリーで車両を起動し、エンジンを数分間アイドルで稼働させます。
13. Spyder Roadsterの右側に立ち、ブレーキをかけてエンジンを始動します。エンジンは回旋しないか、ゆっくり回旋する場合は、ジャンパーケーブルを揺すって接触が良好であるか確認し、再度試します。
それでも始動しない場合は、起動システムに問題がある可能性があります。お近くのCan-Am Roadsterのディーラーに移送し、(このセクションの車両の移送を参照) 修理してもらってください。
14. エンジンが始動した後は、Spyder Roadsterに接続されたマイナス (-) ケーブルを始めに、取り付けとは逆の手順で両方のジャンパーケーブルを取り外します。
15. できるだけ早くバッテリーチャージャーを使用するか、(メンテナンスの手順を参照) または資格のある修理屋によって完全に充電してもらってください。

じゅんぷスタートの直後、またはジャンパーケーブルを取り外した後にエンジンが停止してしまう場合は、充電システムに問題がある可能性があります。お近くのCan-Am Roadsterのディーラーに移送し、(車両の移送を参照)修理してもらってください。

ヒューズおよびライトの交換方法

ヒューズ

車両の電気用品が作動しなくなった場合は、飛んだヒューズを確認し、必要であれば交換します。

電気システムの故障が起きた場合は、車両をCan-Am Roadsterの認定ディーラーによって点検してもらってください。

ヒューズの位置

ヒューズはフロント・ストレージ・コンパートメント内にあります。

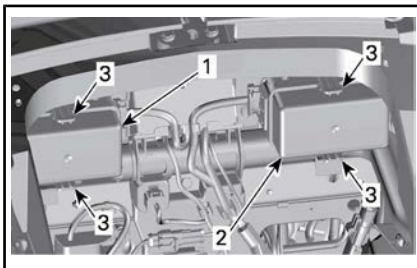
ヒューズボックスにアクセスするには、フロントストレージ・コンパートメントを開けます。



フロントストレージコンパートメントの開かれた状態

バスケットを車両から取り外します。ボディパネルを参照してください。

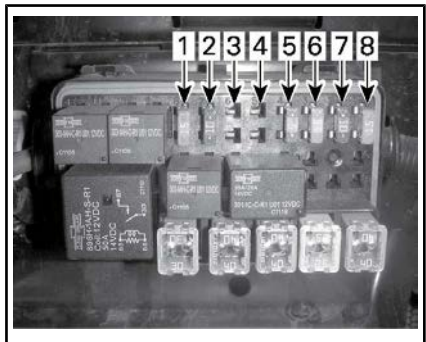
タブを押し下げ、慎重にヒューズボックスのカバーを取り外します。



フロントストレージコンパートメントの中

1. 右側ヒューズサービスカバー
2. 左側ヒューズサービスカバー
3. タブ

ヒューズの説明

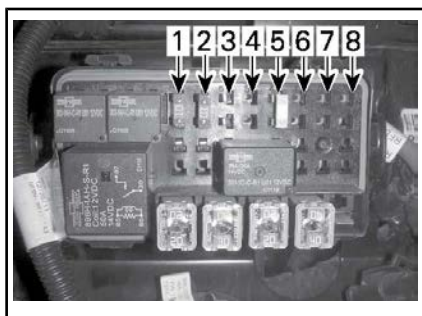


ヒューズ-左ヒューズボックス

注: 正しく識別するには、両方のヒューズボックス間にあるデカールを参照します。

左ヒューズボックス

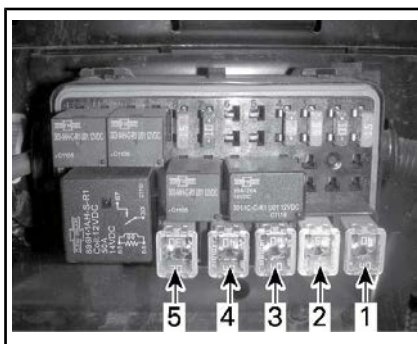
ヒューズ番号	説明	定格
1	クラスター / DLC	15 A
2	ウェイクアップECM / VCM / MSR および D.E.S.S. / SAS / YAS / PRS	10 A
3	オルタネータ	10 A
4	PBM	20 A
5	ECM	5 A
6	インジェクター / コイル	15 A
7	ウェイクアップTCM, DPS / クラスター	10 A
8	H02S / CAPS / 燃料ポンプ / EVAP / CSV	15 A



ヒューズ-右ヒューズボックス

右ヒューズボックス

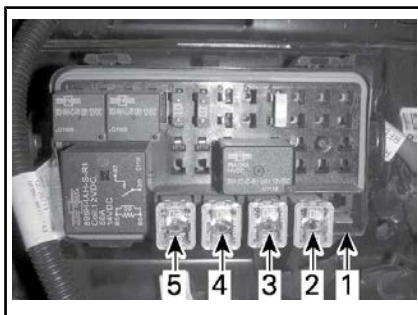
ヒューズ番号	説明	定格
1	デイライト/ パーキングランプ/ プレートライト	15 A
2	ブレーキライト、ハザード	10 A
3	未使用	
4	GPS	5 A
5	負荷制限	25 A
6	顧客アクセサリ回路	10 A
7	未使用	
8		



Jケース・ヒューズ-左ヒューズボックス

左Jケース・ヒューズボックス

Jケースヒューズ番号	説明	定格
1	VCMポンプ	40 A
2	VCMポンプ	25 A
3	DPS	40 A
4	メインコントロール	40 A
5	未使用	



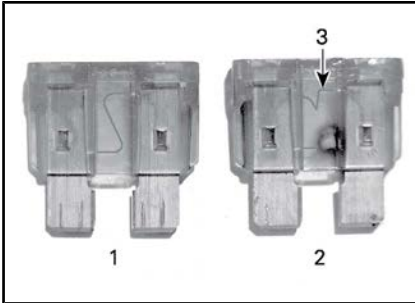
Jケース・ヒューズ-右ヒューズボックス

右ケース・ヒューズボックス

ケース ヒューズ 番号	説明	定格
1	冷却ファン	30 A
2	アクセサリ	40 A
3	TCMソレノイド	20 A
4	LOヘッドランプ	30 A
5	HIヘッドランプ	20 A

ヒューズ交換

1. イグニッションスイッチをOFFにします。
2. ヒューズを取り出します。
3. フィラメントが溶けていないか確認します。



ヒューズ

1. 良好のヒューズ
2. 飛んでいるヒューズ
3. 溶融フィラメント
4. ヒューズを同じ定格のものと交換します。スペアヒューズはヒューズボックスカバーにあります。



警告

より高定格のヒューズを使用すると、深刻な損傷を招き、火災の原因になります。

5. ヒューズボックスのカバーを開じるには、カバーをヒューズにかぶせるように位置付け、カチッとなるまで慎重に押し下げます。
6. ヒューズのサービスカバーを開じるには、カバーをヒューズボックスにかぶせるように位置付け、ヒューズのサービスカバーが開まるまで慎重に押し下げます。
7. バケットを取り付け、フロントストレージコンパートメントを閉めます。

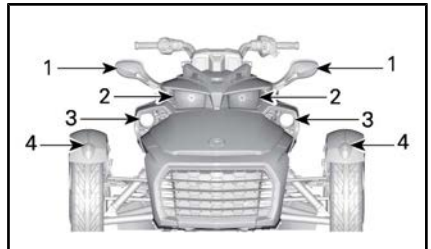
ライト

車両のライトが作動しなくなった場合は、欠陥のあるライトの電球を交換します。

ライトが故障した場合は、車両をCan-Am Roadsterの認定ディーラーによって点検してもらってください。

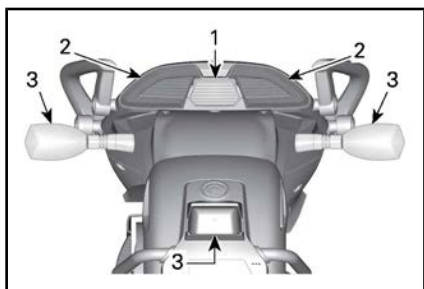
⚠️注意 電気ショックを回避するには、電球を取り替える前にイグニッション・スイッチを必ずOFFの状態にします。

取り換え後に必ずライトの動作を確認します。



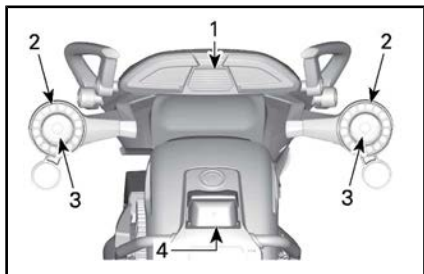
ライトの位置 — 車両の前部 — ヨーロッパ、オーストラリア、ブラジル、および日本向けのモデル

1. ウィンカーライト
2. ヘッドライト — ハイビーム
3. ヘッドライト — ロービーム
4. ポジションライト



ライトの位置 — 車両の後部 — 日本向けモデル以外のすべてのモデル

1. バックアップ・ライト
2. テールライト/ブレーキライト
3. ウィンカーライト
4. ライセンスプレートライト

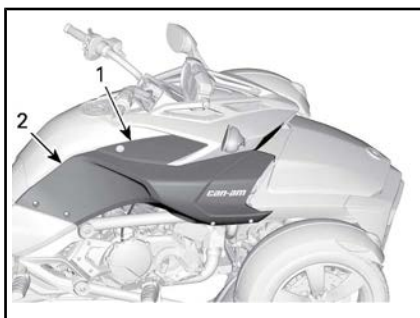


ライトの位置 — 車両の後部 — 日本向けモデル

1. バックアップ・ライト
2. テールライト/ブレーキライト
3. ウィンカーライト
4. ライセンスプレートライト

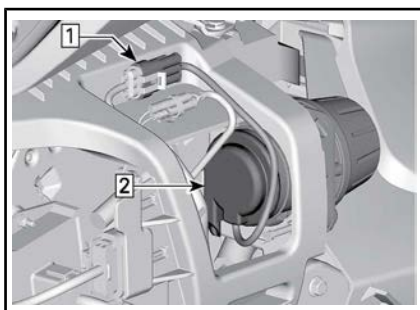
ヘッドライト — ロービーム

オーストラリア、ブラジル、ヨーロッパ、および日本向けモデル
ボディパネルのサブセクションを参照し、次を取り外します。



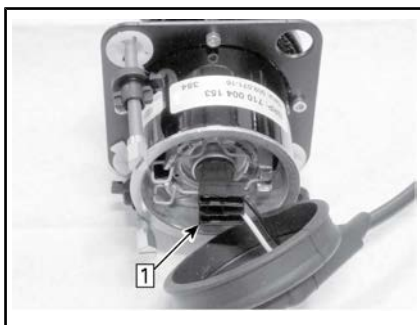
右側の図、左側も同様

1. 横サービスカバー
2. サイドパネル

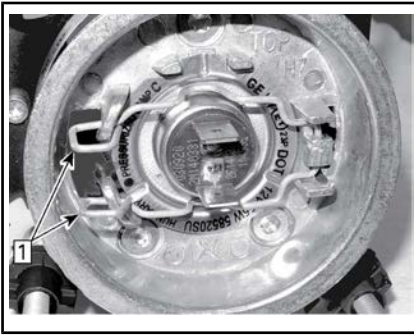


手順 1: 車両のハーネスからライトを取り外す

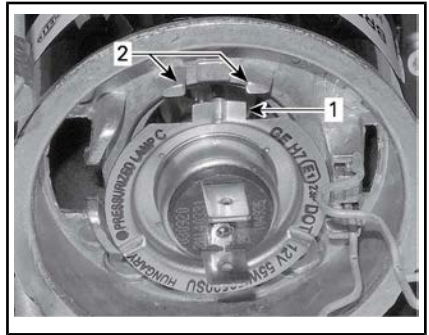
手順 2: ラバーキャップを外す



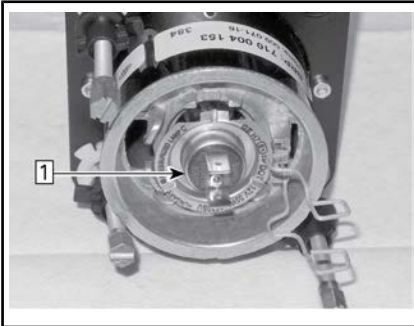
手順 1: ライトバルブからコネクタを取り外す



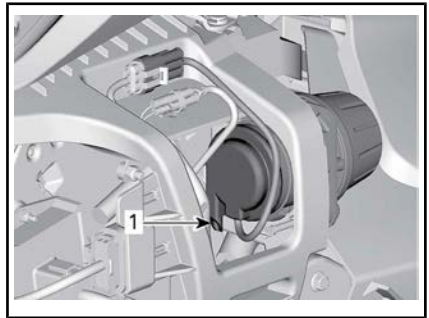
手順 1: スプリングクリップをリリースする



1. ライトバルブのアラインメントタブ
2. ライトハウジングのアラインメントタブ



手順 1: ライトハウジングからバルブを引き抜く



1. ベントチューブは下向き

取り外した順序の逆で取り外された部品を再度取り付けます。しかし、次の点に注意を払ってください。

注記: 寿命が短くなるので、ハロゲン電球のガラス部分を決して素手で触らないでください。ガラス部分を触ってしまった場合、イソプロピルアルコールで拭き取れば、バルブの表面に膜を残さないのであります。

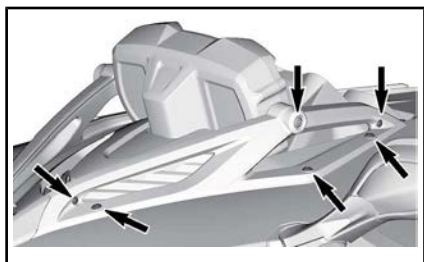
注記: パネルスクリューを締め付けすぎないでください。スクリュー周りのパネルのいかなる変形は締め付けすぎってしまったことを示しています。パネルを損傷しかねません。

ライトの機能を確認します。

ヘッドライト — ハイビーム

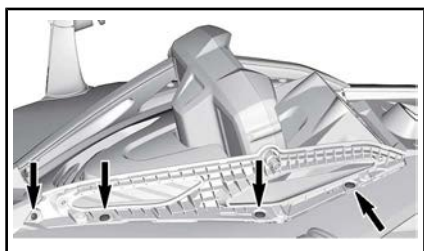
F3 モデル

1. トップレールをトップレールに固定している留めネジを抜きます。



取り外す留めネジ

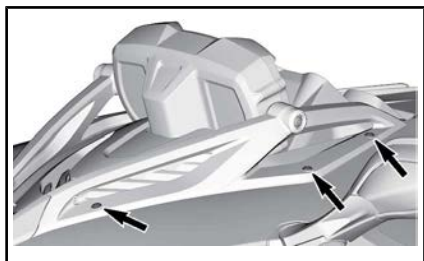
2. アイレットを車両に固定している留めネジを抜きます。



取り外す留めネジ

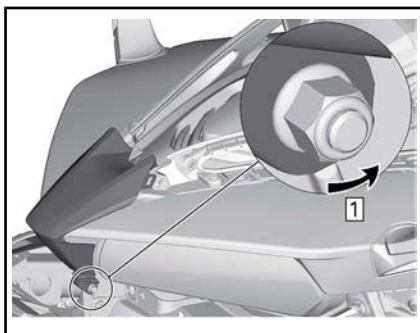
F3-S モデル

3. トップレールを車両に固定している留めネジを抜きます。



すべてのモデル

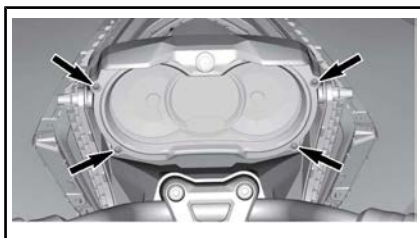
4. コンソールノー図の下部留めネジを緩めます。
5. ノーズの上部のクリップを外し、前に旋回させます。



コンソールノーズ PIVOTING (旋回)

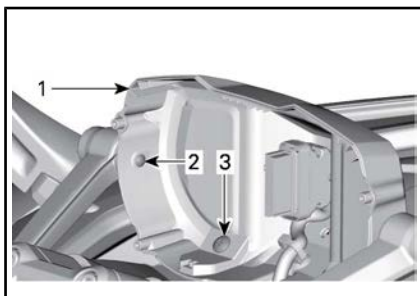
手順 1: 留めネジを緩めます。

6. ゲージトリムを固定している留めネジを抜き、ゲージとの接続を外します。

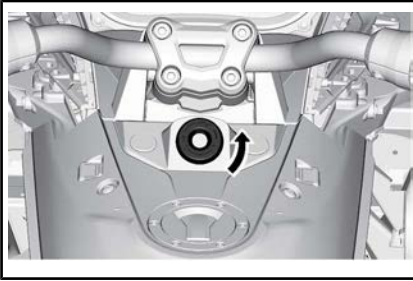


取り外す留めネジ

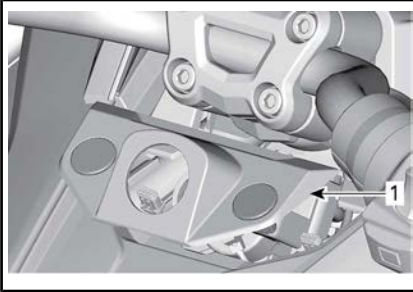
7. 両側のゲージサポートの中の留めネジを取り除きます。



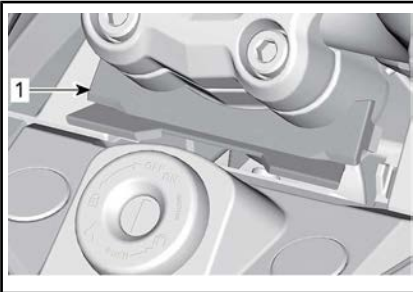
1. ゲージサポート
2. トップレールに取り付けられている留めネジ
3. コンソールパネルに取り付けられている留めネジ
8. キースイッチカバーを取り外します。



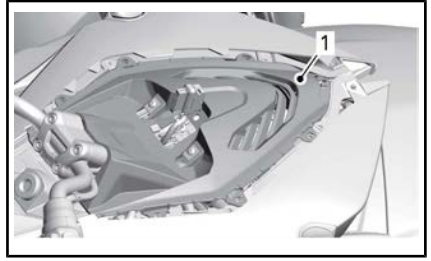
9. スイッチベゼルを取り外します。



1. スイッチベゼル
10. 中央ベゼルを取り外します。

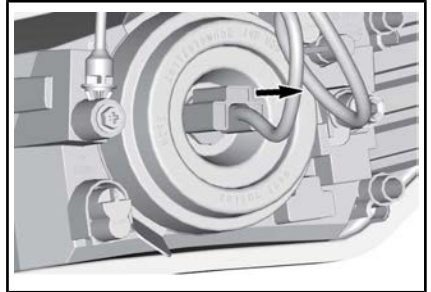


1. 中央ベゼル
11. コンソールパネルを取り外します。

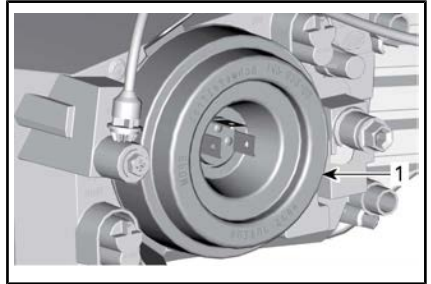


コンソールパネルの取り外し

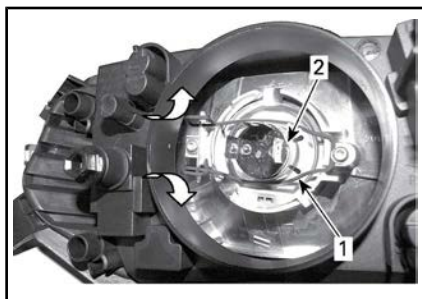
1. コンソールパネル
12. ヘッドランプコネクタを取り外します。



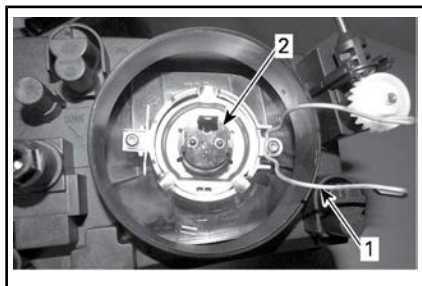
13. ハウジングキャップを引っ張り出します。



1. ハウジングキャップ
14. ライトバルブの固定スプリングを取り外します。



1. バルブの固定スプリング
2. バルブハウジング



1. バルブの固定スプリング
2. バルブハウジング

15. 新しいバルブを取り付け、固定スプリングで固定します。

注記: 寿命が短くなるので、ハロゲン電球のガラス部分を決して素手で触らないでください。ガラス部分を触ってしまった場合、イソプロピルアルコールおよび清潔なウエスで清掃します。

16. ハウジングキャップを再度取り付けします。
17. ライトバルブにコネクタを取り付けます。
18. 取り外した順序の逆で部品を適切に再度取り付けます。

ウインカーライト — 前

1. レンズのスクリューをプラスドライバーを使って取り外します。



代表的な例

1. フロントウインカーレンズスクリュー
2. 小型のマイナスドライバーを使ってレンズの端を持ち上げ、ハウジングからリリースします。
3. 以下のようにコネクターを左回りに回して、レンズを取り外します。

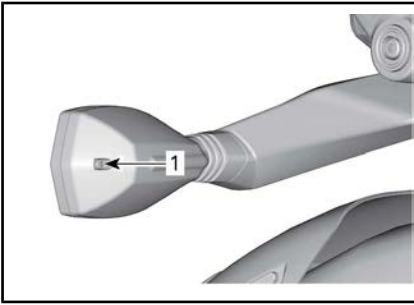


代表的な例

1. フロントウインカーコネクター
4. バルブを押し入れて左に回し、バルブを取り外します。
5. 新しいバルブを押し入れて右に回して取り付けます。
6. 取り外した順序の逆で部品を適切に再度取り付けます。

ウインカー—後ろ（オーストラリア、ブラジル、およびヨーロッパ向けのモデル）

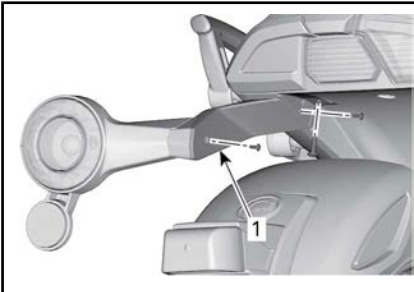
1. レンズを取り外します。



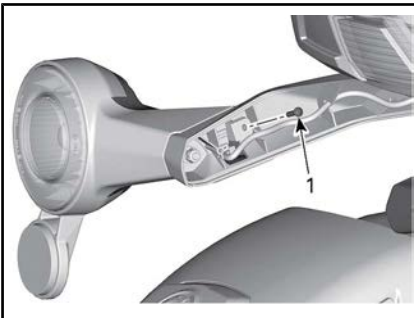
1. リアウインカーレンズスクリュー
2. バルブを押し入れて左に回し、バルブを取り外します。
3. 新しいバルブを押し入れて右に回して取り付けます。
4. レンズを再度取り付けます。

注記: 取り付け時、スクリューを指でぎつく締めてください。

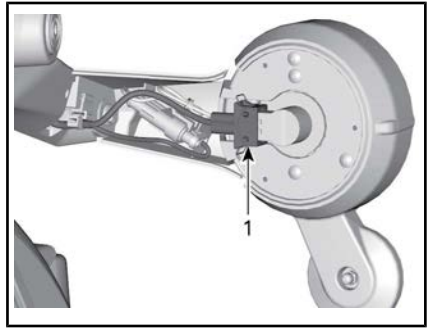
ウインカーライトー 後ろ（日本向けモデル）



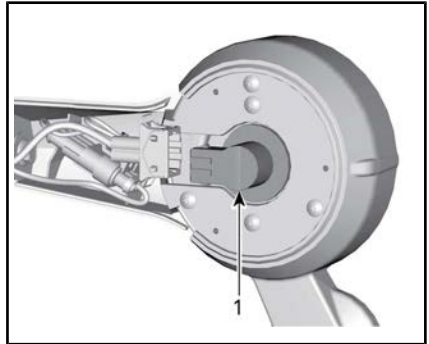
1. このカバーを外す



1. このスクリューを取り外す



1. ウインカーコネクターの取り外し



1. バルブホルダーを回してリリースします。

バルブを押し入れて左に回し、バルブを取り外します。

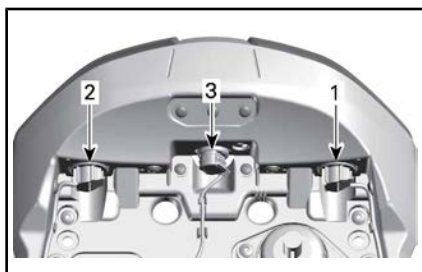
バルブ取り付けのステップを逆にいき、部品を取り外してください。

注記: 取り付け時、スクリューを指でぎつく締めてください。

テールライト/ブレーキライト （オーストラリア、ブラジル、およびヨーロッパ向けのモデル）

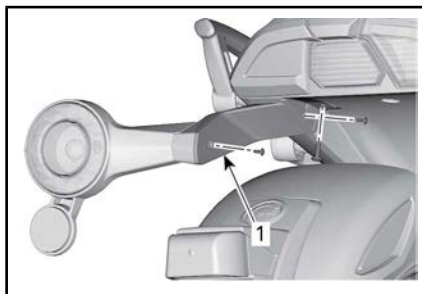
1. 同乗者シートを取り外します。
機器のサブセクションに記載のシートを開けるをご参照ください。
2. バルブソケットを回して車両から取り外します。

注:中央と左のバルブソケットを左に回します。右のバルブソケットを右に回します。

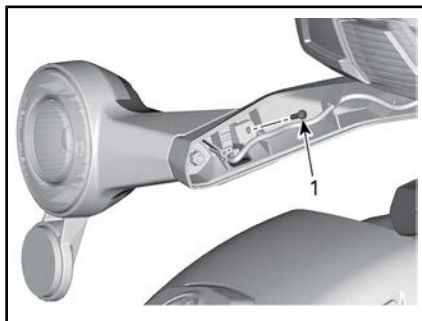


1. 左側テールライト/ブレーキライト
2. 右側テールライト/ブレーキライト
3. バックアップ・ライト
3. バルブを押し入れて左に回し、バルブを取り外します。
4. 新しいバルブを押し入れて右に回して取り付けます。
5. シートの取り付け

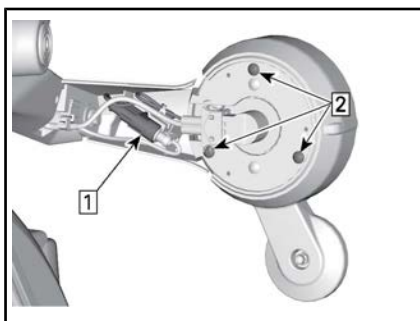
テールライト/ブレーキライトLEDユニット（日本向けモデル）



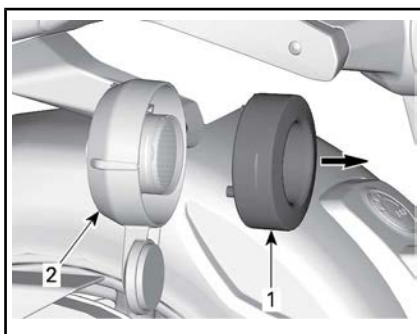
1. このカバーを外す



1. このスクリューを取り外す



- 手順1: テールライトコネクターを外す
手順2: これらのスクリューを取り外します



1. LED テールライトユニット
2. テールライトハウジング

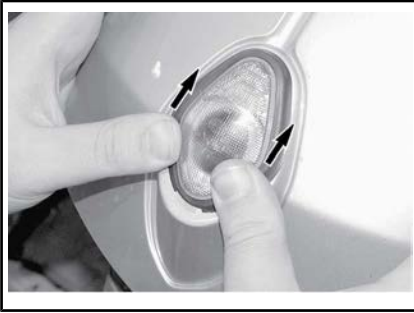
新しいLEDテールライト取り付けのステップを逆に行い、部品を取り外してください。

注記: 取り付け時、スクリューを指できつく締めてください。

ポジション・ライト

F3 モデル

1. レンズを押し込み、フェンダーの後部に目掛けてレンズを押し込みます。



代表的な例

2. 親指またはドライバーでレンズの前部を引き上げてリリースします。



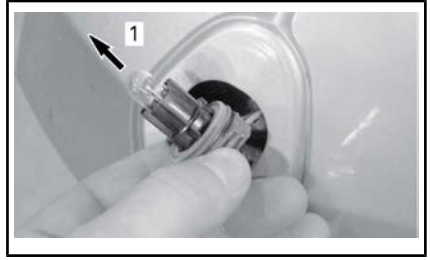
代表的な例

3. ホルダーを右に回してバルブ・コネクターから取り外します。



代表的な例

1. 右に回す
4. 以下の通りに電球をホルダーから引き抜きます。



代表的な例

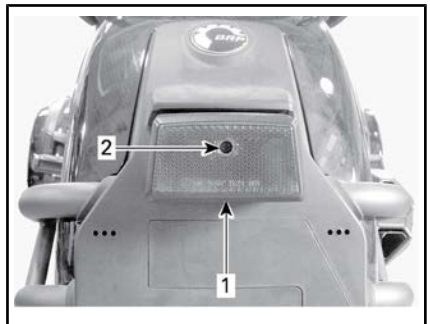
1. バルブを引き外します
5. ホルダーに新しいバルブを挿入します。
6. 取り外した順序の逆で部品を適切に再度取り付けます。

F3-S モデル

ポジションライトはLED（発光ダイオード）で構成されています。LEDは信頼性の高い技術です。万が一に作動しない場合は、Can-Am Roadsterの認定ディーラーによって点検してもらってください。

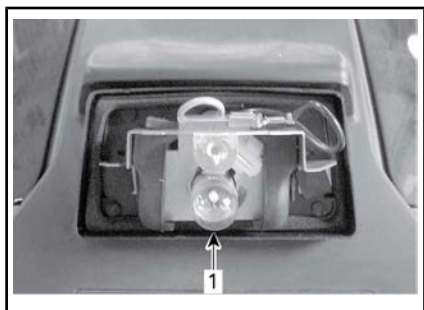
ライセンスプレートライト

1. ライトカバーを取り外す。



代表的な例

1. ライセンスプレートライト
2. カバースクリュー
2. バルブを押し入れて左に回し、バルブを取り外します。



1. ライトバルブ
3. 新しいバルブを押し入れて右に回して取り付けます。
4. ライトの動作を確認します。
5. ライトカバーを再度取り付けます。

バックアップ・ライト

ウィンカー—後ろ（オーストラリア、ブラジル、ヨーロッパ向けモデル）のサブセクションを参照してください。 |

車両の移送

車両を移送する必要がある場合は、適切なサイズと容量の長物トレーラーで移送してください。

注意 車両を押す必要がある場合は、ブレーキペダルをいつでも踏めるように右側から押します。車両を後方に引っ張る場合は、足元が前輪によってひかれないように注意します。

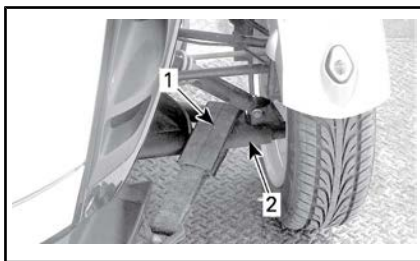
注記: Spyder Roadsterは牽引しないでください—牽引すると車両の駆動システムが深刻に損傷される恐れがあります。

牽引または移送サービスにお問い合わせする場合は、車両を安全に持ち上げ、ストラップを縛り付けるために長物トレーラー、導板またはパワーランプがあるか尋ねてください。本セクションで記載の通りに車両を適切に移送してください。

注記: 車両を縛り付けるのにチェーンの使用は避けてください—表面の仕上げやプラスチックのコンポーネントを損傷させる恐れがあります。

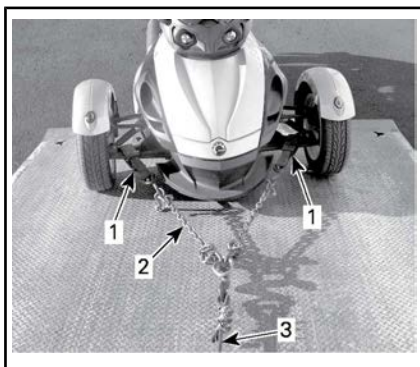
車両を移送するために積み込む時は、以下の手順を踏んでください。

1. 車両をニュートラル (N)に入れます。
2. イグニッションスイッチからキーを取り外します。
3. 各フロント・サスペンションの下部アームの周りをストラップで固定します。



代表的な例

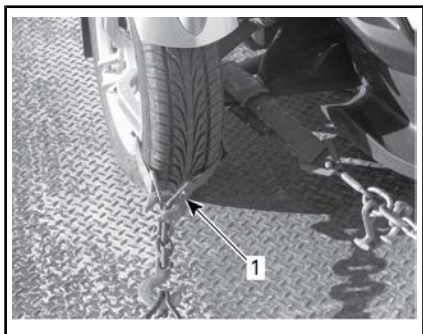
1. ストラップ
2. 下部サスペンションアーム
4. ストラップをウィンチ・ケーブルに取り付けます。バンパー・カバーの損傷を防ぐために以下の図のようにできればチェーンまたは追加ストラップを使ってストラップをウィンチ・ケーブルに取り付けます。



代表的な例

1. フロント・サスペンションの下部アームの周りにストラップを巻きつけます。
2. バンパー・カバーの損傷を防ぐためのチェーン
3. ウィンチ・ケーブル
5. パーキングブレーキが解除されていることを確認します。
6. ウィンチを使って車両を長物トレーラーに引っ張りこみます。
7. パーキングブレーキをかけます。
8. 車両のがニュートラル (N)に入っていることを確認します。

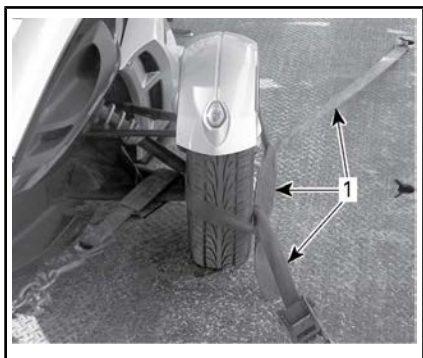
9. 次のいずれかの方法でフロントタイヤにストラップを付けます。



前輪の固定方法 — 代表的な例

方法 1

1. 各前輪のリムの周りにストラップを巻きつけ、ストラップをトレーラーの前部に固定します。

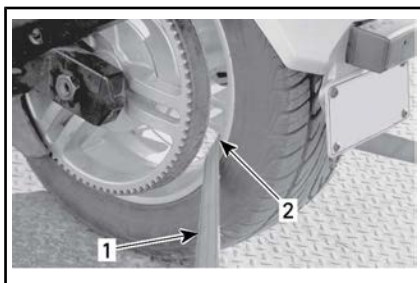


前輪の固定方法 — 代表的な例

方法 2

1. 各車輪にストラップを巻き付け、トレーラーの前部および後部に固定します。
10. 縛りつけ用のストラップは後輪のリム内側のみを通してください。縛りつけ用のストラップを絶対にリア・スプロケットの内側を通さないでください。

注記: リア・スプロケットの内側に縛りつけ用のストラップを通すと駆動システムに深刻な損傷を与えます。



後輪の固定方法 - 代表的な例

1. 縛りつけ用ストラップ
 2. 後輪のリムの内側のみ
11. 後輪の縛りつけ用ストラップを、歯止めを使ってトレーラーの後部にしっかり固定させます。
12. 前輪および後輪の両方がトレーラーにしっかり固定されていることを確認します。



代表的な例 - 牽引の前方に向いている車両

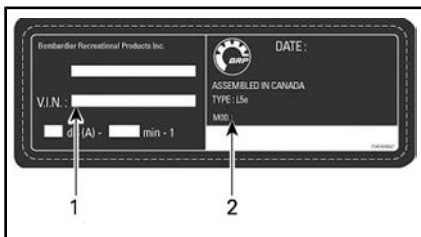
1. トレーラーにしっかり固定された前輪および後輪

技術情報

車両の識別

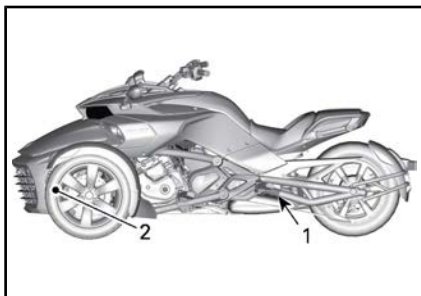
車両の主要な構成要素（エンジンとフレーム）は、それぞれ異なる製造番号で識別されます。保証を受けるときや、無くなった車両を探するときなどに、これらの番号を確認する必要があります。これらの番号は、Can-Am Roadsterの認定ディーラーによって適切に保証を請求する時に必要です。エンジン識別番号 (EIN) や車両識別番号 (VIN) が取り除かれていたり、損傷を受けている場合は、Bombardier Recreational Products Inc.はいかなる保証の付与をいたしません。車両のすべてのシリアル番号を記録し、保険会社に提出すること強く推奨します。

車両識別番号



代表的な例 - 車両のシリアル番号ラベル - 図はヨーロッパ向けモデル

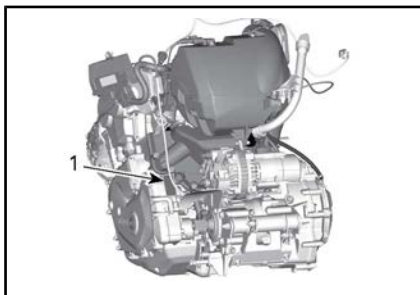
1. VIN (車両識別番号)
2. モデル番号



代表的な例 - VINの位置

1. スイングアーム (VIN ラベル)
2. ロウアーフレーム (VINは右側にスタンプされている)

エンジン識別番号



代表的な例

1. EIN (エンジン識別番号)の位置

適合ラベル

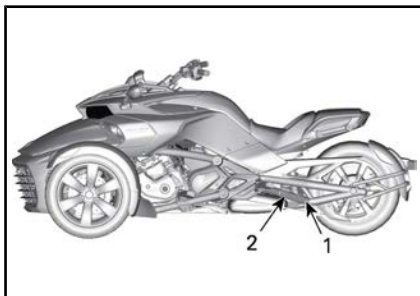
オーストラリアのモデルのみ



代表的な例 - オーストラリア ADR ラベル



代表的な例 - オーストラリアノイズラベル



代表的な例 - 適合性ラベルの位置

1. オーストラリア ADR ラベル
2. オーストラリアノイズラベル

D.E.S.S. キー

アメリカ合衆国(FCC)：「この車両のワイヤレス機器はFCC規定パート15に準拠しています。操作には、以下の二つの状態が条件です。1) これらの機器は有害な干渉を起こしてはならない、および2) これらの機器は望まない操作を引き起こす可能性がある干渉を含み、受信した干渉をすべて受容しなければならない。コンプライアンス責任者によって明白に承認されていない変更や改良がされた場合、ユーザーが機器を操縦する権限が無効になる場合があります。

カナダ(IC)：「この車両のワイヤレス機器は Industry Canada のライセンス免除 RSS-210 規格に準拠しています。操作には、以下の二つの状態が条件です。1) これらの機器は干渉を起こしてはならない、および2) これらの機器は望まない機器操作を引き起こす可能性がある干渉を含み、干渉をすべて受容しなければならない。

ヨーロッパ(CE)：私は、コンプライアンス責任者として、この機器は以下の欧州委員会指令に準拠していることを、全責任をもって宣言します。1999/5/EC.この宣言に関連するものは、必須要件およびその他の関連要件に準拠しています。この製品は、以下の指令、整合規格および規制に準拠しています。・指令 1999/5/EC (R&TTE)・整合規格：・ EN 301 489-3 ・ EN 300 330-2 ・ EN 50364

仕様

注: 製品の品質と技術革新への継続的なコミットメントを果すために、BRPは以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、その製品の設計や仕様の変更、追加、または改良をいつでも行う権利を留保します。

モデル	SPYDER F3
エンジン	
エンジンタイプ	ROTAX® 1330 ACE, 4-stroke, デュアル・オーバー・ヘッド・カムシャフト (DOHC)、液冷
シリンダーの数	3
バルブの数	12
ボア	84 mm
ストローク	80 mm
排気量	1 330 cm ³
圧縮比	12:1

モデル			SPYDER F3		
エンジン (続き)					
潤滑	タイプ		別個のオイルタンクおよびオイルクーラー付きのドライサンプ		
	オイルフィルター	エンジン		BRP Rotax製のマイクロガラス繊維タイプ、交換式	
		トランスミッション/HCM	SE6	BRP Rotax製の多層表面フィルター、交換可能	
	エンジン・オイル容量	オイル交換および新しいエンジン・フィルターの取り付け		SM6	4.9 L
		オイル交換および新しいエンジン・フィルターの取り付け		SE6	5.6 L
	推奨されるエンジンオイル			XPS 4ストローク合成ブレンドオイル (SUMMER) (P/N 293 600 121)、SL,SJ,SM,SN 分類のAPIサービス要件を満たす、5W-40半合成 (最低限のレベル)、またはオートバイ用の合成オイルを使用してください。	
クラッチ	タイプ		SM6	油圧ピストンによるウェット・マルチプレートのマニュアル操作	
	液体			DOT 4のブレーキ液	
	タイプ		SE6	TCMによって油圧的にコントロールされているウェットマルチプレートクラッチ	
	起動時			約 1100 RPM	
	失速時			約 2800 +/- 200 RPM (TCMにより自動的にコントロール)	
エキゾーストシステム			触媒コンバーター付きの「3-in-1」タイプ		
エアフィルター			紙要素		

モデル		SPYDER F3
ギアボックス		
タイプ	SM6	6速シーケンシャル・マニュアル (SM6) + 遠隔電子リバース・インターロック
	SE6	6速シーケンシャル・マニュアル (SM6) + 遠隔電子リバース・インターロック

モデル		SPYDER F3
冷却システム		
タイプ		液冷、クーリングファン付きのダブル・ラジエーター
クーラント	タイプ	エチルグリコールと水の溶液 (クーラントおよび蒸留水を50%ずつ)。BRP LONG LIFE ANTIFREEZE (P/N 219 702 685)製の予混クーラント、またはアルミ製エンジン用に特別に設計されたクーラントを使用してください。
	容量	3.75 L

モデル		SPYDER F3	
電気システム			
イグニッションシステム形式		デュアル出力コイル付きの電子イグニッション	
イグニッションタイミング		調整不可	
スパークプラグ	量	3	
	メーカーと型式	NGK MR7BI-8 (イリジウム) (スパークプラグのネジ山に (P/N P12 420 897 186) のヒートシंकペーストを塗布)	
	ギャップ	0.7 mm - 0.8 mm	
エンジン回転リミッターの設定	前進	8100 RPM (ドライブトレイン駆動時)	
バッテリー	タイプ	Yuasa YTX24HL-BS	
	電圧	12ボルト	
	公称定格	21 A・h	
	推奨される充電速度	2 A	
ヘッドライトハイ/ロー	CEモデル	ハイビーム: ハロゲン 2 x 60 W (タイプ HB2) ロービーム: ハロゲン 2 x 55 W (タイプ H7)	
	他のモデル	ハロゲン 2 x 55/60 W (タイプ HB2)	
テールライト/ブレーキライト		2 x 5/21 W	
ウインカーライト	フロント	2 x 21 W	
	リア	CEモデル	2 x 21 W
		他の国	2 x 10 W

モデル		SPYDER F3	
電気系統 (続き)			
ポジションライト	フロント	F3 モデル	2 x 5 W
		F3-S モデル	LED 2 x 1 W
	リア	日本向けモデル	LED 0.6 W
		他の国	2 x 5 W
ライセンスプレートライト		10 W	
バックアップ・ライト		2 x 21 W	
ヒューズ		ヒューズおよびライトの交換方法の中のヒューズを参照してください。	

モデル		SPYDER F3	
燃料システム			
燃料供給	タイプ	マルチポイントエレクトリック フューエルインジェクション(EFI)、 ETC付き(エレクトリックスロットル コントロール)、 シングル・スロットルボディ (54 mm)、アクチュエーター付き	
燃料ポンプ	タイプ	エレクトリカルモジュール (燃料タンク内)	
アイドルスピード		900 RPM (電子制御タイプ、調整不可)	
燃料 - 燃料 に関する 要件を参照 してくださ い	タイプ	無鉛プレミアムガソリン	
	最小オクタン価	87 AKI (RON+MON)/2	
		92 RON	
	推奨されるオクタン濃度	91 AKI (RON+MON)/2	
95 RON			
燃料タンク容量		27 L	

モデル	SPYDER F3
駆動システム	
終駆動機の形式	カーボン強化されたドライブベルト
ファイナル・ドライブ比	79/28

モデル	SPYDER F3
ステアリング	
タイプ	ダイナミックパワーステアリング (DPS)

モデル	SPYDER F3	
フロントサスペンション		
サスペンションタイプ	アンティスウェイバー付きのダブル Aアーム	
サスペンショントラベル	129 mm	
ショックアブソーバ	数量	2
	タイプ	FOX PODIUM モノチューブコイルカ バー
スプリングプリロード調節		ネジ付きリング

モデル	SPYDER F3	
リア・サスペンション		
サスペンションタイプ	モノショック付きスウィングアーム	
サスペンショントラベル	132 mm	
ショックアブソーバ	数量	1
	タイプ	SACHS ツインチューブコイルカ バー
スプリングプリロード調節		調節不可

モデル		SPYDER F3
ブレーキ		
タイプ		ABSおよびEBD付きの、足踏式完全統合油圧3輪ブレーキシステム
フロントブレーキ		デュアル270 mm リジッドディスク 4ピストン・キャリパー2パッドドラジアルマウント型Brembo Monobloc
リアブレーキ		シングル270 mm ディスク パーキングブレーキ付きの1ピストン・フローティング・キャリパー
ブレーキ液	容量	480 ml
	タイプ	DOT 4
パーキングブレーキ		機械式、リアキャリパーを電子的に作動。
最小ブレーキディスク厚		1 mm
最小ブレーキパッド厚		6.4 mm
ブレーキディスクのねじれ最大		0.100 mm

モデル		SPYDER F3
タイヤ		
タイプ (BRPが推奨するタイヤのみ使用してください)	フロント	Kenda KR31 165/55R15
	リア	Kenda KR21A 225/50R15
圧力	フロント	公称値: 103 kPa 推奨値: 89 kPa 最大値: 117 kPa 注記: 左右のタイヤの圧力の差は3.4 kPa以上超過させないでください。
	リア	公称値: 193 kPa 推奨値: 179 kPa 最大値: 207 kPa
タイヤ溝の最小深さ	フロント	2.5 mm
	リア	4.0 mm

モデル		SPYDER F3
ホイール		
サイズ (直径X幅)	フロント	381 mm x 127 mm
	リア	381 mm x 178 mm
前輪ナットへのトルク		105 N・m ~ 113 N・m
リア車軸ナットへのトルク		210 N・m ~ 240 N・m

モデル	SPYDER F3
寸法	
全長	2 642 mm
全幅	1 497 mm
全高	1 099 mm
シート（上部）の高さ	675 mm
車両ベース	1 709 mm
前輪トラック	1 308 mm
最低地上高(エンジンの前部および下部)	115 mm

モデル	SPYDER F3	
重量および積載量		
乾燥重量	386 kg	
フロントストレージコンパートメント	容量	24.4 L
	最大積載量	7 kg
許容される合計車両積載量(ドライバー、その他すべての積載、追加されたアクセサリも含まれます)		199 kg
車両総重量 (GVWR)		627 kg
車軸総重量 (GVWR)	フロント	336 kg
	リア	291 kg

保証

BRP限定保証2015 Can-Am® SPYDER® ROADSTER

1. 限定保証の範囲

Bombardier Recreational Products Inc. (「BRP」)*は、米国およびカナダ**を除いた国のCan-Am Spyder Roadsterの認定ディストリビューターまたはディーラー（以下、「ディストリビューターまたはディーラー」とする）によって販売されたSpyder2015 Can-Am Spyder Roadster（以下、「製品」とする）は以下の期間および条件を踏まえて材料または製造上の欠陥がないことを保証します。以下の場合は、この限定保証は無効になります：(1)製品を、以前の所有者による行為である場合も含めて、一度でもレースやその他の競技活動に使用した場合、または(2)オドメーターを取り外したり、改ざんした場合。(3)製品をオフロードで使用した場合。(4)製品の動作、性能または耐久性に悪影響を与えるような方法で改造、修正した場合、または、意図された仕様を変えるような改造、修正した場合。

製品が納入された時点において、認定ディストリビューターまたはディーラーによって製品に取り付けられたすべての純正部品やアクセサリーには製品と同じ保証が与えられます。

2. 責任の範囲

法律の許す範囲内における管轄で、この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含むがそれらのみには限定されない明示的または暗示的なその他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認され得ない限りにおいて、暗示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。この保証は、偶然による、必然的、直接的、間接的またはその他のいかなるすべての損害を保証しません。特定の管轄では、上記の偶発による、または必然的な損傷やその他の除外規定における制限や免責事項は適用されない場合があります。そのため、上記の規定はお客様に適用されない場合があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、あなたは国または法域ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。(オーストラリアで購入された製品については、以下の第4項をご参照ください)。

認定ディストリビューターまたはディーラーや、その他の人物のいずれにおいても、この限定保証に含まれるもの以外に、製品に関する確認、表示、保証を行う権限は与えられておらず、それが行われた場合にもBRP に対する強制力はありません。BRPはこの保証をいつでも変更する権利を留保します。ただし、すでに販売された製品に適用される保証条件は、その保証が有効な間に変更されないことに同意します。

3. 除外規定（以下は保証修理の対象とはなりません）

どの状況においても、以下はこの限定的保証の対象ではありません。

- オイルおよび潤滑剤、フィルターおよびスパークプラグを含む、定期的なメンテナンスが必要な部品の交換。
- タイヤ、バッテリー、発電機のブラシ、シールドビームおよび電球、クラッチプレートおよびフェーシング、駆動ベルト、ブレーキ・パッド、ブレーキ・ライニング、ローターおよびスプロケットを含む部品の通常の磨耗および消耗。
- ベルト、アラインメントおよび車輪バランスの調整を含む部品のチューンアップおよび調整。

- シートカバーの素材の傷、へこみ、退色、剥離や損傷を含む製品の外観への損傷。
- オペレーターズガイドに示されている過失または適正なメンテナンス／保管を怠ったために発生した損害。
- 製品の正式仕様範囲を超える部品を取り外し、不適切な修理、扱いはまたはメンテナンス、および改造や改変による損傷によって生じた損傷、またはBRPによって製造または承認されず、BRPによって製品に適合ではない、または製品の操作に不利に影響すると合理的に判断された部品やアクセサリーの使用によって生じた損傷、または認定ディストリビューターまたはディーラーによって行われなかった修理から生じた損傷。
- 異なるタイヤ、エキゾースト・システム、車輪またはブレーキを含む純正部品とは異なる仕様の部品の取り付けにより生じた損傷。
- 誤用、乱用、過失、レースでの使用、またはオペレーターズガイドで説明されている推奨事項に一致しない方法による製品の操作によって発生した損害。
- 水の吸い込み、事故、道路上の危険性、水没、火災、盗難、破壊行為、またはあらゆる天災や不可抗力の結果として生じた損傷。
- オペレーターズガイドの推奨事項と異なる仕様の燃料、オイルまたは潤滑剤を使って生じた損傷。
- オペレーターズガイドの説明とは異なる道路塩、バッテリー液または環境の影響から生じた損傷。
- ガソリンの費用、認定ディストリビューターまたはディーラーに製品を回送、回収するための費用、メカニックの出張費、トレーラーまたは牽引による移送、保管、携帯、ファックスまたは電報の料金、保証の施行期間における代替製品のレンタル、タクシー、旅費、宿泊費、私物の損失または欠損、不便性、保険の費用、ローンの支払い、時間の損失、所得、収入や利益の損失、または製品の使用または使用の楽しみの損失などを含むが、これらに限定されない偶発的または必然的な損害。

4. 保証対象期間

この保証は、最初に購入した消費者に納入された日、またはその製品が最初に使用された日のいずれか早い日から、次の期間有効です。

- a. 私用での使用場合は、以下の(b)および(c)の状況以外では、**連続する24ヶ月間**。商業的利用の場合は、以下の(b)および(c)の状況以外では連続する12ヶ月間。

保証期間中であっても、製品の使用による収入の発生、またはRoadsterが何らかの業務または職業で用いられた場合は、Roadsterは商業的用途で使用されたものと見なされます。また、保証期間中に製品が商業用として登録されたり、商業用途の使用許可を受けた場合も、Roadsterは商業的用途で使用されたものと見なされます。

- b. バッテリーにおいては、**連続する6ヶ月間**。
- c. タイヤにおいては、**連続する6ヶ月間**、または前輪が 3/32 インチ (2.38 millimeters)まで磨り減った時点、または後輪が5/32インチ (3.97 millimeters)まで磨り減った時点のいずれかが最初に発生した時点。

この保証によるパーツの修理または交換、あるいはサービスの実施によって、保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

保証期間および保証の他の条件は、お客様の国で適用される関連する法令に従います。

オーストラリアで販売された製品のみ適用

これらの保証の利用規約は、オーストラリアの消費者法またはその他の法律を含む、Competition and Consumer Act 2010 (Cth) (2010年競争・消費者法)によって授与または黙示されるいかなる条件、保証、請け合い、権利または善後策の適用を除外、制限または変更しないものとし、法律を違反しないものとします。もし違反する利用規約がある場合、それは無効となります。この限定的保証で得られるメリットは、オーストラリアの法律で守られている権利および善後策に加えて与えられます。

弊社の製品の保証は、オーストラリアの消費者法によって守られています。重故障に対する交換または払い戻し、またはその他のいかなる合理的に予見可能な損失または損害に対する補償が約束されます。お客様には、製品が許容される品質を満たせず、その故障が重故障とならない場合、その製品を修理または交換する権利があります。

5. 保証の適用を受けるための条件

この保証適用は、次の各条件が満たされたときのみ適用されます:

- 製品は、その販売が行われた国において製品の販売を許可されているディストリビューターまたはディーラーから、新品で未使用の製品として最初の所有者により購入される必要があります。
- BRPが指定する納入前点検が購入者および認定ディストリビューターまたはディーラーによって完了および文書化され、購入者によって署名されている。
- 製品は、認定ディストリビューター／ディーラーによって正しく保証登録されなければなりません。
- 製品は、購入者が居住する国で購入される必要があります。しかしEEAの住人はEEAのどの国に関係なく、EEAの地域内で製品を購入した必要があります。独立国家共同体（「CIS」）の住人はCISのどの国に関係なく、CISの地域内で製品を購入する必要があります。
- オペレーターズガイドに記載されている定期的メンテナンスは時宜に即して行う必要があります。BRPは、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

BRPは、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を与えません。このような制限は、BRPが製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

6. 保証を受けるためにしていただくこと

お客様は、異常が発生した直後に製品の使用を中断しなければなりません。お客様は欠陥の発現から2ヶ月以内に、整備を行うディストリビューターまたはディーラーにその旨を通知し、合理的と認められる製品へのアクセスと修理の機会をディーラーにあたえなければなりません。また、お客様は製品の購入を証明するものをディストリビューターまたはディーラーに提示しなければならず、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立って修理／作業注文書に署名しなければなりません。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべてBRPの所有となります。通知期間はおお客様の国で適用される関連する法令に従うことに留意ください。

7. BRPが行うこと

法律が許す範囲内において、この保証に基づくBRPの義務は以下に記載する条件の下で、保証期間中、通常の使用、メンテナンス、および整備が行われたにもかかわらず故障した部品を、部品代および工賃を請求することなく、任意の認定ディストリビューターまたはディーラーにおいて、当社の判断により修理するかまたは新しい純正部品と交換することに限定されます。BRPの責任は、部品の必要な修理または交換を行うことだけに限定されます。保証の不履行に対する請求は、製品の払い戻しや販売の撤回の理由とはなりません。権利者は国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

最初の販売の国以外でサービスが必要である場合には、またはEEA居住者がEEA外で、例えば輸送料金、保険、税金、ライセンス料、関税、および、いかなるものとして全ての他の金融手数料に関して、これらに限定せず、政府、州、領域やそれぞれの機関によって課される場合も含めて、オーナーは地域の慣習や状況による全ての追加料金に関する責任を負います。

BRPは、それ以前に製造されたすべての製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

8. 所有権の譲渡

保証期間中に製品の所有権が移転された場合は、この保証も同時に移転され、以下のような方法で所有権の譲渡がBRPに通知されることを条件に、残りの保証期間の間も有効となります。

- (a) 旧所有者がBRP(下記の電話番号)または認定ディストリビューターまたはディーラーへ連絡し、新しい所有者の連絡先を知らせる。
- (b) BRPまたは認定ディストリビューターまたはディーラーは、旧所有者の所有権の譲渡に対する同意書、および新しい所有者の連絡先を受領する。

9. 消費者への支援

1. 本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、まずはディストリビューター／ディーラーレベルで問題解決を試みてください。その問題についてBRP認定ディストリビューター／ディーラーのサービスマネージャーまたは店主とよく話し合ってください。

2. さらに支援が必要な場合は、ディストリビューター／ディーラーのサービス部門にご相談ください。
3. それでも解決できない場合は、問題の内容を書面にして、下記に提出してください。

**ヨーロッパ、中東、アフリカ、ロシアおよび CIS の方々は、
ヨーロッパオフィスまでご連絡ください。**

BRP EUROPE N.V.

Customer Assistance Center (お客様相談室)
Skaldenstraat 125
9042 Gent
Belgium
電話番号: +32-9-218-26-00

北欧諸国の方々は、フィンランドオフィスまでご連絡ください。

BRP FINLAND OY

Service Department (サービス部門)
Isoaavantie 7
FIN-96320 Rovaniemi
Finland
電話番号: +358 16 3208 111

**上記以外の国の方々は、地元のディストリビューターまたはディーラー、
あるいはカナダの弊社オフィスまでご連絡ください。**

BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC.

Customer Assistance Center (消費者支援センター)
75 J.-A. Bombardier Street
Sherbrooke, QC J1L 1W3
電話番号: +1 819 566-3366

ディストリビューターまたはディーラーの連絡先はwww.brp.comでご覧
になれます。

* EEAおよびその他の国では、製品の流通とサービスはBRP European Distribution S.A.およびBRPの子会社によって行われます。

** 米国およびカナダで販売されている製品に提供されているBRPの限定的保証は EEAやその他の国のとは異なります。

© 2014 Bombardier Recreational Products Inc. 全権保留。

™ Bombardier Recreational Products Inc.または関連会社の商標です。

フランスのみ適用する追加利用規約

次の利用規約はフランスで販売されている製品だけに適用されます。

販売者は契約を遵守する製品を配送し、配送時に認められる欠陥の責任を負います。販売者は、契約による自らの責任で、または自らの責任で行われたパッケージング、組み立て指示または取り付けに起因する欠陥の責任を負います。契約を成立させるには、製品は次の条件をクリアする必要があります。

1. 製品は同等製品における通常の実行可能であり、該当する場合は、次の条件もクリアする必要があります。
 - 1.1 製品の特性は販売者の説明と一致し、特性はサンプルまたは模型により購入者に説明されていること。
 - 1.2 製品は、広告やラベルを含めた販売者および製造業者の公共宣言により合法的に購入者によって期待される性能を提供できること。または、
2. 製品は、当事者間で相互に合意された特性を持っている、または購入者が事前に販売者に特定の使用目的を相談し、販売者が目的を満たせると承諾した特性を持っていること。

仕様不遵守に対する処置は、配送から2年間有効です。販売者は、製品に購入者の使用目的が満たせられなくなるほどの隠された欠陥がある場合、またはその欠陥を事前に知っていたらより低い値段で買っていた場合、その隠れた欠陥に対する保証の責任を負います。そのような隠れた欠陥に対する賠償要求は、欠陥の発見から2年以内に購入者によって行われる必要があります。

**このページは
意図的に空白になっています**

顧客情報

プライバシー情報

あなたのご連絡先情報は安全性の確保と保証に関する目的で使わせていただきます。さらに、BRPおよび子会社は顧客リストを使用してBRPおよび関連製品のマーケティングおよびプロモーション情報を配布させていただくことがあります。

あなたのデータについて相談、訂正する、あるいはダイレクトマーケティング用の宛先人-リストから削除する場合は、BRPまでご連絡ください。

電子メール： **privacyofficer@brp.com**

郵便：
BRP
Senior Legal Counsel-Privacy Officer
726 St-Joseph
Valcourt QC
Canada,
J0E 2L0

住所と所有権の変更

お客様が住所を変更された場合または車両の新しい所有者になった場合は、以下のいずれかの方法でBRPに通知してください。

- 以下の宛先にカードを郵送する。
- **北米のみ:** 715 848-4957 (米国)または 819 566-3366 (カナダ)へ電話する。
- Can-Am Roadsterの認定ディーラーへのお問い合わせ

所有権の変更の場合は、以前の所有者が譲渡に合意している証明書を添付してください。

例えば、安全上のリコールを開始した場合など、BRPが必要に応じて車両の所有者に連絡できるように、限定保証の期間が終了した後も、BRPに通知することが重要です。BRPに通知するのは、所有者の責任です。

盗難に遭った場合: 車両が盗まれた場合は、BRPまたはCan-Am Roadsterの認定ディーラーにお問い合わせください。お客様の氏名、ご住所、電話番号、車両識別番号、そして盗難の日付をお知らせください。

北米

BOMBARDIER RECREATIONAL

Warranty Department
75 J.-A. Bombardier Street
Sherbrooke, QC J1L 1W3
Canada

他の国々での連絡先

BRP EUROPEAN DISTRIBUTION

Warranty Department
Chemin de Messidor 5-7
1006 Lausanne
Switzerland

北欧地域

BRP FINLAND OY

Service Department (サービス部門)
Isoaavantie 7
Fin-96320 Rovaniemi
Finland
電話番号: + 358 16 3208 111

住所の変更 所有権の変更

車両識別番号

モデル番号

車両識別番号 (V.I.N.)

以前の住所または以前のオーナー:

氏名

番地

街路アドレス

アパート番号

都市

州/行政区

ZIP番号/郵便番号

国

電話番号

新しい住所または新しいオーナー:

氏名

番地

街路アドレス

アパート番号

都市

州/行政区

ZIP番号/郵便番号

国

電話番号

V00A2F

Eメールアドレス

住所の変更 所有権の変更

車両識別番号

モデル番号

車両識別番号 (V.I.N.)

以前の住所または以前のオーナー:

氏名

番地

街路アドレス

アパート番号

都市

州/行政区

ZIP番号/郵便番号

国

電話番号

新しい住所または新しいオーナー:

氏名

番地

街路アドレス

アパート番号

都市

州/行政区

ZIP番号/郵便番号

国

電話番号

V00A2F

Eメールアドレス

住所の変更 所有権の変更

車両識別番号

モデル番号

車両識別番号 (V.I.N.)

以前の住所または以前のオーナー:

氏名

番地

街路アドレス

アパート番号

都市

州/行政区

ZIP番号/郵便番号

国

電話番号

新しい住所または新しいオーナー:

氏名

番地

街路アドレス

アパート番号

都市

州/行政区

ZIP番号/郵便番号

国

電話番号

V00A2F

Eメールアドレス

住所の変更 所有権の変更

車両識別番号

モデル番号

車両識別番号 (V.I.N.)

以前の住所または以前のオーナー:

氏名

番地

街路アドレス

アパート番号

都市

州/行政区

ZIP番号/郵便番号

国

電話番号

新しい住所または新しいオーナー:

氏名

番地

街路アドレス

アパート番号

都市

州/行政区

ZIP番号/郵便番号

国

電話番号

V00A2F

Eメールアドレス



警告

**Spyder Roadsterは特殊なタイプの車両です。
特別なスキルと知識が必要になります。**

**Spyder Roadster がどのように異なるのかを学んで
ください。**

このオペレーターズガイドを**読み**、安全に関する
DVDをご覧ください。

トレーニングコース (利用可能な場合) を修了し、
練習を行い、制御方法に熟練して、適切な免許を
取得してください。

乗車する前に安全カードを参照してください。

**常にヘルメットとライディングギアを着用して
ください。**

このタイプの車両では、ライダーは自動車の運転
者より高い道路上のリスクに曝されます。熟練した
ライダーでも、他の車両に衝突されたり、コントロ
ールを失う場合があります。この車両は、衝突事故
において運転者を保護しません。

運転の限界と道路条件

車両の限界を超えた運転が行われた場合、車両安
定システム (VSS) は制御不能、転倒、あるいは転落
を防止することはできません。様々な道路条件で
の限界について制限を確認してください。氷上、雪
上、オフロードで運転しないで下さい。水たまりと
流水を避けてください。このタイプの車両は、水上
でハイドロプレーニングを起こし、道路を覆った砂
利、泥、砂でスリップする可能性があります。この
ような路面を走行しなければならない場合、速度
を落としてください。

219 001 535_JA

オペレーターズガイド、SPYDER F3 CE / 日本語

U/M:P.C.